

広島市感染症発生動向調査
事業報告書

第 39 号
(令和 2 年)

広島市

目 次

第 1 章	広島市感染症発生動向調査事業	
第 1 節	広島市感染症発生動向調査事業の概要	1
第 2 節	広島市感染症発生動向調査事業実施要綱	5
第 3 節	広島市感染症対策協議会設置要領	1 6
第 2 章	感染症の概要	
第 1 節	感染症の発生概要	1 8
第 2 節	感染症の発生状況	2 0
第 3 章	感染症別患者発生状況	
第 1 節	インフルエンザ定点	4 3
第 2 節	小児科定点	4 4
第 3 節	眼科定点	5 4
第 4 節	性感染症定点	5 6
第 5 節	基幹定点	6 1
第 6 節	各感染症の推移（平成 2 1 年～令和 2 年）	6 9
第 4 章	検査情報	
第 1 節	検査の概要	8 3
第 2 節	検査方法及び検体採取状況	8 3
第 3 節	病原体検出状況	8 6
第 4 節	参考資料	9 4
第 5 章	結核	
第 1 節	結核の概要	9 9
第 2 節	結核による死亡者	9 9
第 3 節	新登録患者の状況	1 0 0
第 4 節	結核登録者の状況（令和 2 年末現在）	1 0 2

第1章 広島市感染症発生動向調査事業

第1節 広島市感染症発生動向調査事業の概要

1 現況及び目的

患者の発生状況や病原体の検索など流行の実態を早期に把握し、その情報をインターネット等を通じて一般市民から専門家にいたるまで幅広く提供することにより、社会的影響の大きい感染症の蔓延を未然に防止することを目的とする。

2 内容及び方法

(1) 調査対象疾病

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する1類感染症（エボラ出血熱等7疾病）、2類感染症（結核、中東呼吸器症候群等7疾病）、3類感染症（コレラ、腸管出血性大腸菌等5疾病）、4類感染症（44疾病）、5類感染症（48疾病）、新型インフルエンザ等感染症（新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ）及び指定感染症（新型コロナウイルス感染症）、法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（1疾患）

(2) 実施体制及び実施方法

1～4類感染症、全数対象の5類感染症（24疾病）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症は全医療機関からの届出、定点対象の5類感染症（24疾病）及び法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症は指定した医療機関からの届出により情報収集を行う。

結核については、保健センターに集積された医療機関からの届出等の情報のうち、必要なデータを結核情報センター（保健所健康推進課）が収集して国に報告する。

なお、本事業の総括及び関係機関との連絡調整は保健所（健康推進課）が行う。

感染症発生動向調査の実施体制

① 感染症情報センター（広島市衛生研究所内に設置）

医療機関から保健センターに報告された患者情報を収集し、国へ報告する。また、検査情報や全国患者情報と併せて「感染症週報」に掲載し、速やかに市のホームページで公開する。定点及び関係機関等へはファクシミリで送信する。

② 指定届出機関（定点） ⇒ 実施要綱の別表3参照

（定点数は各区人口比による。定点は所属医師会の選定により指定する。）

【患者定点】小児科定点（24）、内科定点（13）、眼科定点（8）、性感染症定点（9）、基幹定点（7）の合計61定点を指定している。

【病原体定点】患者定点の中から15定点を指定している。

（対象疾病の患者から採取した検体を衛生研究所に送付する）

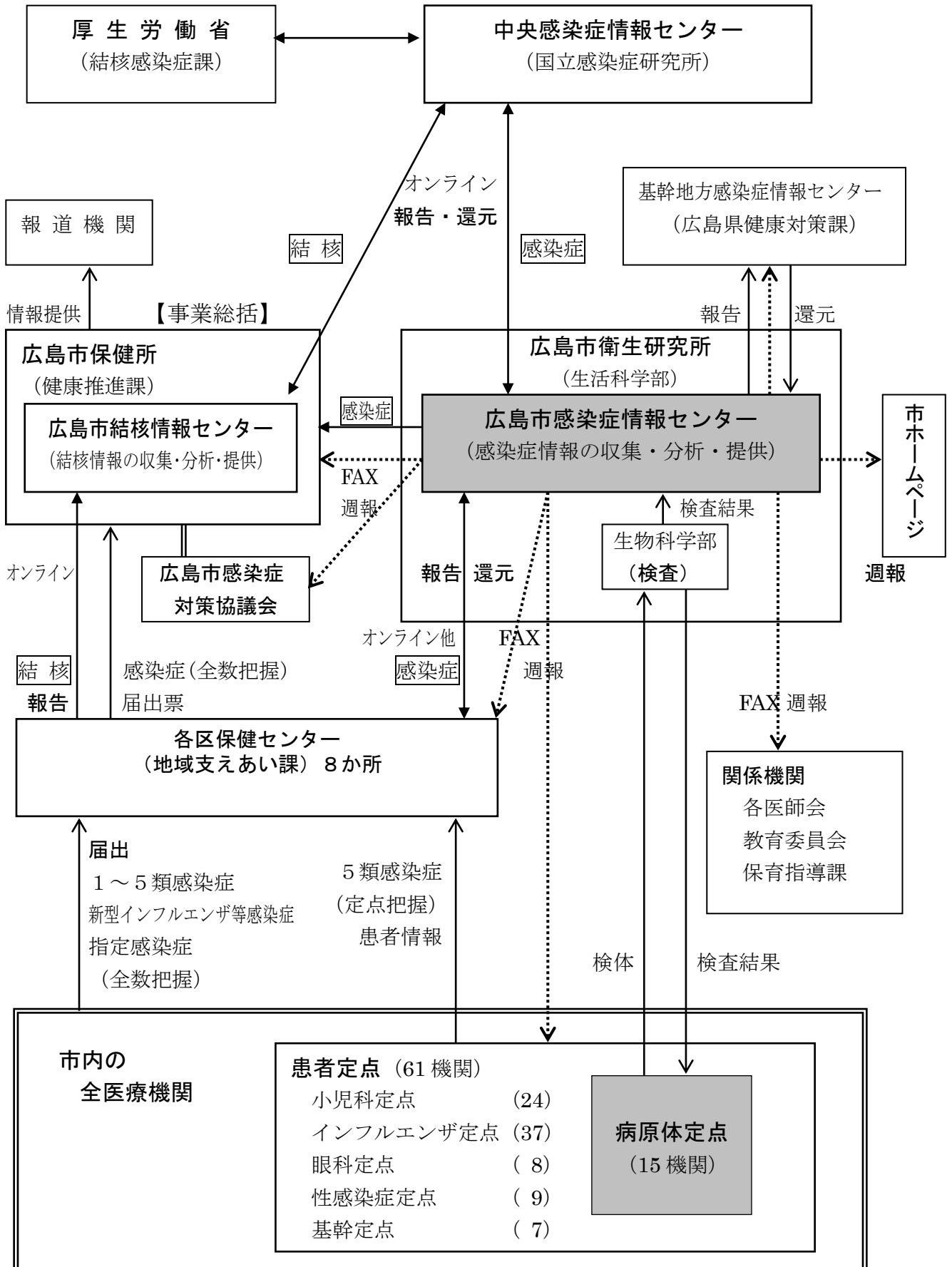
患者定点は、対象疾患の患者情報を、原則として調査単位が週（月曜日から日曜日）の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に管轄の保健センター（地域支えあい課）に報告する。安佐医師会所属の一部の定点は安佐医師会を経由して報告する。

③ 広島市感染症対策協議会（事務局：保健所健康推進課内）

収集・分析された感染症情報を基に、感染症の予防対策、緊急対応策を協議するため、学識経験者や医師会代表からなる協議会（公開）を原則として月1回開催する。

協議内容は「広島市感染症対策協議会コメント」にまとめ、関係機関に提供する。

広島市感染症発生動向調査事業における情報フロー図



区	医療機関名	所在地	患者定点					病原体定点	指定提出機関	
			インフルエンザ		眼科	性感染症	基幹			疑似症
			小児科	内科						
中	千田こどもクリニック	中区千田町2-1-27	○						○	
	はやかわ小児クリニック	中区袋町6-46	○							
	医療法人住田医院	中区大手町5-6-23	○							
	清水内科・消化器科	中区富士見町12-17		○					○	○
	はしもと胃腸科内科	中区吉島東1-27-20		○						
	山代眼科医院	中区舟入本町7-15			○				○	
	こけはら泌尿器科クリニック	中区八丁堀1-12				○			○	
	広島赤十字原爆病院	中区千田町1-9-6					○	○	○	
	広島市立広島市民病院	中区基町7-33					○	○	○	
	広島市立舟入市民病院	中区舟入幸町14-11					○	○	○	
	広島通信病院	中区東白島町19-16					○		○	
	国家公務員共済組合連合会 吉島病院	中区吉島東3-2-33						○		
	医療法人あかね会 土谷総合病院	中区中島町3-30						○		
	翠清会 梶川病院	中区東千田町1-1-23						○		
東	JR広島病院(小児科)	東区二葉の里3-1-36	○							
	ねじはし小児科	東区牛田旭1-13-18	○							
	ひよこ小児科内科	東区戸坂千足1-22-6-11	○							
	渡部内科医院	東区牛田新町1-6-36		○						
	井上眼科医院	東区牛田本町2-3-1			○					
	高橋泌尿器科・皮膚科クリニック	東区温品7-10-11-18				○				
	JR広島病院	東区二葉の里3-1-36					○		○	
南	もり小児科	南区翠2-27-30	○						○	○
	しらお小児科・アレルギー科クリニック	南区東雲本町2-6-32	○							
	おかはた小児科循環器科	南区段原南1-1-22	○							
	古川医院	南区東雲本町1-1-2		○						
	江島医院	南区宇品御幸2-5-7		○						
	田中眼科医院	南区翠1-3-15			○					
	戸田眼科的場医院	南区的場町2-3-25			○					
	かてな泌尿器科クリニック	南区段原日出1-15-13				○				
	広島大学病院	南区霞1-2-3					○	○	○	
県立広島病院	南区宇品神田1-5-54						○			
西	どんぐり小児科	西区南観音2丁目7-21 平野ビル1F	○						○	○
	新田小児科	西区横川町3-9-14	○							
	しのはら小児科クリニック	西区井口3-13-5	○							
	澄川内科医院	西区横川町二丁目10-23		○						
	内科胃腸科石田医院	西区庚午中3-1-1		○						
	宮川眼科	西区己斐本町3-4-5			○					
	梶川病院	西区天満町8-7				○				
	松尾産婦人科内科医院	西区三篠町1-5-7				○				
安佐南	よしみつこどもクリニック	安佐南区大町東1-8-25	○							
	桑原医院	安佐南区八木2-13-27	○						○	○
	堀江医院	安佐南区祇園2-22-28	○							
	祇園ふたばこどもクリニック	安佐南区山本3-1-12	○							
	さとう内科循環器科	安佐南区緑井5-9-9		○						
	みやたけ医院	安佐南区東野3-7-17		○						
	馬場眼科	安佐南区相田1-10-17			○					
	かわした泌尿器科クリニック	安佐南区東原1-1-2				○				
安佐北	かるが医院	安佐北区狩留家町1298-1	○							
	あすなろ生協診療所	安佐北区口田1-10-1	○							
	土井クリニック	安佐北区可部2-40-22	○							
	沖野医院	安佐北区可部6-5-9		○						
	高陽第一診療所	安佐北区落合1-14-9		○						
	竹田眼科医院	安佐北区可部5-11-23			○					
	医療法人仁医会 井口医院	安佐北区可部7-5-7				○				
	広島市安佐市民病院	安佐北区可部南2-1-1					○	○	○	
安芸	畑川小児科医院	安芸区船越南3-5-3	○							
	だて子どもクリニック	安芸区矢野東5-7-13	○							
	津丸内科医院	安芸区矢野西4-1-17		○					○	○
佐伯	赤尾ファミリークリニック	佐伯区海老園1-4-19	○							
	ながたこどもクリニック	佐伯区海老園1-6-22	○							
	ふじえ小児科	佐伯区八幡東3-28-17	○							
	大江内科医院	佐伯区楽々園3-5-27		○						
	広兼眼科	佐伯区八幡東3-28-17-202			○					
	北野皮膚科医院	佐伯区五日市駅前3-9-14				○				
河田産婦人科医院	佐伯区海老園1-2-13				○					
計 65 定点			24	13	8	9	7	9	15	5
			37		←インフルエンザ定点合計					

広島市感染症対策協議会委員名簿

(令和2年度)

氏 名	所 属	備 考
◎ 小林 正夫	日本赤十字社 中四国ブロック血液センター	所長
○ 坂口 剛正	広島大学大学院 医系科学研究科	教授 (ウイルス学)
大毛 宏喜	広島大学病院	教授 (感染症科)
石川 暢久	県立広島病院	呼吸器内科部長
吉岡 宏治	国家公務員共済組合連合会 吉島病院	呼吸器内視鏡医長
高橋 宏明	広島泌尿器科医会	高橋泌尿器科・皮膚科クリニック院長
佐藤 貴	広島市小児科医会	小児科さとうクリニック院長
新甲 さなえ	広島市産婦人科医会	新甲さなえ女性クリニック院長
堂面 政俊	広島市医師会	理事、堂面医院院長
増田 裕久	安佐医師会	理事、増田内科医院院長
藤本 三喜夫	安芸地区医師会	理事、 広島グリーンヒル病院院長
長岡 義晴	広島市立広島市民病院	小児科部長
松原 啓太	広島市立舟入市民病院	小児科部長
南 心司	公益財団法人広島市みどり 生きもの協会	安佐動物公園長

◎委員長、○副委員長

第2節 広島市感染症発生動向調査事業実施要綱

第1 目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号。以下「法」という。)に規定する感染症の発生動向に関する情報を迅速に収集、分析及び提供・公開していくことにより、予防、医療、研究等において的確な感染症対策を確立することを目的とする。

第2 定義

- 1 「中央感染症情報センター」とは、都道府県、保健所を設置する市及び特別区(以下「都道府県等」という。)から伝送又は報告された患者情報及び病原体情報を収集、分析し、その結果を全国情報として速やかに都道府県等に提供・公開するための中心的役割を果たすもので、国立感染症研究所感染症情報センターに設置されている。
- 2 「患者情報」とは、患者の年齢(生年月日)、性別、病名、診断、症状及び原因等に関することをいう。
- 3 「病原体情報」とは、病原体の分離等の検査に供するために患者から採取した検査材料又は分離株、当該患者の年齢、性別、診断名及び臨床経過等に関することをいう。
- 4 「指定届出機関(定点)」とは、法第14条第1項により指定された病院又は診療所で、5類感染症のうち定められたものの発生状況の届出を行う。

第3 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、別表1及び別表2に示す感染症とする。

第4 実施主体

実施主体は、広島市とする。

第5 実施体制

事業の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制により実施する。

1 保健所(以下「保健所」という。)

- (1) この要綱に定める事業を総括する。
- (2) 広島市感染症対策協議会の運営に関する業務を行う。
- (3) 広島市結核情報センター(以下「結核情報センター」という。)を設置する。

2 保健センター

この要綱に定める業務を分担し、情報の収集、還元、管理を行う。

3 衛生研究所

- (1) この要綱に定める業務を分担し、検体の検査等を実施し、結果を通知する。
- (2) 広島市感染症情報センター(以下「感染症情報センター」という。)を設置する。

4 指定届出機関(定点)

定点把握対象の5類感染症及び法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の発生状況を把握するため、患者定点及び病原体定点を、各医師会の協力のもとに広島市内の医療機関の中から選定する。

(1) 患者定点

患者情報を収集するため、次により選定する。各定点数及び区別の内訳は別表3のとおりとする。

ア 小児科定点

小児科を標榜する医療機関から選定する。

イ インフルエンザ定点

アの小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関から内科定点を選定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

ウ 眼科定点

眼科を標榜する医療機関から選定する。

エ 性感染症定点

産婦人科若しくは産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和二十三年政令第三百二十六号）第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科又は泌尿器科若しくは皮膚科を標榜する医療機関から選定する。

オ 基幹定点

患者300人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）から選定する。

カ 疑似症定点

以下の医療機関のうち、アからウの順に優先順位をつけ、選定する。

(ア) 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料（1～4）、小児特定集中治療室管理料及びハイケアユニット入院医療管理料（1～2）の届出をしている医療機関

(イ) 法に基づく感染症指定医療機関

- ・法に基づく特定感染症指定医療機関
- ・法に基づく第一種感染症指定医療機関
- ・法に基づく第二種感染症指定医療機関

(ウ) マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団）において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関（例：大規模なスポーツ競技大会等において、観客や大会運営関係者等が受診する可能性のある医療機関）

(2) 病原体定点

病原体情報を収集するため、患者定点の中から選定する。定点数及び区別の内訳は別表3のとおりとする。

また、(1)のイにより選定されたインフルエンザ定点の中から、指定提出機関を選定する。

5 広島市感染症対策協議会

(1) 事業の適切な運用を図るため、「広島市感染症対策協議会」（以下「協議会」という。）を設置し、必要な情報の解析評価等を行う。

(2) 協議会の構成、組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

第6 事業の実施

1 結核

(1) 保健センター

届出等に基づく結核患者等の情報のうち別記に掲げる事項を、新登録者については把握後速やかに、年末現在の登録者及び年間の登録除外者については国が指定する期

日までに感染症サーベイランス（以下「NESID」という。）に入力する。

なお、結核の患者または登録者に関する個人情報のコンピュータ処理にあたっては、患者等のプライバシー保護に十分な配慮を払うものとする。

(2) 結核情報センター

保健センターから入力された市域の各情報は、公表される都道府県情報、全国情報と併せて、保健センター、医師会等の関係機関に提供する。

2 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、5類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の共通事項

(1) 感染症情報センター

市域の全ての患者情報及び病原体情報（病原体の分離等の検査情報を含む）を収集・分析するとともに、その結果を、中央感染症情報センターから週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、定点医療機関、協議会委員、医師会、保健センター、保健所、教育委員会等の関係機関にファクシミリ等により速やかに提供するとともに、インターネット等を通じて市民に公開する。

(2) 保健所及び保健センター

感染症情報センターから提供された各情報を、市民、関係機関等へ提供する。

3 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、5類感染症（「侵襲性髄膜炎菌感染症」、「麻しん」及び「風しん」）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症（「新型コロナウイルス感染症」を除く。）

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表1に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者等を診断した医師は、国の定める様式を用いて、直ちに最寄りの保健センターに届出を行う。また保健センターから当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合は、協力可能な範囲において、所定の検査票を添付して衛生研究所へ提供する。

イ 保健センター

① 届出を受けた保健センターは、直ちに保健所へ連絡するとともに、感染症情報センターへ NESID により伝送する。また、当該患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、所定の検査票を添付して依頼するものとする。

② 必要と認める時には適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に関する事項を除く）を指定医療機関、その他の医療機関及び各区医師会等の関係機関に連絡する。

ウ 感染症情報センター

保健センターから伝送された患者情報については直ちに、病原体情報（検査情報を含む）については検査結果がまとまり次第、NESIDにより、中央感染症情報センターへ伝送する。

4 新型コロナウイルス感染症

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表1に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者等を診断した医師は、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム（以下「HER-SYS」という。）により、直ちに最寄りの保健センターに届出を行う。ただし、HER-SYS の入力環境がない場合には、国の定める様式を用いて届出を行う。また保健センターから当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合は、協力可能な範囲において、所定の検査票を添付して衛生研究所へ提供する。

イ 保健センター

- ① 届出を受けた保健センターは、直ちに届出内容の確認を行い保健所へ連絡するとともに、診断した医師の医療機関に HER-SYS の入力環境がない場合には、当該届出内容を HER-SYS に入力する。また、当該患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、所定の検査票を添付して依頼するものとする。
- ② 必要と認める時には適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に関する事項を除く）を指定医療機関、その他の医療機関及び各区医師会等の関係機関に連絡する。

5 全数把握対象の5類感染症（「侵襲性髄膜炎菌感染症」、「麻しん」及び「風しん」を除く）

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表1に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者を診断した医師は、国の定める様式を用いて、7日以内に最寄りの保健センターに届出を行う。また、保健センターから当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合は、協力可能な範囲において、検体又は病原体情報について、保健センターの協力を得て所定の検査票を添付して衛生研究所に送付する。

イ 保健センター

当該届出を受けた保健センターは、直ちに患者情報を保健所へ提供するとともに、感染症情報センターへ NESID により伝送する。また、別表1のうち病原体検査の対象とする感染症の患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、所定の検査票を添付して依頼するものとする。

ウ 感染症情報センター

患者情報については、保健センターが診断した医師から届出を受けてから7日以内に、病原体情報（検査情報を含む）については検査結果がまとまり次第、NESID により、中央感染症情報センターへ伝送する。

6 定点把握対象の5類感染症

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表2に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 各定点の対象感染症

別表2のとおりとする。

(3) 調査単位等

ア 患者情報の調査単位は1週間（月曜日から日曜日）又は各月とし、別表2のとおりとする。

- イ 病原体情報については、原則として結果がまとまり次第、報告することとする。
- (4) 実施方法
- ア 患者定点
- ① 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における国の定める届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。
 - ② 各定点は所定の様式により、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。
 - ③ 所定の様式による患者情報については、原則として、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に保健センターへの発送を行うものとする。
- イ 病原体定点
- 微生物学的検査のために検体を採取し、所定の検査票を添えて、速やかに衛生研究所へ送付する。
- なお、検体の採取は、別表2に示す対象の感染症について実施するものとする。
- 小児科定点から選定された病原体定点については、調査単位ごとに小児科定点対象疾患から1検体を送付する。
- また、指定提出機関は、インフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む）の検体について、季節性インフルエンザの流行期（概ね11月から3月）は毎週1回、非流行期は毎月1回、送付する。
- ウ 保健センター
- 患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は翌月の3日までに、感染症情報センターへNESIDにより伝送する。また、対象感染症についての集団発生、その他特記すべき情報についても保健所及び感染症情報センターへ報告する。
- エ 感染症情報センター
- 保健センターから伝送された患者情報については直ちに、病原体情報（検査情報を含む）については検査結果がまとまり次第、NESIDにより、中央感染症情報センターへ伝送する。

7 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

- (1) 対象とする疑似症の状態
別表2に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。
 - (2) 定点の選定
別表2のとおりとする。
 - (3) 調査単位及び実施方法
- ア 診断した医師
- 上記(1)に該当する患者等を診断した医師は、国の定める様式を用いて、直ちに最寄りの保健センターに届出を行う。
- イ 保健センター
- ① 届出を受けた保健センターは、直ちに保健所へ連絡するとともに、感染症情報センターへNESIDにより伝送する。
 - ② 必要と認める時には適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に関する事項を除く）を指定医療機関、その他の医療機関及び各区医師会等の関係機関に連絡する。
- ウ 感染症情報センター
- 保健センターから伝送された患者情報については直ちに、NESIDにより、中央感染

症情報センターへ伝送する。

8 病原体の検査

- (1) 衛生研究所は、検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を次のとおり通知する。
 - ア 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、全数把握対象の5類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の場合は、保健センターを經由して診断した医師に通知するとともに、保健センター及び保健所に通知する。
 - イ 定点把握対象の5類感染症の場合は、病原体定点に通知する。
- (2) 検査のうち、衛生研究所において実施することが困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 衛生研究所は、患者が1類感染症と診断されている場合及び市域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、厚生労働省健康局結核感染症課からの依頼に基づき、検体を国立感染症研究所に送付する。

9 積極的疫学調査

積極的疫学調査が行われる場合としては、①1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、新型インフルエンザ等感染症又は指定感染症が発生した場合、②5類感染症等に係る感染症発生動向調査において通常と異なる傾向が認められた場合等が考えられるが、個別の事例に応じ、適切な判断に基づき調査を行うものとする。また、積極的疫学調査を行う場合にあっては、関係者の理解と協力を得つつ、関係機関と密接な連携を図ることにより、地域における詳細な流行状況や原因不明の感染症等の迅速な把握を進めていく。

附 則

- 1 この要綱は、昭和62年1月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行に伴い、広島市感染症サーベイランス事業実施要綱（昭和56年11月29日施行）は廃止する。

附 則

この要綱は、平成2年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成4年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年1月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成20年5月12日から施行する。

附 則
この要綱は、平成24年12月28日から施行する。

附 則
この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成25年5月6日から施行する。

附 則
この要綱は、平成25年10月14日から施行する。

附 則
この要綱は、平成27年1月21日から施行する。

附 則
この要綱は、平成27年5月21日から施行する。

附 則
この要綱は、平成28年2月15日から施行する。

附 則
この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成30年1月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成30年5月1日から施行する。

附 則
この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則
この要綱は、令和元年5月8日から施行する。

附 則
この要綱は、令和2年5月29日から施行する。

別記

結核の患者情報の項目

1 新登録患者（月報）

- (1) 患者の生年月日及び性別
- (2) 登録までの状況
- (3) 病状及び治療状況

2 登録者（年報）

- (1) 登録者の生年月及び性別
- (2) 登録当時の状況
- (3) 現在の病状及び治療状況
- (4) 病状等の経過

3 登録除外者（年報）

- (1) 登録除外者の生年月及び性別
- (2) 登録時以降の経過の概要
- (3) 除外年月日及び除外理由

別表 1

全数把握の対象

類型	対象疾病	対象とする感染症患者等の状態(注)			調査単位 (届出時期)
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	
1類	* (1) エボラ出血熱	○	○	○	診断後直ちに
	* (2) グリミア・コンゴ出血熱	○	○	○	
	* (3) 痘そう	○	○	○	
	* (4) 南米出血熱	○	○	○	
	* (5) ベスト	○	○	○	
	* (6) マールブルグ病	○	○	○	
	* (7) ラッサ熱	○	○	○	
2類	* (8) 急性灰白髄炎	○	×	○	診断後直ちに
	* (9) 結核	○	○	○	
	* (10) ジフテリア	○	×	○	
	* (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○	
	* (12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○	
	* (13) 鳥インフルエンザ(H5N1)	○	○	○	
3類	* (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)	○	○	○	診断後直ちに
	* (15) コレラ	○	×	○	
	* (16) 細菌性赤痢	○	×	○	
4類	* (17) 腸管出血性大腸菌感染症	○	×	○	診断後直ちに
	* (18) 腸チフス	○	×	○	
	* (19) パラチフス	○	×	○	
	* (20) E型肝炎	○	×	○	
	* (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	○	×	○	
	(22) A型肝炎	○	×	○	
	* (23) エキノコックス症	○	×	○	
	* (24) 黄熱	○	×	○	
	* (25) オウム病	○	×	○	
	* (26) オムスク出血熱	○	×	○	
	* (27) 回帰熱	○	×	○	
	* (28) キャサスル森林病	○	×	○	
	* (29) Q熱	○	×	○	
	* (30) 狂犬病	○	×	○	
	* (31) コクシオイデス症	○	×	○	
	* (32) サル痘	○	×	○	
	* (33) ジカウイルス感染症	○	×	○	
	* (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	×	○	
	* (35) 腎症候性出血熱(HFRS)	○	×	○	
	* (36) 西部ウマ脳炎	○	×	○	
	* (37) ダニ媒介脳炎	○	×	○	
	* (38) 炭疽	○	×	○	
	* (39) チクングニア熱	○	×	○	
	* (40) つつが虫病	○	×	○	
* (41) デング熱	○	×	○		
* (42) 東部ウマ脳炎	○	×	○		
* (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	○	×	○		
* (44) ニバウイルス感染症	○	×	○		
* (45) 日本紅斑熱	○	×	○		
* (46) 日本脳炎	○	×	○		
* (47) ハンタウイルス肺症候群(HPS)	○	×	○		
* (48) Bウイルス病	○	×	○		
* (49) 鼻疽	○	×	○		
* (50) フルセラ症	○	×	○		
* (51) ベネズエラウマ脳炎	○	×	○		
* (52) ヘンドラウイルス感染症	○	×	○		
* (53) 養しんチフス	○	×	○		
* (54) ポツリヌス症	○	×	○		
(55) マラリア	○	×	○		
* (56) 野兎病	○	×	○		
* (57) ライム病	○	×	○		
* (58) リッサウイルス感染症	○	×	○		
* (59) リフトバレー熱	○	×	○		
* (60) 類鼻疽	○	×	○		
* (61) レジオネラ症	○	×	○		
* (62) レプトスピラ症	○	×	○		
* (63) ロッキー山紅斑熱	○	×	○		
5類	(64) アメーバ赤痢	○	×	×	診断から7日以内
	(65) ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	○	×	×	
	* (66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	×	×	
	* (67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	○	×	×	
	* (68) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	○	×	×	
	(69) クロイツフェルト・ヤコブ病	○	×	×	
	(70) クロイツフェルト・ヤコブ病	○	×	×	
	* (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	×	×	
	(72) 後天性免疫不全症候群	○	×	○	
	(73) ジアルジア症	○	×	×	
	* (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	×	×	
	* (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症	○	×	×	
	* (76) 侵襲性肺炎球菌感染症	○	×	×	
	(77) 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)	○	×	×	
	* (78) 先天性風しん症候群	○	×	×	
	(79) 梅毒	○	×	○	
	(80) 播種性クリプトコックス症	○	×	×	
(81) 破傷風	○	×	×		
* (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×		
* (83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	×	×		
(84) 百日咳	○	×	×		
* (85) 風しん	○	×	×		
* (86) 麻しん	○	×	×		
* (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	×	×		
新型コロナウイルス感染症	* (112) 新型コロナウイルス	○	○	○	診断後直ちに
	* (113) 再興型インフルエンザ	○	○	○	
指定感染症	* (114) 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)	○	○	○	診断後直ちに

* 必要に応じて病原体検査を行うもの

(注) 国の届出基準により診断されたもの

別表 2

定点把握の対象(5類感染症)

対象疾病	対象とする感染症患者等の状態(注)			調査単位 (届出時期)	報告 (届出)
	患者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
◆(88) RSウイルス感染症	○	×	×	週 (次の月曜)	小児科定点
◆(89) 咽頭結膜熱	○	×	×		
◆(90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	×	×		
◆(91) 感染性胃腸炎	○	×	×		
◆(92) 水痘	○	×	×		
◆(93) 手足口病	○	×	×		
◆(94) 伝染性紅斑	○	×	×		
◆(95) 突発性発しん	○	×	×		
◆(96) ヘルパンギーナ	○	×	×		
◆(97) 流行性耳下腺炎	○	×	×		
◆(98) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	○	×	×	週 (次の月曜)	インフルエンザ定点
◆(99) 急性出血性結膜炎	○	×	×	週 (次の月曜)	眼科定点
◆(100) 流行性角結膜炎	○	×	×		
(101) 性器クラミジア感染症	○	×	×	月 (翌月初日)	性感染症定点
(102) 性器ヘルペスウイルス感染症	○	×	×		
(103) 尖圭コンジローマ	○	×	×		
(104) 淋菌感染症	○	×	×		
◆(91) 感染性胃腸炎※	○	×	×	週 (次の月曜)	基幹定点
(105) クラミジア肺炎(オウム病を除く)	○	×	×		
◆(106) 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	○	×	×		
(107) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	×	×		
(108) マイコプラズマ肺炎	○	×	×		
◆(109) 無菌性髄膜炎	○	×	×		
(110) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×	月 (翌月初日)	
(111) 薬剤耐性緑膿菌感染症	○	×	×		

◆ 病原体定点の対象

(注) 国の届出基準により診断されたもの

※ 病原体がロタウイルスであるものに限る。

法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

対象疾病	届出基準	調査単位 (届出時期)	報告 (届出)
(115)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、左記の定義を満たす者を診察したときは、当該症状が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合及び感染症法の対象外の感染性疾患であることが明らかな場合を除き、法第14条第2項の規定による届出を直ちにしなければならない。	診断後直ちに	疑似症定点

別表 3

定点数と区別の内訳

定 点	定点数	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
小児科定点	24	3	3	3	3	4	3	2	3
内科定点	13	2	1	2	2	2	2	1	1
インフルエンザ定点 (小児科及び内科定点の計)	37	5	4	5	5	6	5	3	4
眼科定点	8	1	1	2	1	1	1	—	1
性感染症定点	9	1	1	1	2	1	1	—	2
基幹定点	7	4	1	1	—	—	1	—	—
疑似症定点	9	6	0	2	0	0	1	0	0
病原体定点	15	8	1	2	1	1	1	1	—
指定提出機関	5	1	—	1	1	1	—	1	—

第3節 広島市感染症対策協議会設置要領

(趣 旨)

第1 この要領は、広島市感染症発生動向調査事業実施要綱第5の5の規定に基づき、広島市感染症対策協議会（以下「協議会」という。）の所掌事務、組織及び委員並びにその運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2 協議会は、防疫対策の的確かつ効果的な推進及び結核・感染症発生動向調査事業の適切な運用を図るため、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 感染症の予防対策及び緊急対策に関すること。
- (2) 情報の解析評価等に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(組 織)

第3 協議会は、委員16人以内をもって組織する。

(委 員)

第4 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が依頼し、又は指定する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各疾病の専門医
- (3) 本市の区域内の各医師会の代表者
- (4) その他市長が必要と認める者

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第5 協議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6 協議会は、委員長が必要に応じ招集し、委員長が議長となる。

(部 会)

第 7 協議会は、必要に応じ、専門部会を設ける。

(1) 結核部会

(2) その他必要に応じた専門部会

(部会の運営)

第 8 部会に属する委員は、委員長が指名する。

2 部会に部会長を置き、委員の互選によって定める。

3 部会長は、会務を総理する。

4 部会長に事故あるときは、部会長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(庶 務)

第 9 協議会の庶務は、保健所健康推進課において処理する。

(委任規定)

第 10 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が協議会に諮って定める。

附 則

1 この要領は、平成 1 2 年 4 月 1 日から施行する。

2 この要領の施行に伴い、広島市結核・感染症発生動向調査委員会設置要領（昭和 6 2 年 1 月 1 日施行）は廃止する。

附 則

この要領は、平成 1 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 1 4 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 1 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 3 0 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 3 1 年 1 月 2 3 日から施行する。

第2章 感染症の概要

第1節 感染症の発生概要

1 全数把握対象感染症の概要

(1) 1類感染症

届出はなかった。

(2) 2類感染症

結核の届出が94件あり、うち無症状病原体保有者は44件であった。

(3) 3類感染症

腸管出血性大腸菌感染症(24件)、パラチフス(1件)の届出があった。腸管出血性大腸菌感染症24件のうち7件は6月に報告があり、血清型別の内訳は、O157が6件、O26が6件、O103が4件、O128が3件、O121が2件、O111が1件、O1が1件、OUT(型別不能)が1件であった。

(4) 4類感染症

E型肝炎他6疾患の届出があった。その内訳は、報告数の多い順にレジオネラ症(17件)、つつが虫病(9件)、E型肝炎(6件)、日本紅斑熱(4件)、重症熱性血小板減少症候群(3件)、A型肝炎(1件)、デング熱(1件、輸入症例)であった。

(5) 5類感染症

アメーバ赤痢他12疾患の届出があり、全報告数は187件であった。

梅毒は71件の届出があり、令和元年(74件)とほぼ同程度であった。性別では男性が70.4%と多かった。年齢別では20~40代が83.1%を占め、男性は20~40代、女性は20代が多かった。病型の内訳は、早期顕症梅毒(I期)が29件、早期顕症梅毒(II期)が22件、無症候が20件であった。感染経路は94.4%が性的接触によるもので、その内訳は、異性間58件、同性間3件、不明6件であった。

(6) 指定感染症

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、令和2年2月1日に感染症法に基づく指定感染症に定められた。本市では3月6日に1例目の感染者が確認され、令和2年は2,464件の届出があった。年齢別では、20~30代が33.1%と最も多く、次いで40~50代が多かった。

2 定点把握対象5類感染症の概要

各感染症の定点当たり年間累積報告数について、広島市と全国の比較を週報対象の疾患は図1-1に、月報対象の疾患は図1-2に示す。

年間定点当たり累積報告数の上位5疾患は、多い順に感染性胃腸炎、インフルエンザ、性器クラミジア感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症であった。また、例年と比べると多くの感染症が減少しており、過去5年の年間定点当たり累積報告数の平均値を上回った疾患は、性感染症定点報告対象の4疾患、細菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症のみであった。

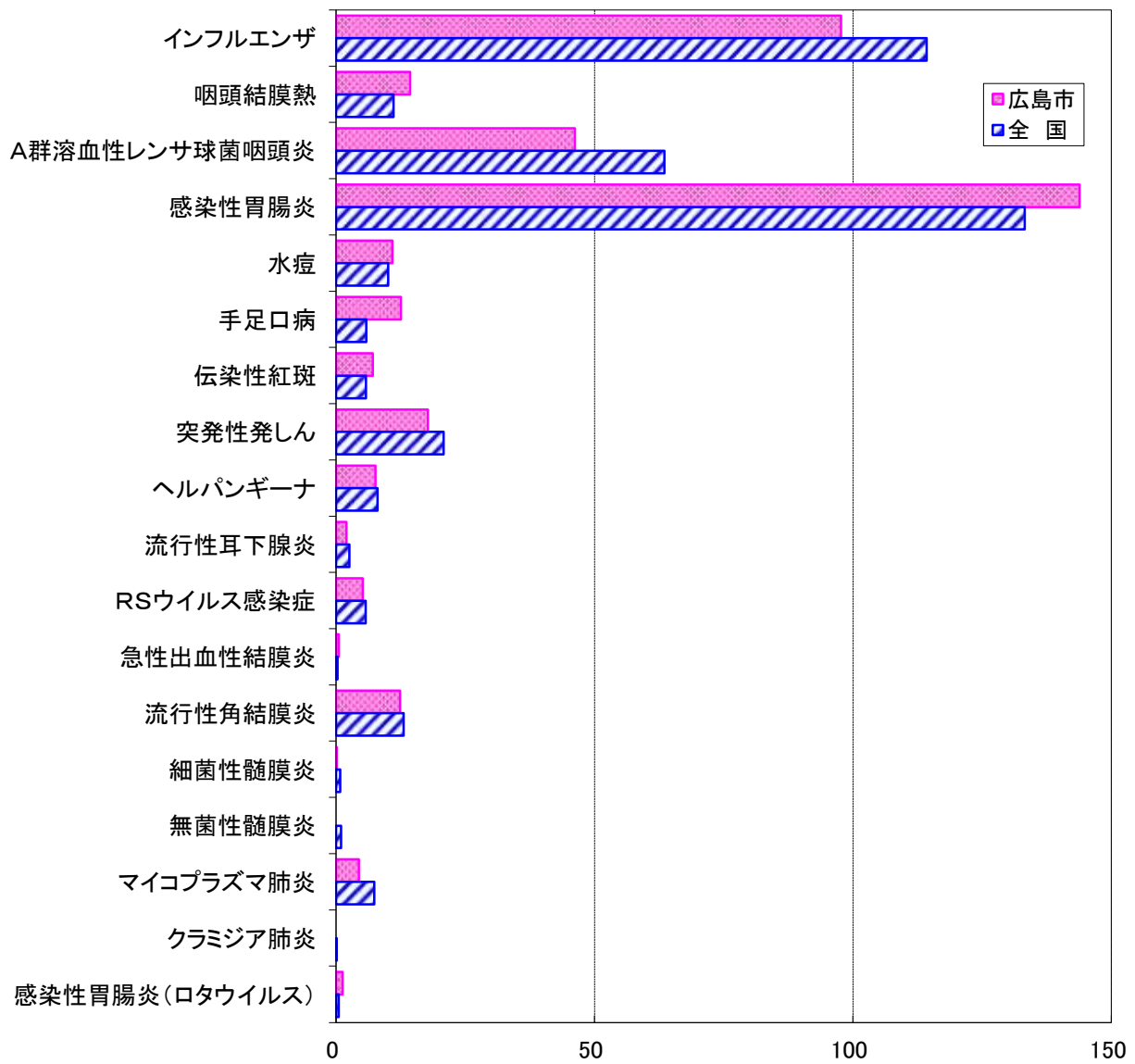


図1-1 広島市及び全国の週報対象疾患定点当たり年間累積報告数

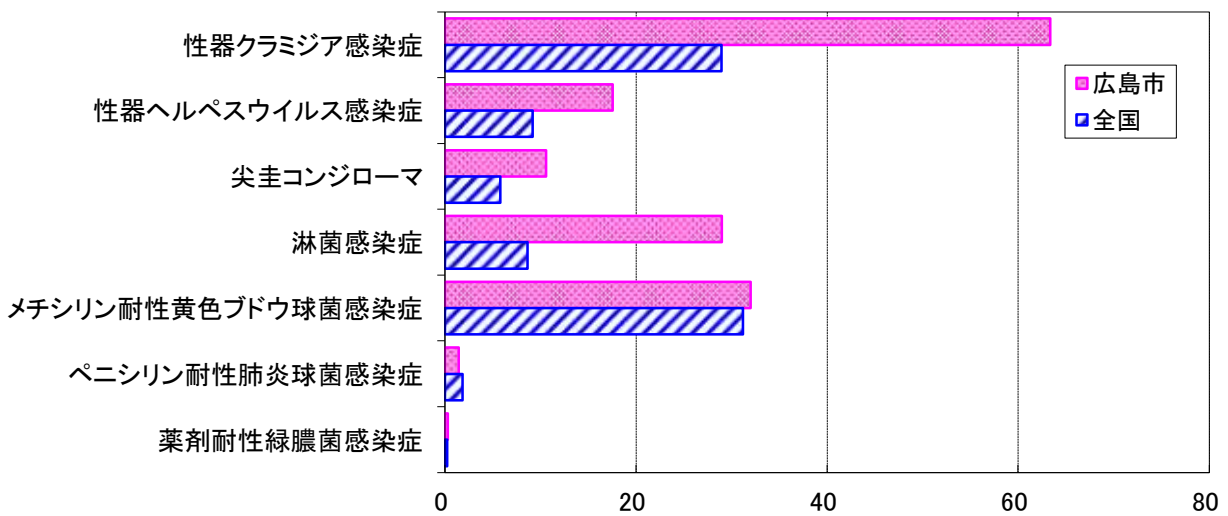


図1-2 広島市及び全国の月報対象疾患定点当たり年間累積報告数

第2節 感染症の発生状況

1 全数把握対象感染症

(1) 全数把握感染症届出数

広島市と全国における全数把握対象感染症届出数を表 1-1 に、広島市における過去5年間の全数把握対象感染症届出数を表 1-2 に示す。

(2) 2類感染症患者発生状況（結核を除く。）

発生なし

(3) 3類感染症患者発生状況

3類感染症患者発生状況を表 2 に示す。

(4) 4類感染症患者発生状況

4類感染症患者発生状況を表 3 に示す。

(5) 5類感染症患者発生状況

5類感染症患者発生状況を表 4 に示す。

2 定点把握対象5類感染症

(1) 広島市の定点把握対象5類感染症発生状況

週報対象の疾患について、週別報告状況を表 5-1 及び表 5-2 に示す。また、月別報告状況を、週報対象の疾患については表 6-1 に、月報対象の疾患については表 6-2 に示す。

年齢階層別報告状況を、週報対象の疾患については表 7-1 に、月報対象の疾患については表 7-2 に示す。

(2) 全国の定点把握対象5類感染症発生状況

週報対象の疾患について、週別報告状況を表 8-1、表 8-2 及び表 8-3 に示す。また、月別報告状況を、週報対象の疾患については表 9-1 に、月報対象の疾患については表 9-2 に示す。

表1-1 全数把握感染症報告数(令和2年)

類型	疾患名	広島市	全国
1類	エボラ出血熱	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-
	痘そう	-	-
	南米出血熱	-	-
	ペスト	-	-
	マールブルグ病	-	-
2類	ラッサ熱	-	-
	急性灰白髄炎	-	-
	結核	別記	17,786
	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-
3類	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-
	コレラ	-	1
	細菌性赤痢	-	87
4類	腸管出血性大腸菌感染症	24	3,094
	腸チフス	-	21
	パラチフス	1	7
	E型肝炎	6	454
4類	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	-	-
	A型肝炎	1	120
	エキノコックス症	-	24
	黄熱	-	-
	オウム病	-	7
	オムスク出血熱	-	-
	回帰熱	-	15
	キャサヌル森林病	-	-
	Q熱	-	-
	狂犬病	-	1
	コクシジオイデス症	-	6
	サル痘	-	-
	ジカウイルス感染症	-	1
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	3	78
	腎症候性出血熱	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-
	炭疽	-	-
	チクングニア熱	-	3
	つつが虫病	9	538
	デング熱	1	45
	東部ウマ脳炎	-	-
	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く。)	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-
	日本紅斑熱	4	422
	日本脳炎	-	5
	ハンタウイルス肺症候群	-	-
	Bウイルス病	-	-
	鼻疽	-	-
	ブルセラ症	-	2
	ベネズエラウマ脳炎	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-
	発しんチフス	-	-
	ポツリヌス症	-	4
	マラリア	-	21
	野兔病	-	-
	ライム病	-	27
リッサウイルス感染症	-	-	
リフトバレー熱	-	-	
類鼻疽	-	1	
レジオネラ症	17	2,059	
レプトスピラ症	-	17	
ロッキー山紅斑熱	-	-	
5類	アメーバ赤痢	5	611
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2	246
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	14	1,956
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	34
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	7	491
	クリプトスポリジウム症	-	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	157
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8	718
	後天性免疫不全症候群	9	1,094
	ジアルジア症	-	28
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	253
	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	14
	侵襲性肺炎球菌感染症	19	1,655
	水痘(入院例に限る。)	-	362
	先天性風しん症候群	-	1
	梅毒	71	5,867
	播種性クリプトコックス症	-	152
	破傷風	1	104
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	6	136
	百日咳	40	2,819
風しん	-	101	
麻しん	-	10	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	10	
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ	-	-
	再興型インフルエンザ	-	-
指定	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)*であるものに限る。)(令和2年2月1日から指定)	2,464	*241,902

*空港検疫及びチャーター便帰国者を除いた感染者数

表1-2 全数把握感染症報告数(過去5年間)

類型	疾患名	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
2類	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-
	結核	別記	別記	別記	別記	別記	別記
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-	-	-	-	-
3類	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-	-	-
	コレラ	-	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	1	-	1	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	14	14	17	9	18	24
	腸チフス	-	-	-	1	-	-
4類	バラチフス	-	-	-	-	-	1
	E型肝炎	-	1	-	5	2	6
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	10	3	3	1	8	1
	エキノコックス症	-	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	1	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	5	2	-	-	1	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	1	-	-	-	-	-
	つつが虫病	10	13	20	10	8	9
	デング熱	3	9	3	2	5	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く。)	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	2	2	2	5	1	4
	日本脳炎	-	-	2	-	1	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-
	フルセラ症	-	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	
ポツリヌス症	-	-	-	-	-	-	
マラリア	-	1	3	-	-	-	
野兔病	-	-	-	-	-	-	
ライム病	-	-	-	-	-	-	
リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	
リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	
類鼻疽	-	-	-	-	-	-	
レジオネラ症	12	20	23	39	29	17	
レプトスピラ症	-	1	-	1	-	-	
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	
5類	ア메ーバ赤痢	7	10	9	11	10	5
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	7	5	1	6	9	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	23	22	8	15	8	14
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	-	2	-	-
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	6	10	4	5	18	7
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	1	4	4	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	5	4	6	10	8
	後天性免疫不全症候群	9	16	11	9	11	9
	ジアルジア症	1	-	-	-	1	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	-	2	3	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	-	1	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	13	7	16	27	19
	水痘(入院例に限る。)	2	2	-	2	3	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-	-
	梅毒	14	27	62	105	74	71
	播種性クリプトコックス症	-	-	1	1	3	-
	破傷風	1	3	-	2	-	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	1	1	6
	百日咳	-	-	-	61	95	40
風しん	2	-	-	16	13	-	
麻しん	-	-	-	-	6	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	-	-	-	-	-	
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ	-	-	-	-	-	-
	再興型インフルエンザ	-	-	-	-	-	-
指定	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)(令和2年2月1日から指定)	-	-	-	-	-	2,464

表2 3類感染症患者発生状況

腸管出血性大腸菌感染症

番号	届出月日	発生区	性別	年齢	血清型	毒素型
1	1/22	西	男	2	O157:H7	VT2
2	1/30	西	男	33	O157:H7	VT2
3	1/30	西	女	35	O157:H7	VT2
4	6/10	西	男	12	O111:HNM(Hg8)	VT1VT2
5	6/10	安佐南	女	17	Og182:Hg25	VT1
6	6/15	中	女	14	O157:H7	VT1VT2
7	6/20	西	男	8	O103:H2	VT1
8	6/25	西	男	40	O103:H2	VT1
9	6/25	西	女	38	O103:H2	VT1
10	6/25	佐伯	女	11	O157:H7	VT1VT2
11	7/2	西	男	12	O26:H11	VT1
12	7/25	中	男	17	O128	VT1VT2
13	8/8	東	女	30	O26:H11	VT1
14	8/11	東	女	58	O26:H11	VT1
15	8/12	東	男	80	O26:H11	VT1
16	9/18	西	女	40	O157:H7	VT2
17	9/19	中	男	17	O128	VT1VT2
18	9/24	東	女	23	O121:H19	VT2
19	10/8	東	女	1	O26:H11	VT1
20	10/10	西	男	11	O103:H11	VT2
21	10/11	東	男	10	O26:H11	VT1
22	11/19	南	男	17	O121:H19	VT2
23	11/26	西	女	20	O128:H45	VT2
24	12/16	南	男	10	O1:H20	VT1

パラチフス

番号	届出月日	区	性別	年齢	渡航歴
1	3/19	中	女	30	無

表3 4類感染症患者発生状況一覧表(区は届出医療機関の所在地)

E型肝炎

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	2/12	南	男	63
2	2/21	中	男	76
3	3/31	南	男	51
4	4/27	中	女	50
5	4/30	中	男	70
6	12/22	南	男	60

A型肝炎

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	3/23	中	男	49

重症熱性血小板減少症候群

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	5/20	安佐南	男	63
2	6/29	安佐北	女	64
3	10/9	東	女	61

つつが虫病

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	11/6	西	男	54
2	11/13	佐伯	男	73
3	11/25	南	男	70
4	11/25	南	男	76
5	12/2	南	男	83
6	12/14	安佐北	女	63
7	12/15	安佐北	男	63
8	12/18	安佐南	男	41
9	12/23	安佐北	男	84

デング熱

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/21	中	男	32

日本紅斑熱

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	8/18	佐伯	女	71
2	8/27	南	男	66
3	10/13	南	女	54
4	10/22	中	女	68

レジオネラ症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/3	中	女	86
2	1/18	佐伯	男	82
3	3/23	安佐南	男	64
4	4/9	中	男	45
5	5/27	安佐南	男	66
6	6/11	中	男	46
7	6/29	中	男	67
8	6/29	東	男	77
9	7/10	中	男	69
10	7/15	安佐北	男	43
11	7/18	中	女	60
12	7/23	安佐北	男	53
13	7/25	中	男	65
14	9/25	安佐南	男	84
15	11/4	中	男	48
16	11/17	中	男	76
17	12/14	安佐南	男	70

表4 5類感染症患者発生状況一覧表(区は届出医療機関の所在地)

アメーバ赤痢

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/10	中	男	54
2	1/10	中	男	47
3	4/14	南	男	46
4	6/22	東	男	71
5	7/7	中	男	56

ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)

番号	届出月日	区	性別	年齢	病型
1	9/10	中	女	51	B
2	10/9	中	男	21	B

カルバペネム腸内細菌科細菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/10	中	男	56
2	2/17	安佐北	男	89
3	2/21	中	男	53
4	2/25	中	女	103
5	2/27	南	男	48
6	3/10	南	女	65
7	5/25	中	女	97
8	6/26	南	男	70
9	8/24	西	女	92
10	8/26	中	男	81
11	9/17	中	男	90
12	10/30	中	男	75
13	11/4	中	男	76
14	12/4	東	男	67

急性脳炎

番号	届出月日	区	性別	年齢	病原体
1	1/6	中	女	1	不明
2	1/6	中	女	0	不明
3	2/10	南	男	1	インフルエンザA
4	4/27	中	男	4	不明
5	4/27	中	男	8	不明
6	8/24	中	男	1	HHV6
7	10/1	中	女	1	HHV6

クロイツェルト・ヤコブ病

番号	届出月日	区	性別	年齢	病型
1	5/11	南	女	76	孤発性ほぼ確実
2	6/29	南	女	71	孤発性ほぼ確実
3	11/20	南	女	57	孤発性ほぼ確実

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/14	中	男	0
2	2/3	南	女	66
3	2/3	南	男	58
4	2/10	安佐北	男	64
5	3/12	南	女	84
6	7/3	中	男	96
7	10/30	中	男	58
8	11/18	南	女	51

後天性免疫不全症候群

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
1	1/15	南	男	55	AIDS
2	1/30	南	男	49	無症候性キャリア
3	4/8	南	男	46	AIDS
4	4/8	南	男	43	AIDS
5	4/27	南	男	24	無症候性キャリア
6	9/23	南	男	46	AIDS
7	9/24	中	男	44	AIDS
8	10/2	南	男	23	無症候性キャリア
9	10/12	南	男	36	無症候性キャリア

侵襲性インフルエンザ菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/17	安佐南	男	59
2	1/30	南	女	95

侵襲性肺炎球菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	2/6	安佐北	男	70
2	2/12	中	女	0
3	2/19	中	女	1
4	2/20	中	女	78
5	3/2	安佐北	男	66
6	3/4	安佐北	男	1
7	3/9	中	女	2
8	3/16	南	男	45
9	3/19	中	男	78
10	3/27	安佐北	女	2
11	6/10	中	女	0
12	8/5	中	女	1
13	9/14	南	男	72
14	10/2	安佐南	女	48
15	11/5	南	女	58
16	11/9	中	男	4
17	11/21	安佐南	男	67
18	11/24	中	男	2
19	1/2	安佐北	男	49

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
1	1/6	中	女	25	早期顕性(Ⅱ期)
2	1/7	安佐南	女	25	無症候
3	1/10	中	男	40	早期顕性(Ⅰ期)
4	1/14	安佐南	女	22	無症候
5	1/15	中	男	37	早期顕性(Ⅰ期)
6	1/17	中	女	20	早期顕性(Ⅱ期)
7	1/27	安佐南	男	26	早期顕性(Ⅰ期)
8	1/27	中	女	25	早期顕性(Ⅱ期)
9	1/28	中	男	37	早期顕性(Ⅰ期)
10	1/31	中	男	36	早期顕性(Ⅰ期)
11	2/3	安佐南	男	28	無症候
12	2/3	南	男	27	無症候
13	2/3	安佐北	男	50	早期顕性(Ⅰ期)
14	2/3	安佐南	女	51	無症候
15	2/6	中	男	29	早期顕性(Ⅰ期)
16	2/10	中	男	30	早期顕性(Ⅰ期)
17	2/14	安佐北	女	44	早期顕性(Ⅱ期)
18	2/19	中	女	41	無症候
19	2/20	佐伯	男	24	早期顕性(Ⅱ期)
20	3/5	佐伯	女	25	無症候
21	3/31	佐伯	男	51	早期顕性(Ⅱ期)
22	4/1	中	女	27	早期顕性(Ⅱ期)
23	4/6	中	女	38	早期顕性(Ⅰ期)
24	4/7	南	男	48	早期顕性(Ⅰ期)
25	4/10	中	女	23	無症候
26	4/27	中	男	29	早期顕性(Ⅰ期)
27	4/28	中	男	33	早期顕性(Ⅱ期)
28	5/11	中	女	28	無症候
29	5/16	南	女	25	無症候
30	6/2	中	男	36	早期顕性(Ⅱ期)
31	6/26	南	男	47	無症候
32	6/29	中	女	18	早期顕性(Ⅱ期)
33	7/2	中	女	27	無症候
34	7/2	中	男	28	早期顕性(Ⅰ期)
35	7/15	中	男	43	早期顕性(Ⅰ期)
36	7/15	中	男	41	早期顕性(Ⅱ期)
37	7/30	安佐南	女	26	早期顕性(Ⅱ期)
38	7/31	西	男	24	早期顕性(Ⅰ期)
39	8/8	安佐北	男	38	早期顕性(Ⅱ期)
40	8/17	中	男	29	早期顕性(Ⅰ期)
41	8/27	中	女	19	無症候
42	8/31	南	男	37	早期顕性(Ⅱ期)
43	9/17	中	男	44	無症候

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
44	9/23	南	男	46	早期顕性(Ⅱ期)
45	9/23	西	男	45	早期顕性(Ⅰ期)
46	9/29	中	女	20	無症候
47	10/2	南	男	29	早期顕性(Ⅱ期)
48	10/13	中	男	64	早期顕性(Ⅰ期)
49	10/21	南	男	45	早期顕性(Ⅰ期)
50	11/5	安佐南	男	57	早期顕性(Ⅰ期)
51	11/9	中	女	30	無症候
52	11/16	佐伯	男	33	早期顕性(Ⅰ期)
53	11/17	中	男	46	早期顕性(Ⅰ期)
54	11/24	安佐南	男	51	早期顕性(Ⅰ期)
55	11/24	佐伯	男	26	早期顕性(Ⅱ期)
56	11/30	中	女	41	無症候
57	12/2	佐伯	男	37	早期顕性(Ⅰ期)
58	12/3	南	男	65	早期顕性(Ⅱ期)
59	12/3	西	男	38	早期顕性(Ⅰ期)
60	12/4	中	男	32	早期顕性(Ⅱ期)
61	12/4	西	男	45	早期顕性(Ⅱ期)
62	12/7	南	男	42	早期顕性(Ⅰ期)
63	12/7	中	男	28	早期顕性(Ⅱ期)
64	12/7	南	男	78	早期顕性(Ⅱ期)
65	12/7	南	男	26	早期顕性(Ⅰ期)
66	12/7	南	男	78	早期顕性(Ⅰ期)
67	12/15	中	男	52	無症候
68	12/18	安佐南	男	47	早期顕性(Ⅰ期)
69	12/21	佐伯	男	30	早期顕性(Ⅰ期)
70	12/28	南	男	21	早期顕性(Ⅱ期)
71	12/28	中	男	44	無症候

破傷風

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	7/14	南	女	82

バンコマイシン耐性腸球菌

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	7/14	中	女	63
2	7/14	中	女	92
3	9/1	安佐南	男	58
4	9/10	東	男	91
5	10/12	東	女	92
6	11/26	南	女	81

次頁へ続く

百日咳

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/9	西	男	6
2	1/10	中	女	0
3	1/14	南	女	12
4	1/18	西	女	8
5	1/27	西	女	4
6	1/27	西	男	63
7	1/29	安佐南	女	13
8	2/10	安佐南	女	11
9	2/12	西	男	7
10	2/14	南	女	7
11	2/18	中	女	64
12	2/19	安佐南	男	10
13	2/25	西	男	12
14	2/26	西	女	9
15	2/27	西	男	8
16	2/28	中	男	9
17	2/28	安佐南	男	9
18	2/28	安佐南	男	9
19	3/2	西	女	7
20	3/4	中	女	51
21	3/6	中	男	9
22	3/6	西	男	8
23	3/11	西	男	62
24	3/16	安佐南	男	8
25	3/18	中	女	10
26	3/18	西	男	9
27	3/18	西	女	8
28	3/25	安佐南	女	11
29	4/3	中	女	58
30	4/6	南	女	0
31	4/9	西	女	7
32	4/13	西	女	2
33	4/13	西	女	7
34	4/15	中	女	14
35	4/16	西	女	3
36	4/21	安佐南	女	40
37	6/15	西	男	7
38	6/24	南	男	0
39	7/27	安佐南	女	12
40	11/16	中	女	35

表5-2 広島市週別報告状況(週報対象)

疾病名		7月					8月					9月				10月				11月					12月			
		27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週
インフルエンザ	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	2	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	0.03	-	0.05	
咽頭結膜熱	報告数	10	2	8	7	15	6	7	8	6	6	3	3	4	4	9	3	3	4	4	9	4	6	3	12	5	6	1
	定点当たり	0.42	0.08	0.33	0.29	0.63	0.26	0.32	0.33	0.25	0.25	0.13	0.13	0.17	0.17	0.38	0.13	0.13	0.17	0.17	0.38	0.17	0.25	0.13	0.50	0.21	0.25	0.04
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	19	12	18	22	15	9	4	6	16	11	11	16	8	19	14	15	9	13	10	13	15	13	17	22	20	11	3
	定点当たり	0.79	0.50	0.75	0.92	0.63	0.39	0.18	0.25	0.67	0.46	0.46	0.67	0.33	0.79	0.58	0.63	0.38	0.54	0.42	0.54	0.63	0.54	0.71	0.92	0.83	0.46	0.13
感染性胃腸炎	報告数	66	62	67	70	75	77	46	53	53	45	46	38	34	28	58	38	38	34	36	35	34	49	52	53	48	67	18
	定点当たり	2.75	2.58	2.79	2.92	3.13	3.35	2.09	2.21	2.21	1.88	1.92	1.58	1.42	1.17	2.42	1.58	1.58	1.42	1.50	1.46	1.42	2.04	2.17	2.21	2.00	2.79	0.75
水痘	報告数	9	4	5	2	1	1	1	5	1	4	4	7	2	3	6	1	7	3	2	6	4	2	5	6	2	8	-
	定点当たり	0.38	0.17	0.21	0.08	0.04	0.04	0.05	0.21	0.04	0.17	0.17	0.29	0.08	0.13	0.25	0.04	0.29	0.13	0.08	0.25	0.17	0.08	0.21	0.25	0.08	0.33	-
手足口病	報告数	2	2	-	3	4	2	1	3	3	-	-	9	28	7	15	18	19	15	6	10	16	18	26	23	21	14	4
	定点当たり	0.08	0.08	-	0.13	0.17	0.09	0.05	0.13	0.13	-	-	0.38	1.17	0.29	0.63	0.75	0.79	0.63	0.25	0.42	0.67	0.75	1.08	0.96	0.88	0.58	0.17
伝染性紅斑	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	0.08	-	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-
突発性発しん	報告数	9	12	7	7	8	14	5	13	8	5	16	12	7	7	10	18	10	8	12	9	8	1	8	8	5	6	5
	定点当たり	0.38	0.50	0.29	0.29	0.33	0.61	0.23	0.54	0.33	0.21	0.67	0.50	0.29	0.29	0.42	0.75	0.42	0.33	0.50	0.38	0.33	0.04	0.33	0.33	0.21	0.25	0.21
ヘルパンギーナ	報告数	1	-	1	-	3	1	1	-	3	4	3	1	5	2	3	6	15	7	12	11	4	16	19	19	11	17	9
	定点当たり	0.04	-	0.04	-	0.13	0.04	0.05	-	0.13	0.17	0.13	0.04	0.21	0.08	0.13	0.25	0.63	0.29	0.50	0.46	0.17	0.67	0.79	0.79	0.46	0.71	0.38
流行性耳下腺炎	報告数	-	1	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	2	8	3	-	-	-	1	-	-	1	2	1	1
	定点当たり	-	0.04	0.04	-	-	0.04	0.05	0.04	-	-	-	-	0.04	-	0.08	0.33	0.13	-	-	-	0.04	-	-	0.04	0.08	0.04	0.04
RSウイルス感染症	報告数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	1
	定点当たり	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	-	0.04	-	-	-	-	-	0.04	0.04	-	-	0.08	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	3	-	1	1	1	1	3	2	-	1	1	1	1	1	3	1	-	1	3	1	1	-	2	1	3	2	-
	定点当たり	0.38	-	0.13	0.13	0.13	0.13	0.38	0.25	-	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.38	0.13	-	0.13	0.38	0.13	0.13	-	0.25	0.13	0.38	0.25	-
細菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		119	95	108	112	123	112	69	91	90	76	85	87	91	72	120	110	106	85	86	94	89	106	133	146	118	134	44

表6-1 広島市月別報告状況(週報対象)

疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		5週	4週	5週	4週	4週	5週	4週	5週	4週	4週	5週	4週	
インフルエンザ	報告数	2,394	904	187	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3,490
	定点当たり	67.71	24.67	5.20	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.08	97.71
咽頭結膜熱	報告数	45	39	48	18	6	33	32	33	14	19	26	24	337
	定点当たり	1.92	1.66	2.09	0.78	0.26	1.39	1.33	1.41	0.60	0.81	1.10	1.00	14.35
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	180	187	180	78	35	82	67	46	54	51	68	56	1,084
	定点当たり	7.75	7.98	7.82	3.40	1.52	3.43	2.80	1.95	2.25	2.13	2.84	2.34	46.21
感染性胃腸炎	報告数	743	527	313	187	101	265	274	274	146	168	206	186	3,390
	定点当たり	31.65	22.37	13.60	8.13	4.40	11.13	11.42	11.74	6.09	7.00	8.59	7.75	143.87
水痘	報告数	40	37	36	10	10	30	12	12	16	17	19	16	255
	定点当たり	1.78	1.57	1.56	0.44	0.43	1.26	0.50	0.51	0.67	0.71	0.79	0.66	10.88
手足口病	報告数	11	5	8	1	3	4	9	9	44	67	76	62	299
	定点当たり	0.48	0.21	0.34	0.04	0.13	0.16	0.38	0.40	1.84	2.80	3.17	2.59	12.54
伝染性紅斑	報告数	58	34	33	20	13	4	-	-	1	3	-	1	167
	定点当たり	2.44	1.44	1.44	0.86	0.56	0.16	-	-	0.04	0.12	-	0.04	7.10
突発性発しん	報告数	19	28	33	18	33	60	34	45	42	46	38	24	420
	定点当たり	0.86	1.19	1.43	0.78	1.42	2.53	1.41	1.92	1.75	1.92	1.58	1.00	17.79
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	4	-	1	2	4	9	11	31	62	56	182
	定点当たり	0.04	0.04	0.17	-	0.04	0.08	0.17	0.39	0.46	1.30	2.59	2.34	7.62
流行性耳下腺炎	報告数	5	2	5	6	2	4	2	3	1	13	1	5	49
	定点当たり	0.20	0.09	0.20	0.26	0.08	0.16	0.08	0.13	0.04	0.54	0.04	0.20	2.02
RSウイルス感染症	報告数	34	46	24	7	-	1	1	-	1	1	2	3	120
	定点当たり	1.47	1.97	1.03	0.31	-	0.04	0.04	-	0.04	0.04	0.08	0.12	5.14
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	4
	定点当たり	0.13	-	0.13	0.13	-	-	-	-	-	-	0.13	-	0.52
流行性角結膜炎	報告数	11	13	12	16	3	11	3	7	4	5	7	6	98
	定点当たり	1.39	1.64	1.51	2.01	0.38	1.39	0.39	0.89	0.52	0.64	0.89	0.76	12.41
細菌性髄膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	6	12	8	3	-	1	-	-	1	-	-	-	31
	定点当たり	0.86	1.72	1.15	0.43	-	0.14	-	-	0.14	-	-	-	4.44
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイ ルス)	報告数	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	定点当たり	-	-	0.86	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	1.28
計		3,549	1,835	898	368	207	497	438	438	335	421	508	442	9,936
内科小児科系疾患月報告分		28	13	25	27	15	20	14	20	22	23	14	15	236
総計		3,577	1,848	923	395	222	517	452	458	357	444	522	457	10,172

表6-2 広島市月別報告状況(月報対象)

疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	48	44	56	50	48	41	61	51	46	35	42	48	570
	定点当たり	5.33	4.89	6.22	5.56	5.33	4.56	6.78	5.67	5.11	3.89	4.67	5.33	63.34
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	19	13	17	19	9	9	7	16	11	10	13	15	158
	定点当たり	2.11	1.44	1.89	2.11	1.00	1.00	0.78	1.78	1.22	1.11	1.44	1.67	17.55
尖圭コンジローマ	報告数	7	6	15	11	8	9	15	9	5	9	-	1	95
	定点当たり	0.78	0.67	1.67	1.22	0.89	1.00	1.67	1.00	0.56	1.00	-	0.11	10.57
淋菌感染症	報告数	24	28	18	9	18	19	19	20	28	29	27	22	261
	定点当たり	2.67	3.11	2.00	1.00	2.00	2.11	2.11	2.22	3.11	3.22	3.00	2.44	28.99
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	27	12	23	26	14	19	13	19	21	23	12	15	224
	定点当たり	3.86	1.71	3.29	3.71	2.00	2.71	1.86	2.71	3.00	3.29	1.71	2.14	31.99
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数	1	1	2	1	1	-	-	1	1	-	2	-	10
	定点当たり	0.14	0.14	0.29	0.14	0.14	-	-	0.14	0.14	-	0.29	-	1.42
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	-	-	-	-	-	0.14	0.14	-	-	-	-	-	0.28

表7-1 広島市年齢階級別報告状況(週報対象)

疾病名		0~5か月	6~11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	男	女	合計		
インフルエンザ	報告数	11	67	167	167	155	224	281	264	265	229	193	583	123	119	193	202	121	72	40	14	1,769	1,721	3,490		
	割合(%)	0.3	1.9	4.8	4.8	4.4	6.4	8.1	7.6	7.6	6.6	5.5	16.7	3.5	3.4	5.5	5.8	3.5	2.1	1.1	0.4	50.7	49.3	100.0		
疾病名		0~5か月	6~11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							男	女	合計		
咽頭結膜熱	報告数	2	33	120	58	41	25	25	14	6	4	2	3	1	3							166	171	337		
	割合(%)	0.6	9.8	35.6	17.2	12.2	7.4	7.4	4.2	1.8	1.2	0.6	0.9	0.3	0.9							49.3	50.7	100.0		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1	5	30	63	127	157	126	144	91	92	53	126	17	52							608	476	1,084		
	割合(%)	0.1	0.5	2.8	5.8	11.7	14.5	11.6	13.3	8.4	8.5	4.9	11.6	1.6	4.8							56.1	43.9	100.0		
感染性胃腸炎	報告数	28	224	553	337	298	284	222	194	162	150	161	333	117	327							1,816	1,574	3,390		
	割合(%)	0.8	6.6	16.3	9.9	8.8	8.4	6.5	5.7	4.8	4.4	4.7	9.8	3.5	9.6							53.6	46.4	100.0		
水痘	報告数	3	3	23	17	21	39	32	34	17	29	19	15	1	2							148	107	255		
	割合(%)	1.2	1.2	9.0	6.7	8.2	15.3	12.5	13.3	6.7	11.4	7.5	5.9	0.4	0.8							58.0	42.0	100.0		
手足口病	報告数	3	7	108	82	49	21	17	2	3	1	1	1	-	4							166	133	299		
	割合(%)	1.0	2.3	36.1	27.4	16.4	7.0	5.7	0.7	1.0	0.3	0.3	0.3	-	1.3							55.5	44.5	100.0		
伝染性紅斑	報告数	-	1	7	10	22	31	29	28	17	7	4	8	-	3							84	83	167		
	割合(%)	-	0.6	4.2	6.0	13.2	18.6	17.4	16.8	10.2	4.2	2.4	4.8	-	1.8							50.3	49.7	100.0		
突発性発しん	報告数	3	119	231	45	15	7	-	-	-	-	-	-	-	-							214	206	420		
	割合(%)	0.7	28.3	55.0	10.7	3.6	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-							51.0	49.0	100.0		
ヘルパンギーナ	報告数	2	13	65	63	22	10	4	2	1	-	-	-	-	-							93	89	182		
	割合(%)	1.1	7.1	35.7	34.6	12.1	5.5	2.2	1.1	0.5	-	-	-	-	-							51.1	48.9	100.0		
流行性耳下腺炎	報告数	-	-	-	4	7	4	4	6	6	5	4	9	-	-							34	15	49		
	割合(%)	-	-	-	8.2	14.3	8.2	8.2	12.2	12.2	10.2	8.2	18.4	-	-							69.4	30.6	100.0		
RSウイルス感染症	報告数	17	26	56	10	4	4	-	-	3	-	-	-	-	-							61	59	120		
	割合(%)	14.2	21.7	46.7	8.3	3.3	3.3	-	-	2.5	-	-	-	-	-							50.8	49.2	100.0		
疾病名		0~5か月	6~11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上				男	女	合計
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-				1	3	4
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	25.0	-				25.0	75.0	100.0
流行性角結膜炎	報告数	-	1	3	1	-	2	1	-	1	2	1	1	2	12	17	23	12	11	8				48	50	98
	割合(%)	-	1.0	3.1	1.0	-	2.0	1.0	-	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	12.2	17.3	23.5	12.2	11.2	8.2				49.0	51.0	100.0
疾病名		0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上							男	女	合計
細菌性髄膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1	-	1
	割合(%)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							100.0	-	100.0
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	5	13	8	-	-	-	1	2	-	-	1	-	1	-	-							15	16	31
	割合(%)	-	16.1	41.9	25.8	-	-	-	3.2	6.5	-	-	3.2	-	3.2	-	-							48.4	51.6	100.0
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							3	6	9
	割合(%)	22.2	44.4	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							33.3	66.7	100.0

※割合(%):小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

表7-2 広島市年齢階級別報告状況(月報対象)

疾病名			0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	男女別	合計	
性器クラミジア感染症	男	報告数	-	-	-	-	21	129	130	75	52	38	31	16	4	1	8	2	507	570	
		割合(%)	-	-	-	-	4.1	25.4	25.6	14.8	10.3	7.5	6.1	3.2	0.8	0.2	1.6	0.4	88.9		
	女	報告数	-	-	-	-	4	32	13	6	6	-	1	1	-	-	-	-	63		
		割合(%)	-	-	-	-	6.3	50.8	20.6	9.5	9.5	-	1.6	1.6	-	-	-	-	11.1		
性器ヘルペスウイルス感染症	男	報告数	-	-	-	-	2	11	14	30	12	15	14	12	4	1	2	3	120	158	
		割合(%)	-	-	-	-	1.7	9.2	11.7	25.0	10.0	12.5	11.7	10.0	3.3	0.8	1.7	2.5	75.9		
	女	報告数	-	-	-	1	-	8	7	2	6	3	4	3	1	-	-	3	38		
		割合(%)	-	-	-	2.6	-	21.1	18.4	5.3	15.8	7.9	10.5	7.9	2.6	-	-	7.9	24.1		
尖圭コンジローマ	男	報告数	-	-	-	-	1	19	16	11	18	4	11	7	3	1	-	-	91	95	
		割合(%)	-	-	-	-	1.1	20.9	17.6	12.1	19.8	4.4	12.1	7.7	3.3	1.1	-	-	95.8		
	女	報告数	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4		
		割合(%)	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2		
淋菌感染症	男	報告数	-	-	-	-	9	51	49	36	22	25	22	20	5	3	-	-	242	261	
		割合(%)	-	-	-	-	3.7	21.1	20.2	14.9	9.1	10.3	9.1	8.3	2.1	1.2	-	-	92.7		
	女	報告数	-	-	-	-	2	10	1	1	3	-	1	-	1	-	-	-	19		
		割合(%)	-	-	-	-	10.5	52.6	5.3	5.3	15.8	-	5.3	-	5.3	-	-	-	7.3		
疾病名			0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	男	女	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	12	5	2	3	-	4	1	3	5	4	7	7	11	6	19	135	139	85	224	
	割合(%)	5.4	2.2	0.9	1.3	-	1.8	0.4	1.3	2.2	1.8	3.1	3.1	4.9	2.7	8.5	60.3	62.1	37.9	100.0	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	2	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	3	7	10	
	割合(%)	20.0	30.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	40.0	30.0	70.0	100.0	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	50.0	50.0	100.0	

※割合(%):小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

表8-1 全国週別報告状況(週報対象)

疾病名		1月					2月					3月					4月			
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	
インフルエンザ	報告数	64,864	90,915	83,238	89,579	70,130	44,944	37,214	30,681	23,645	15,544	6,390	2,670	1,341	750	431	235	119	65	
	定点当たり	13.94	18.31	16.74	18.02	14.12	9.06	7.49	6.19	4.77	3.14	1.29	0.54	0.27	0.15	0.09	0.05	0.02	0.01	
咽頭結膜熱	報告数	660	1,656	1,063	1,307	1,239	1,437	1,198	1,243	1,047	1,067	949	800	620	484	454	421	430	419	
	定点当たり	0.22	0.52	0.33	0.41	0.39	0.45	0.38	0.39	0.33	0.34	0.30	0.25	0.20	0.15	0.14	0.13	0.14	0.13	
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	2,193	7,700	7,740	10,092	11,067	11,307	10,329	11,630	9,491	9,242	7,337	5,412	5,049	4,648	3,982	3,421	2,589	2,015	
	定点当たり	0.74	2.43	2.44	3.18	3.49	3.57	3.26	3.67	3.00	2.92	2.32	1.71	1.60	1.47	1.26	1.09	0.82	0.65	
感染性胃腸炎	報告数	5,293	19,305	19,041	22,691	21,973	20,176	18,201	17,653	13,109	11,283	9,103	6,959	6,719	5,935	5,088	4,652	3,801	3,247	
	定点当たり	1.79	6.09	6.00	7.15	6.92	6.36	5.74	5.57	4.14	3.56	2.87	2.21	2.13	1.88	1.61	1.48	1.21	1.04	
水痘	報告数	945	2,063	940	1,363	957	1,243	1,171	1,250	1,191	1,157	1,111	829	754	637	538	487	351	339	
	定点当たり	0.32	0.65	0.30	0.43	0.30	0.39	0.37	0.39	0.38	0.37	0.35	0.26	0.24	0.20	0.17	0.15	0.11	0.11	
手足口病	報告数	345	622	480	524	516	462	392	348	299	248	290	253	230	179	167	163	108	127	
	定点当たり	0.12	0.20	0.15	0.17	0.16	0.15	0.12	0.11	0.09	0.08	0.09	0.08	0.07	0.06	0.05	0.05	0.03	0.04	
伝染性紅斑	報告数	489	1,983	1,610	1,667	1,486	1,256	978	959	802	803	829	666	687	526	494	380	258	293	
	定点当たり	0.17	0.63	0.51	0.53	0.47	0.40	0.31	0.30	0.25	0.25	0.26	0.21	0.22	0.17	0.16	0.12	0.08	0.09	
突発性発しん	報告数	284	1,016	963	976	953	909	915	949	790	833	842	910	934	1,023	1,070	1,021	1,124	1,009	
	定点当たり	0.10	0.32	0.30	0.31	0.30	0.29	0.29	0.30	0.25	0.26	0.27	0.29	0.30	0.32	0.34	0.32	0.36	0.32	
ヘルパンギーナ	報告数	41	103	59	69	96	72	70	60	72	78	55	43	47	77	86	64	70	53	
	定点当たり	0.01	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	
流行性耳下腺炎	報告数	68	180	174	181	147	172	166	156	146	150	157	148	156	141	128	158	139	123	
	定点当たり	0.02	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	
RSウイルス感染症	報告数	657	1,027	866	1,035	1,126	1,021	867	915	885	857	770	496	346	338	278	248	131	68	
	定点当たり	0.22	0.32	0.27	0.33	0.35	0.32	0.27	0.29	0.28	0.27	0.24	0.16	0.11	0.11	0.09	0.08	0.04	0.02	
急性出血性結膜炎	報告数	4	8	5	4	8	1	-	4	3	5	5	1	10	7	7	7	3	3	
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-	-	0.01	-	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	0.01	-	-	
流行性角結膜炎	報告数	158	464	294	276	301	289	284	307	296	297	189	183	220	180	162	132	121	83	
	定点当たり	0.25	0.67	0.42	0.40	0.43	0.42	0.41	0.44	0.42	0.42	0.27	0.26	0.31	0.26	0.23	0.19	0.17	0.12	
細菌性髄膜炎	報告数	3	8	5	13	8	6	9	6	10	7	6	3	10	12	4	11	10	8	
	定点当たり	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	0.01	0.02	0.02	0.02	
無菌性髄膜炎	報告数	3	10	12	12	11	9	11	12	8	10	14	7	6	7	10	5	11	5	
	定点当たり	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	
マイコプラズマ肺炎	報告数	75	223	160	152	151	147	144	192	175	172	212	120	103	109	113	91	111	54	
	定点当たり	0.16	0.47	0.33	0.32	0.31	0.31	0.30	0.40	0.37	0.36	0.44	0.25	0.22	0.23	0.24	0.19	0.23	0.11	
クラミジア肺炎	報告数	-	1	-	2	-	-	3	4	1	3	1	-	6	2	1	3	1	1	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	0.01	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウ イルス)	報告数	8	8	4	18	26	16	27	5	14	10	10	9	6	9	4	6	7	3	
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	0.04	0.05	0.03	0.06	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	
計		76,090	127,292	116,654	129,961	110,195	83,467	71,979	66,374	51,984	41,766	28,270	19,509	17,244	15,064	13,017	11,505	9,384	7,915	

表8-2 全国週別報告状況(週報対象)

疾病名		5月				6月					7月				8月			
		19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週
インフルエンザ	報告数	24	15	14	9	15	7	6	9	11	9	3	4	8	1	6	-	2
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	253	294	243	269	343	405	442	422	479	501	564	521	635	525	414	579	470
	定点当たり	0.08	0.09	0.08	0.09	0.11	0.13	0.14	0.13	0.15	0.16	0.18	0.17	0.20	0.17	0.14	0.18	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,181	1,796	1,687	1,958	2,223	2,306	2,260	2,692	2,926	3,132	2,987	2,230	2,230	1,974	1,079	1,686	1,647
	定点当たり	0.37	0.57	0.53	0.62	0.70	0.73	0.72	0.85	0.92	0.99	0.94	0.71	0.71	0.63	0.35	0.54	0.52
感染性胃腸炎	報告数	2,318	3,473	3,610	4,128	4,893	5,424	5,837	6,368	6,547	6,870	7,152	5,485	6,720	5,578	3,337	5,696	5,727
	定点当たり	0.74	1.10	1.14	1.31	1.55	1.72	1.85	2.01	2.07	2.17	2.26	1.74	2.13	1.79	1.10	1.81	1.81
水痘	報告数	235	299	276	265	304	347	282	241	320	383	321	344	363	355	330	364	287
	定点当たり	0.07	0.09	0.09	0.08	0.10	0.11	0.09	0.08	0.10	0.12	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.09
手足口病	報告数	116	174	164	234	334	406	390	333	417	436	386	378	481	552	338	519	449
	定点当たり	0.04	0.06	0.05	0.07	0.11	0.13	0.12	0.11	0.13	0.14	0.12	0.12	0.15	0.18	0.11	0.16	0.14
伝染性紅斑	報告数	166	199	141	147	102	82	69	53	48	59	52	56	57	58	28	27	44
	定点当たり	0.05	0.06	0.04	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	報告数	748	1,098	1,187	1,405	1,625	1,780	1,816	1,797	1,816	1,789	1,717	1,546	1,674	1,478	1,000	1,550	1,651
	定点当たり	0.24	0.35	0.38	0.44	0.51	0.56	0.58	0.57	0.57	0.57	0.54	0.49	0.53	0.47	0.33	0.49	0.52
ヘルパンギーナ	報告数	40	40	52	100	124	153	275	450	635	725	1,098	1,264	1,454	2,264	1,202	1,302	1,624
	定点当たり	0.01	0.01	0.02	0.03	0.04	0.05	0.09	0.14	0.20	0.23	0.35	0.40	0.46	0.72	0.39	0.41	0.51
流行性耳下腺炎	報告数	108	126	146	140	165	192	201	197	189	189	182	140	204	133	87	174	166
	定点当たり	0.03	0.04	0.05	0.04	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.04	0.06	0.04	0.03	0.06	0.05
RSウイルス感染症	報告数	26	22	13	18	24	22	18	17	46	42	52	42	62	108	64	97	96
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	2	2	2	4	1	2	5	5	2	8	4	4	2	1	1	6	4
	定点当たり	-	-	-	0.01	-	-	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01
流行性角結膜炎	報告数	76	97	99	99	115	112	112	135	137	131	133	111	168	152	96	173	173
	定点当たり	0.11	0.14	0.14	0.14	0.17	0.16	0.16	0.19	0.20	0.19	0.19	0.16	0.24	0.22	0.14	0.25	0.25
細菌性髄膜炎	報告数	4	9	11	6	10	10	11	14	8	8	4	3	5	9	7	4	3
	定点当たり	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	報告数	5	6	5	10	11	13	10	9	17	9	12	10	4	9	9	8	9
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02
マイコプラズマ肺炎	報告数	36	50	31	31	38	41	23	23	26	26	25	29	41	52	25	30	28
	定点当たり	0.08	0.10	0.06	0.06	0.08	0.09	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.09	0.11	0.05	0.06	0.06
クラミジア肺炎	報告数	1	2	1	-	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	3	2	2	2	-	2	3	2	2	1	-	1	2	-	2	4
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01
計		5,342	7,705	7,684	8,825	10,333	11,303	11,760	12,769	13,627	14,320	14,694	12,168	14,110	13,252	8,026	12,217	12,384

表8-3 全国週別報告状況(週報対象)

疾病名		9月					10月				11月					12月			
		36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週
インフルエンザ	報告数	3	2	4	7	7	17	20	29	32	23	22	44	49	63	58	71	70	69
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
咽頭結膜熱	報告数	553	542	555	397	475	359	425	462	495	569	660	804	757	845	943	973	993	465
	定点当たり	0.17	0.17	0.18	0.13	0.15	0.11	0.13	0.15	0.16	0.18	0.21	0.25	0.24	0.27	0.30	0.31	0.31	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,827	1,786	1,974	1,527	2,220	2,469	2,369	2,509	2,422	2,026	2,284	2,563	2,000	2,490	2,517	2,501	2,419	1,082
	定点当たり	0.58	0.57	0.63	0.48	0.70	0.78	0.75	0.79	0.77	0.64	0.72	0.81	0.63	0.79	0.80	0.79	0.77	0.35
感染性胃腸炎	報告数	6,170	5,944	5,795	4,538	5,451	5,412	5,434	5,592	5,500	5,688	6,588	7,556	6,696	7,657	8,921	9,243	10,007	4,455
	定点当たり	1.95	1.88	1.85	1.44	1.72	1.71	1.71	1.77	1.74	1.80	2.08	2.39	2.12	2.42	2.82	2.92	3.17	1.44
水痘	報告数	302	336	387	361	394	376	435	481	561	590	641	738	691	676	665	604	566	322
	定点当たり	0.10	0.11	0.12	0.11	0.12	0.12	0.14	0.15	0.18	0.19	0.20	0.23	0.22	0.21	0.21	0.19	0.18	0.10
手足口病	報告数	486	437	387	359	363	429	399	360	387	323	327	384	356	418	367	323	278	121
	定点当たり	0.15	0.14	0.12	0.11	0.11	0.14	0.13	0.11	0.12	0.10	0.10	0.12	0.11	0.13	0.12	0.10	0.09	0.04
伝染性紅斑	報告数	32	37	38	31	49	38	52	53	35	32	44	44	32	40	48	45	25	18
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	報告数	1,611	1,607	1,553	1,170	1,371	1,406	1,379	1,347	1,368	1,226	1,320	1,427	1,218	1,218	1,237	1,207	1,116	558
	定点当たり	0.51	0.51	0.50	0.37	0.43	0.44	0.44	0.43	0.43	0.39	0.42	0.45	0.39	0.38	0.39	0.38	0.35	0.18
ヘルパンギーナ	報告数	1,292	1,124	1,090	636	831	819	836	741	709	506	493	426	388	421	371	245	226	121
	定点当たり	0.41	0.36	0.35	0.20	0.26	0.26	0.26	0.23	0.22	0.16	0.16	0.13	0.12	0.13	0.12	0.08	0.07	0.04
流行性耳下腺炎	報告数	171	191	182	140	157	173	159	167	132	132	151	166	145	143	137	135	117	46
	定点当たり	0.05	0.06	0.06	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.01
RSウイルス感染症	報告数	177	173	231	205	209	308	284	305	383	346	325	326	309	328	383	396	433	276
	定点当たり	0.06	0.05	0.07	0.06	0.07	0.10	0.09	0.10	0.12	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.12	0.13	0.14	0.09
急性出血性結膜炎	報告数	3	2	2	-	1	1	1	3	5	4	3	3	4	1	4	2	3	3
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	-	0.01	-	0.01	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	178	152	163	113	175	166	169	145	163	127	179	172	152	171	171	132	136	62
	定点当たり	0.26	0.22	0.24	0.16	0.25	0.24	0.24	0.21	0.23	0.18	0.26	0.25	0.22	0.25	0.25	0.19	0.20	0.09
細菌性髄膜炎	報告数	10	3	11	7	3	4	7	7	5	12	3	4	7	4	8	10	13	6
	定点当たり	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.01
無菌性髄膜炎	報告数	12	8	7	9	9	9	13	9	7	9	10	8	9	8	5	8	4	1
	定点当たり	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	33	31	30	13	31	31	37	33	29	19	34	28	24	25	23	19	20	15
	定点当たり	0.07	0.06	0.06	0.03	0.06	0.06	0.08	0.07	0.06	0.04	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03
クラミジア肺炎	報告数	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	2	2	2	2	-	-	2	1	2	1	1	1	-	1	3	2	7
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.01
計		12,862	12,377	12,411	9,515	11,749	12,017	12,019	12,245	12,234	11,635	13,086	14,694	12,838	14,508	15,859	15,918	16,428	7,627

表9-1 全国月別報告状況(週報対象)

疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		5週	4週	5週	4週	4週	5週	4週	5週	4週	4週	5週	4週	53週
インフルエンザ	報告数	398,726	136,484	26,695	850	62	48	24	12	20	98	201	268	563,488
	定点当たり	81.13	27.51	5.39	0.17	-	-	-	-	-	0.02	0.03	0.04	114.29
咽頭結膜熱	報告数	5,925	4,925	3,920	1,724	1,059	2,091	2,221	2,541	1,969	1,741	3,635	3,374	35,125
	定点当たり	1.87	1.55	1.24	0.54	0.34	0.66	0.71	0.81	0.63	0.55	1.15	1.07	11.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	38,792	42,757	31,688	12,007	6,622	12,407	10,579	8,213	7,507	9,769	11,363	8,519	200,223
	定点当たり	12.28	13.50	10.02	3.82	2.09	3.92	3.35	2.62	2.38	3.09	3.59	2.71	63.37
感染性胃腸炎	報告数	88,303	69,139	39,999	16,788	13,529	29,069	26,227	26,508	21,728	21,938	34,185	32,626	420,039
	定点当たり	27.95	21.81	12.65	5.34	4.29	9.20	8.30	8.46	6.89	6.93	10.81	10.35	132.98
水痘	報告数	6,268	4,855	4,488	1,715	1,075	1,494	1,411	1,638	1,478	1,853	3,336	2,157	31,768
	定点当たり	2.00	1.53	1.42	0.54	0.33	0.48	0.44	0.53	0.46	0.59	1.05	0.68	10.05
手足口病	報告数	2,487	1,501	1,200	565	688	1,880	1,681	2,344	1,546	1,575	1,808	1,089	18,364
	定点当たり	0.80	0.47	0.38	0.17	0.22	0.60	0.53	0.74	0.48	0.50	0.56	0.35	5.80
伝染性紅斑	報告数	7,235	3,995	3,511	1,425	653	354	224	189	155	178	192	136	18,247
	定点当たり	2.31	1.26	1.11	0.45	0.20	0.12	0.08	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	5.80
突発性発しん	報告数	4,192	3,563	4,542	4,224	4,438	8,834	6,726	7,290	5,701	5,500	6,409	4,118	65,537
	定点当たり	1.33	1.13	1.44	1.34	1.41	2.79	2.13	2.32	1.81	1.74	2.03	1.30	20.77
ヘルパンギーナ	報告数	368	274	300	273	232	1,637	4,541	7,684	3,681	3,105	2,234	963	25,292
	定点当たり	0.11	0.08	0.08	0.09	0.07	0.52	1.44	2.44	1.17	0.97	0.70	0.31	7.98
流行性耳下腺炎	報告数	750	640	752	548	520	944	715	731	670	631	737	435	8,073
	定点当たり	0.24	0.20	0.24	0.17	0.16	0.29	0.22	0.23	0.21	0.19	0.24	0.13	2.52
RSウイルス感染症	報告数	4,711	3,688	2,807	725	79	127	198	542	818	1,280	1,634	1,488	18,097
	定点当たり	1.49	1.16	0.89	0.23	0.03	0.05	0.06	0.17	0.25	0.41	0.51	0.48	5.73
急性出血性結膜炎	報告数	29	8	28	20	10	15	18	15	5	10	15	12	185
	定点当たり	0.05	0.01	0.04	0.02	0.01	0.02	0.03	0.02	-	0.01	0.02	0.01	0.24
流行性角結膜炎	報告数	1,493	1,176	1,069	498	371	611	543	772	603	643	801	501	9,081
	定点当たり	2.17	1.69	1.52	0.71	0.53	0.88	0.78	1.12	0.87	0.92	1.16	0.73	13.08
細菌性髄膜炎	報告数	37	31	38	33	30	53	20	33	24	23	30	37	389
	定点当たり	0.09	0.06	0.08	0.07	0.06	0.11	0.05	0.07	0.05	0.04	0.07	0.08	0.83
無菌性髄膜炎	報告数	48	40	44	31	26	60	35	47	33	38	44	18	464
	定点当たり	0.11	0.09	0.08	0.06	0.05	0.13	0.08	0.11	0.07	0.08	0.10	0.04	1.00
マイコプラズマ肺炎	報告数	761	658	716	369	148	151	121	168	105	130	130	77	3,534
	定点当たり	1.59	1.38	1.50	0.77	0.30	0.32	0.25	0.35	0.21	0.27	0.27	0.16	7.37
クラミジア肺炎	報告数	3	8	12	6	4	8	4	5	1	-	2	1	54
	定点当たり	-	0.02	0.02	0.01	-	0.01	-	0.01	-	-	-	-	0.07
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	64	62	44	20	10	9	4	9	8	3	5	13	251
	定点当たり	0.14	0.13	0.09	0.04	0.02	0.01	-	0.01	-	-	-	0.02	0.46
計		560,192	273,804	121,853	41,821	29,556	59,792	55,292	58,741	46,052	48,515	66,761	55,832	1,418,211
内科小児科系疾患月報報告分		1,504	1,383	1,357	1,204	1,252	1,319	1,352	1,286	1,295	1,380	1,308	1,295	15,935
総計		561,696	275,187	123,210	43,025	30,808	61,111	56,644	60,027	47,347	49,895	68,069	57,127	1,434,146

表9-2 全国月別報告状況(月報対象)

疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	2,420	2,326	2,390	2,210	2,176	2,326	2,450	2,453	2,428	2,631	2,248	2,323	28,381
	定点当たり	2.46	2.37	2.45	2.25	2.22	2.37	2.50	2.49	2.48	2.68	2.29	2.37	28.93
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	800	749	743	742	605	802	745	781	766	807	713	747	9,000
	定点当たり	0.81	0.76	0.76	0.75	0.62	0.82	0.76	0.79	0.78	0.82	0.73	0.76	9.16
尖圭コンジローマ	報告数	510	431	482	423	435	572	469	464	519	515	410	455	5,685
	定点当たり	0.52	0.44	0.49	0.43	0.44	0.58	0.48	0.47	0.53	0.53	0.42	0.46	5.79
淋菌感染症	報告数	785	639	596	587	541	632	772	765	768	864	789	736	8,474
	定点当たり	0.80	0.65	0.61	0.60	0.55	0.64	0.79	0.78	0.78	0.88	0.80	0.75	8.63
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	1,371	1,272	1,229	1,131	1,193	1,259	1,282	1,237	1,242	1,305	1,197	1,222	14,940
	定点当たり	2.86	2.66	2.57	2.36	2.49	2.62	2.67	2.58	2.59	2.72	2.49	2.55	31.16
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数	122	102	115	67	53	45	62	40	46	63	100	64	879
	定点当たり	0.25	0.21	0.24	0.14	0.11	0.09	0.13	0.08	0.10	0.13	0.21	0.13	1.82
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	11	9	13	6	6	15	8	9	7	12	11	9	116
	定点当たり	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.24

第3章 感染症別患者発生状況

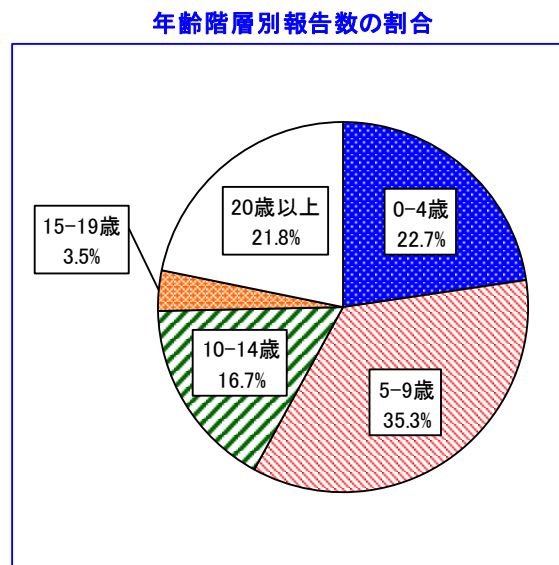
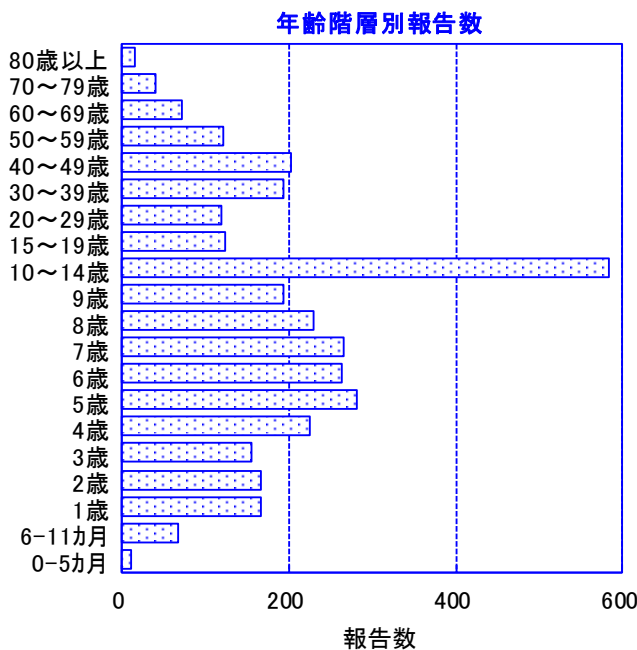
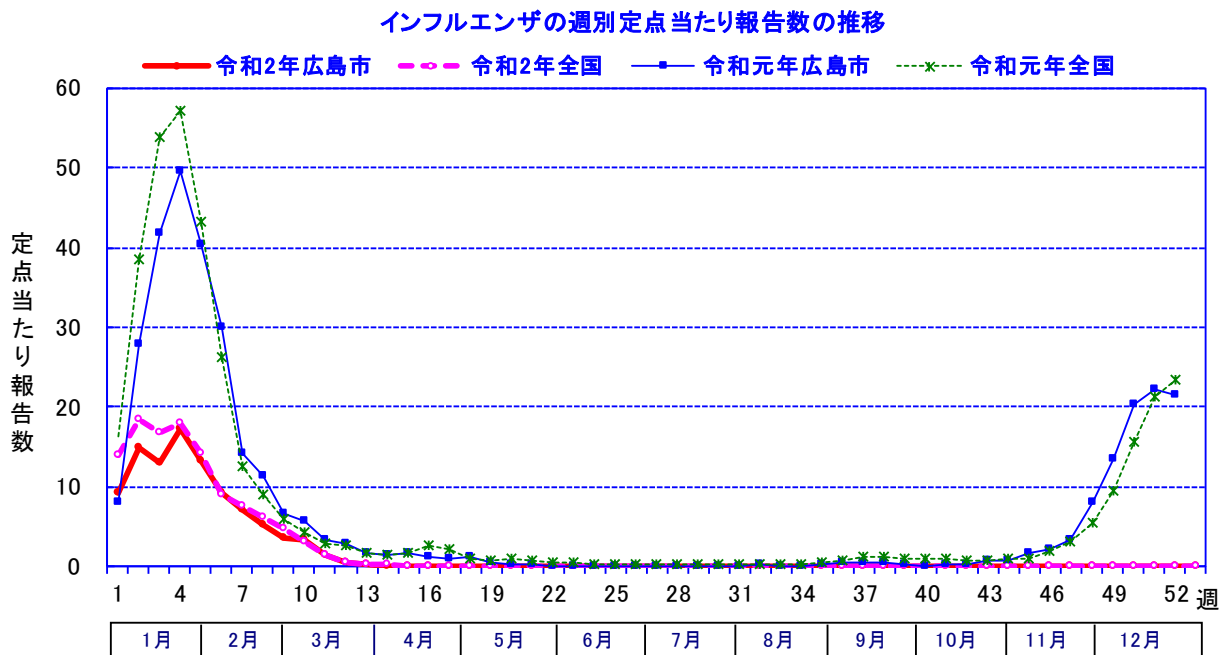
第1節 インフルエンザ定点

インフルエンザ（鳥インフルエンザを除く）

年間定点当たり累積報告数は 97.7 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.28）。

2019/20 シーズンは、令和元年第 45 週に定点当たり 1.59 人と流行期に入り、第 49 週に定点当たり 13.4 人と注意報レベル（定点当たり 10.0 人）を超え、第 51 週には定点当たり 22.2 人の報告があり、流行のピークとなった。その後は減少し、令和 2 年第 12 週に定点当たり 0.42 人と定点当たり 1 人未満となり、終息状態となった。なお、2020/21 シーズンの流行は見られなかった。

年齢階層別報告数は、14 歳以下が 74.7% を占めていた。

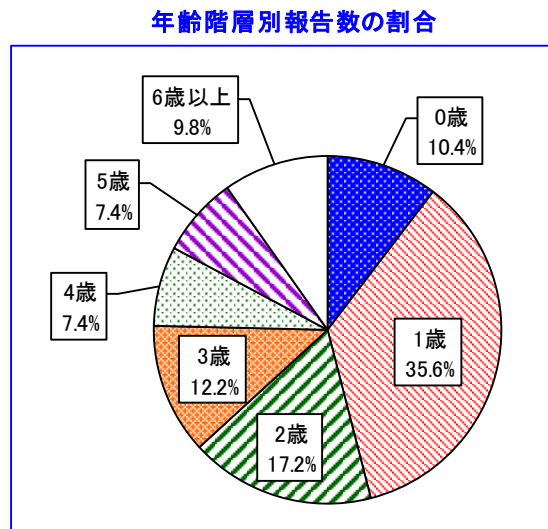
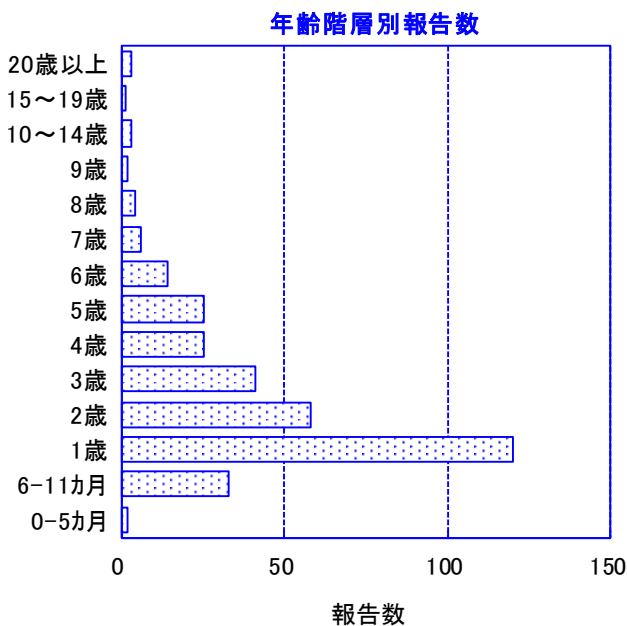
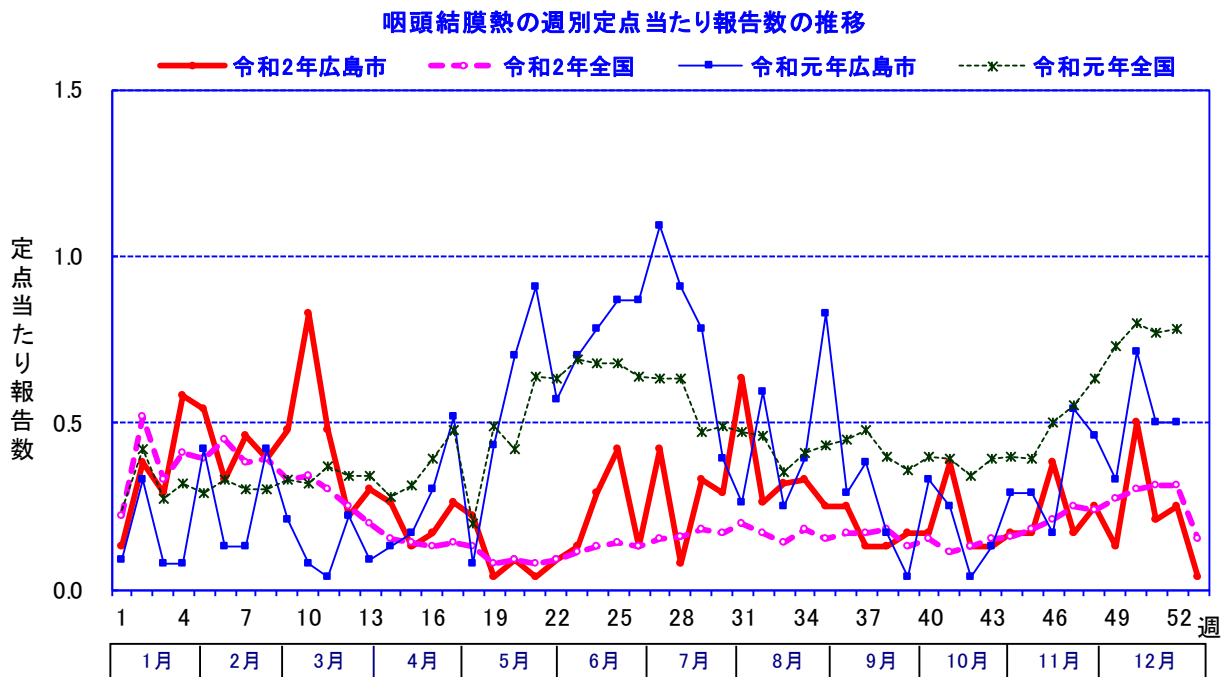


第2節 小児科定点

1 咽頭結膜熱

年間定点当たり累積報告数は14.4人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.70)。年間累積報告数は、小児科定点報告数の5.4%であった。

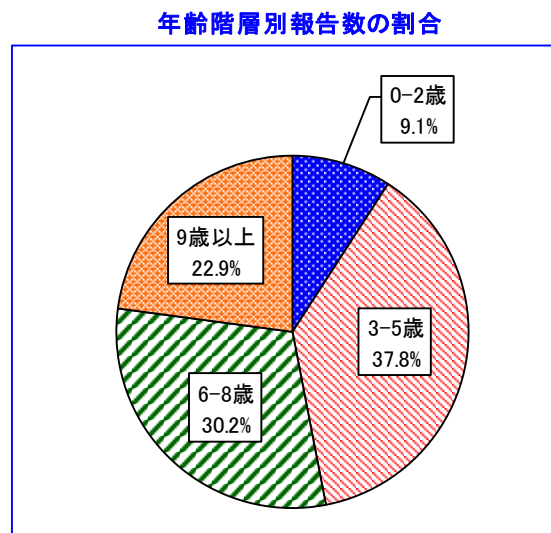
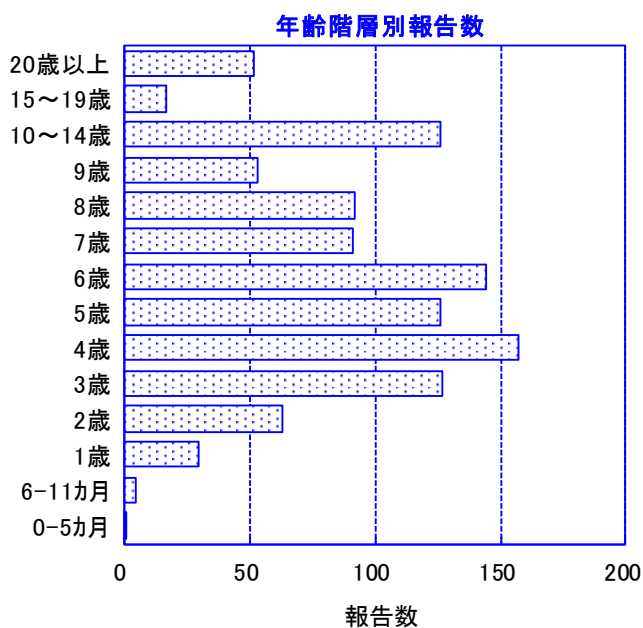
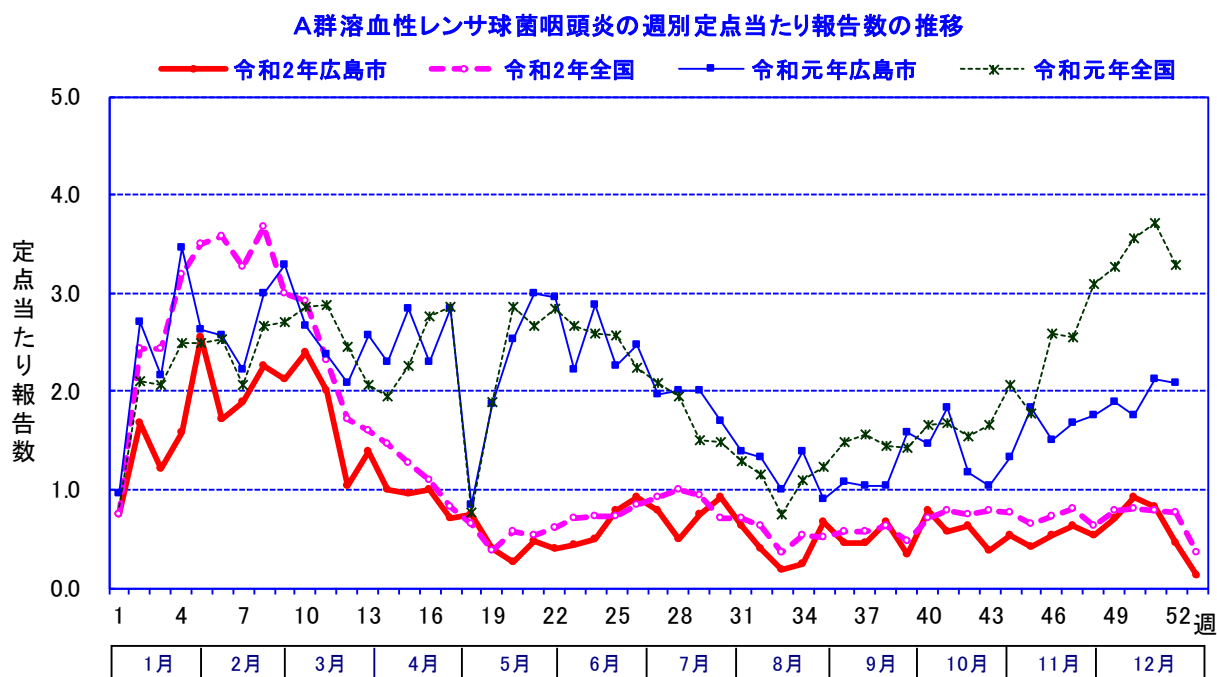
定点当たり報告数は4月以降減少し、その後例年より低い水準で推移した。年齢階層別報告数は1歳が最も多く、3歳以下が75.4%を占めていた。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間定点当たり累積報告数は46.2人で、前年と比べて大きく減少した（前年比0.44）。年間累積報告数は小児科定点報告数の17.3%を占め、小児科定点報告対象疾患の中では、感染性胃腸炎に次いで多かった。

定点当たり報告数は4月以降減少し、その後例年より低い水準で推移した。年齢階層別報告数は3～8歳が68.0%を占めていた。

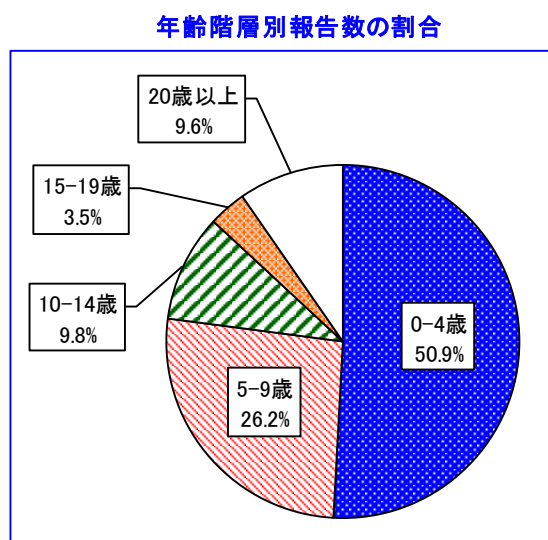
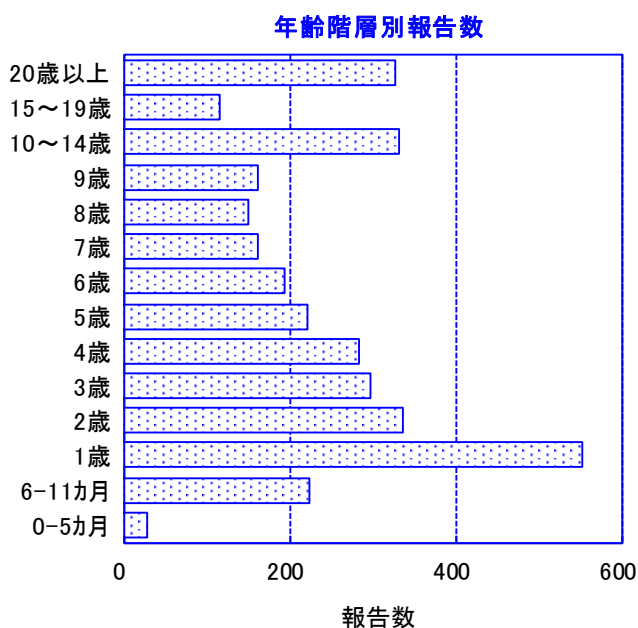
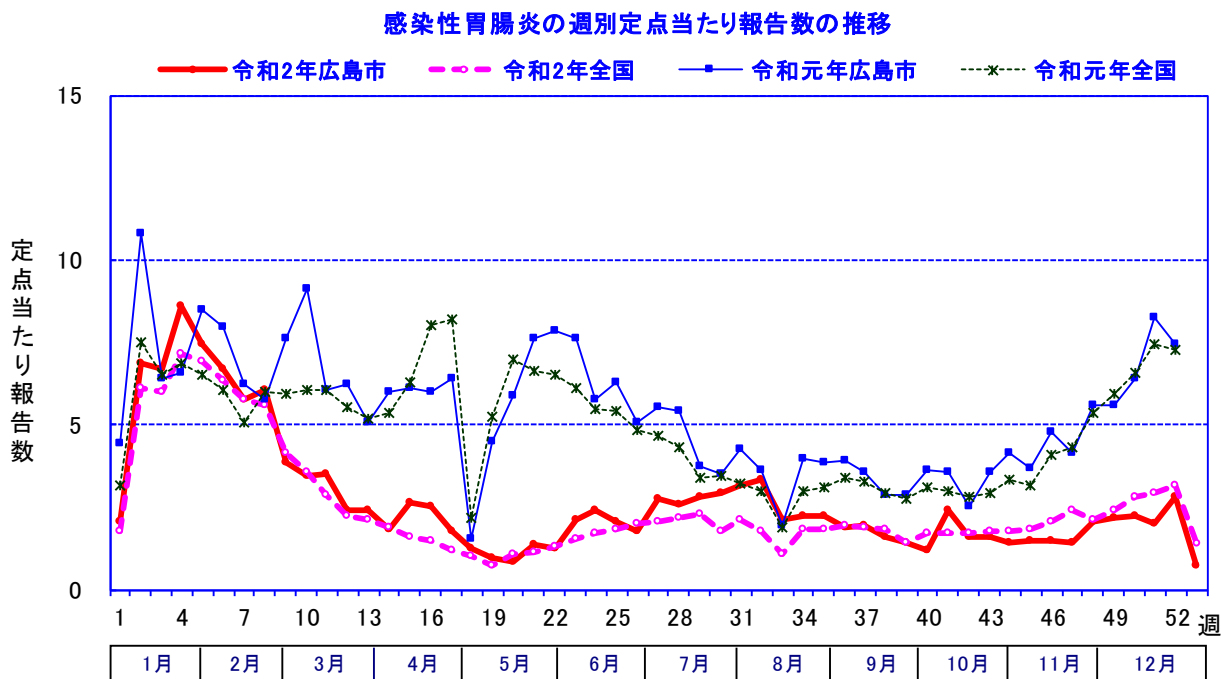


3 感染性胃腸炎

年間定点当たり累積報告数は144人で、前年と比べて減少した（前年比0.51）。年間累積報告数は小児科定点報告数の53.8%を占め、小児科定点報告対象疾患の中で最も多かった。

定点当たり報告数は、第4週に8.58人とピークを迎え、3月以降は徐々に減少しその後低い水準で推移した。

年齢階層別報告数は1歳が最も多く、4歳以下が50.9%を占めていた。

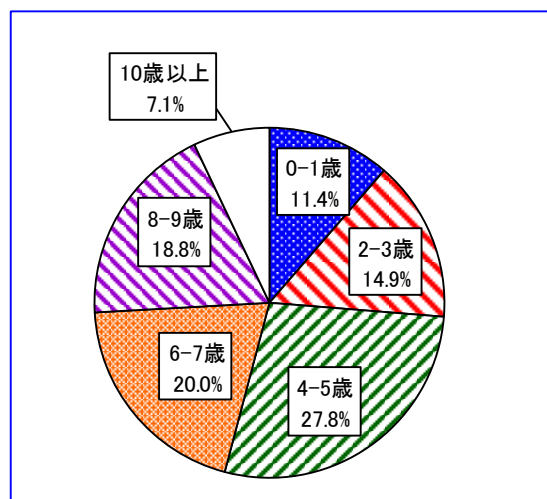
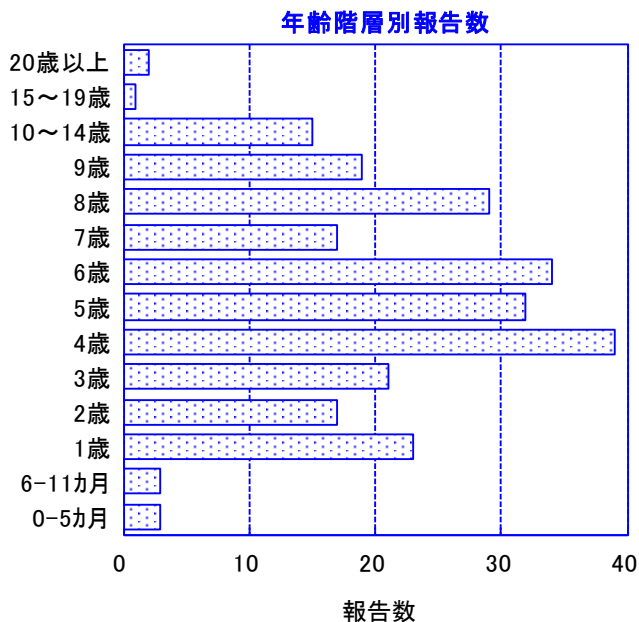
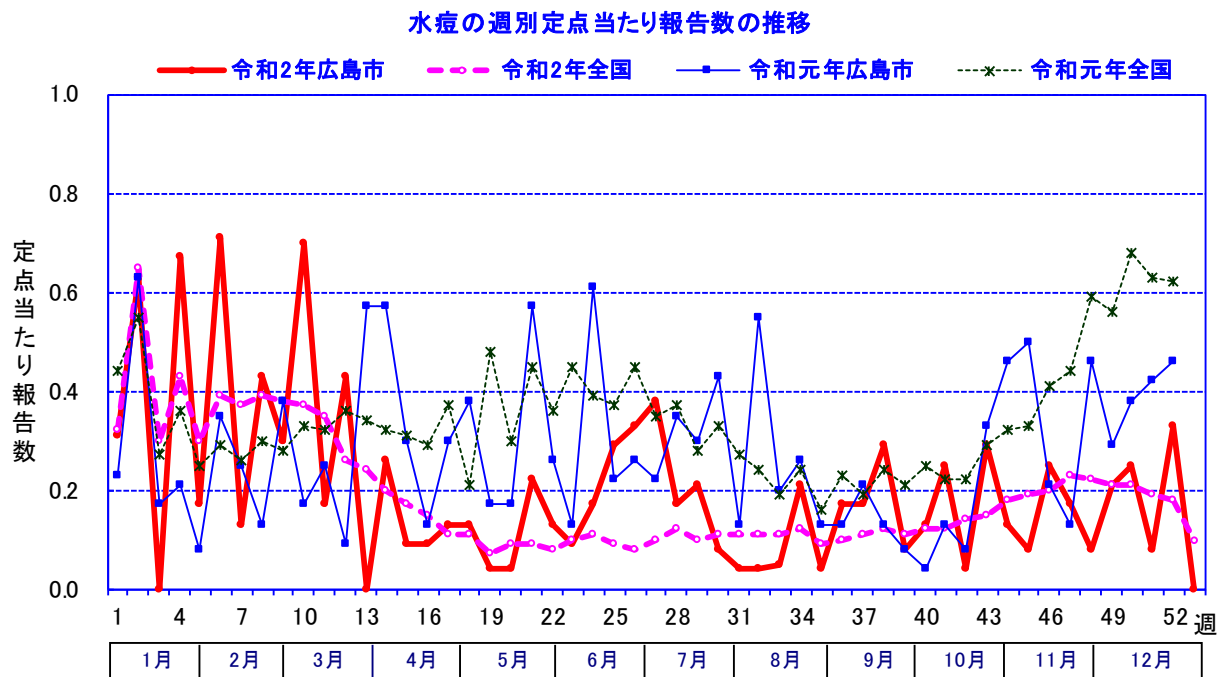


4 水痘

年間定点当たり累積報告数は10.9人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.74)。年間累積報告数は、小児科定点報告数の4.1%であった。

定点当たり報告数は4月以降減少し、6～7月に一時的に増加したが例年より低い水準で推移した。

年齢階層別報告数は4歳が最も多く、1～9歳まで幅広く分布していた。

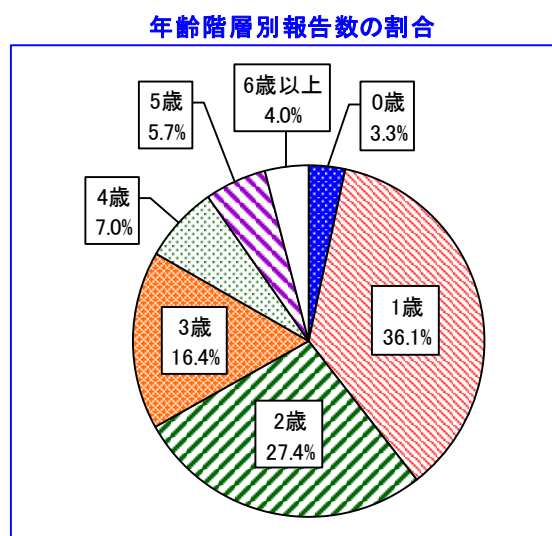
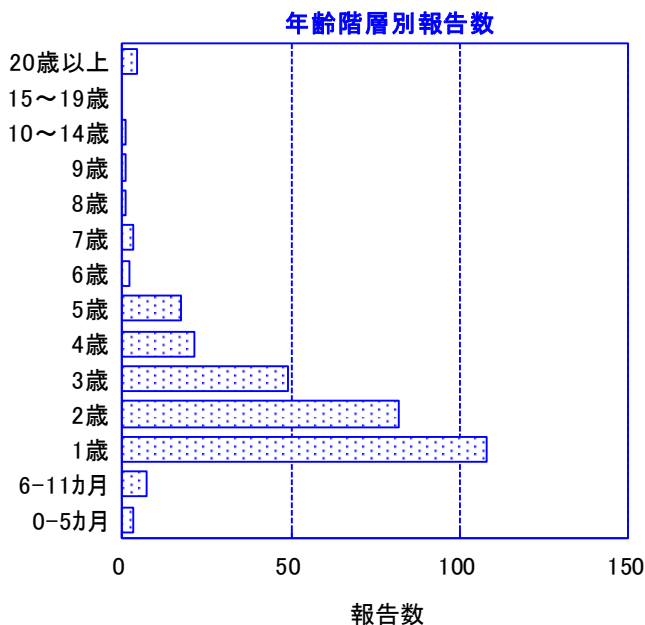
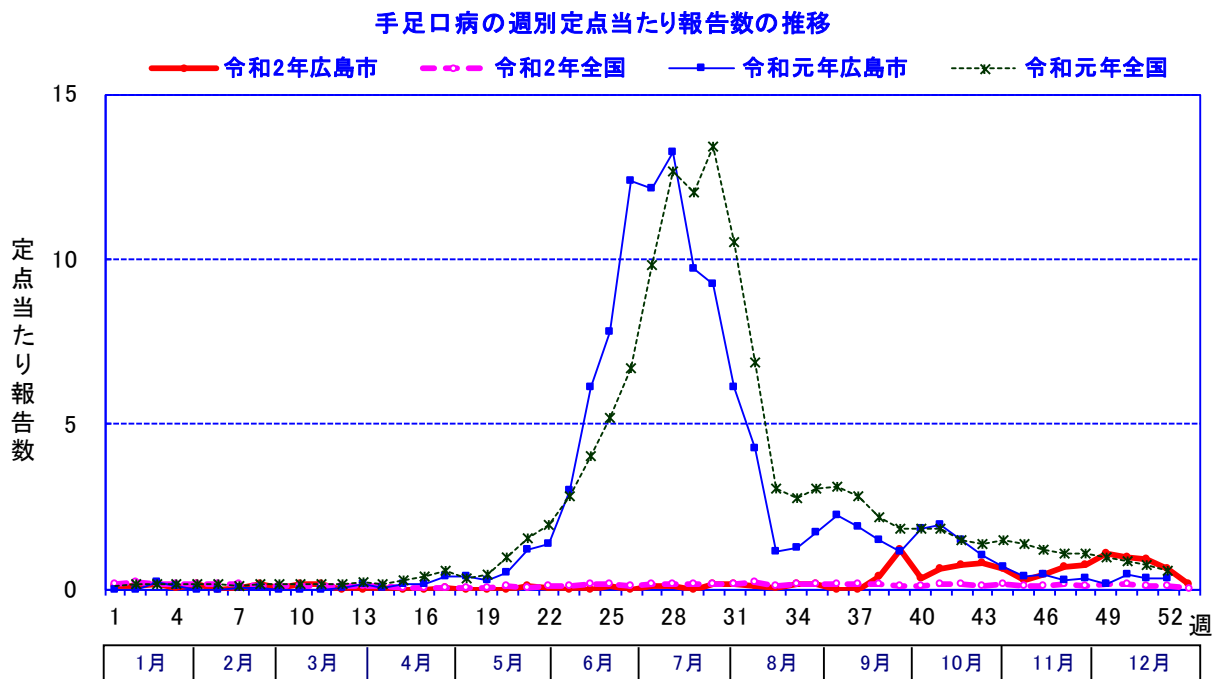


5 手足口病

年間定点当たり累積報告数は 12.5 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.11）。年間累積報告数は小児科定点報告数の 4.7%であった。

定点当たり報告数は、年間を通して非常に低い水準で推移した。

年齢別報告数は 1 歳が最も多く、1～3 歳が 79.9%を占めていた。

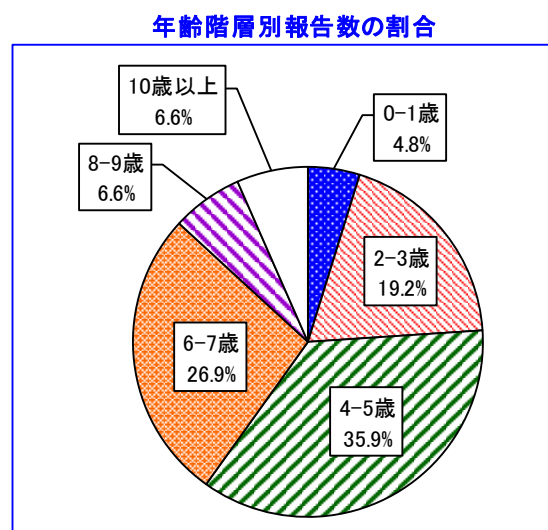
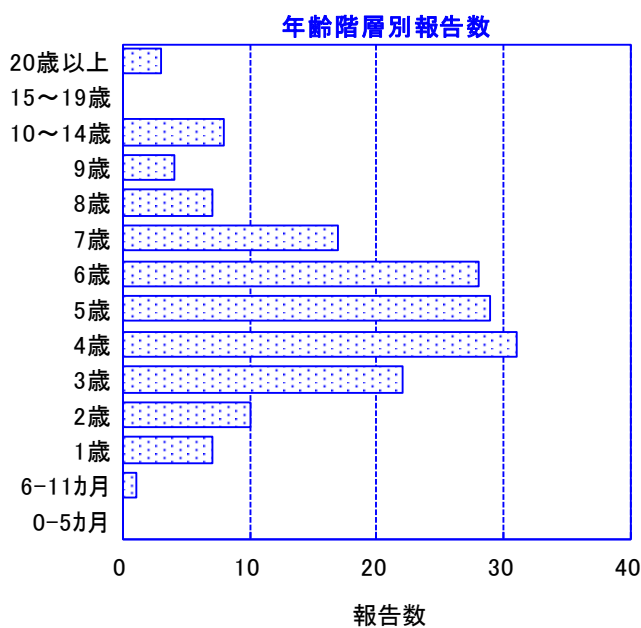
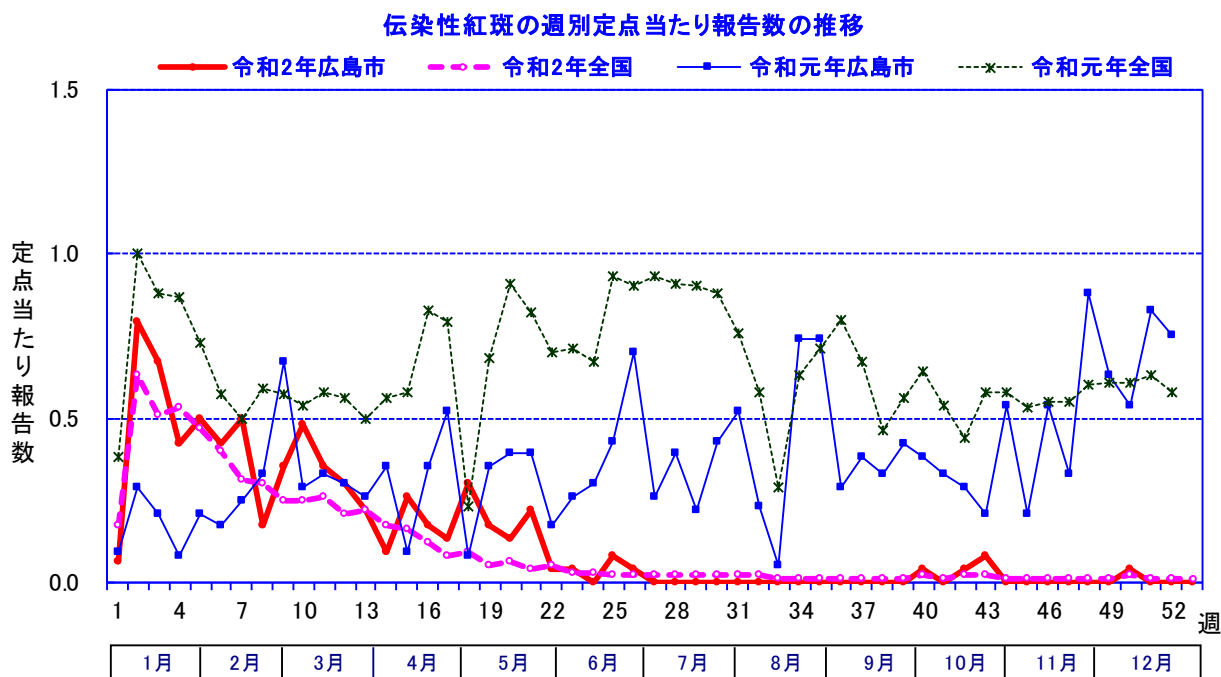


6 伝染性紅斑

年間定点当たり累積報告数は 7.10 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.36）。年間累積報告数は、小児科定点報告数の 2.7%であった。

定点当たり報告数は 3 月以降徐々に減少し、6 月以降は非常に低い水準で推移した。

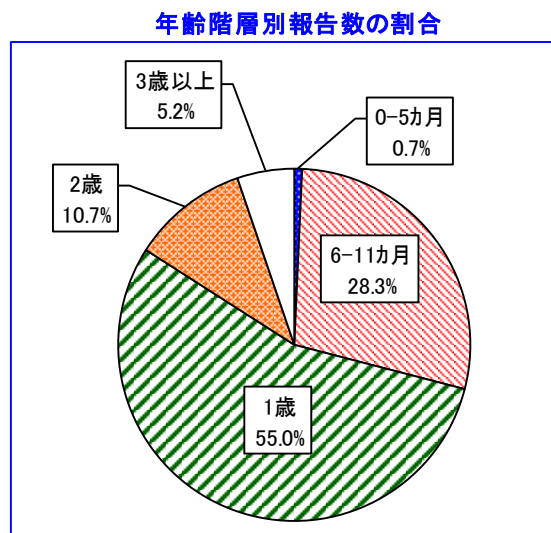
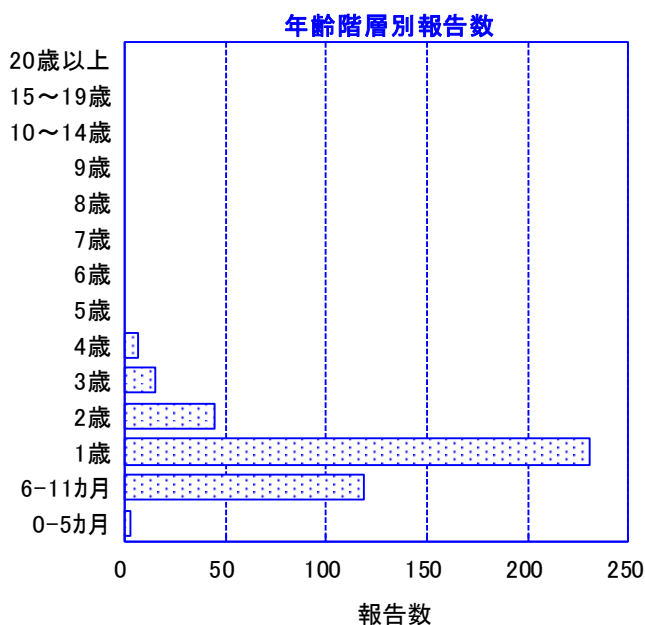
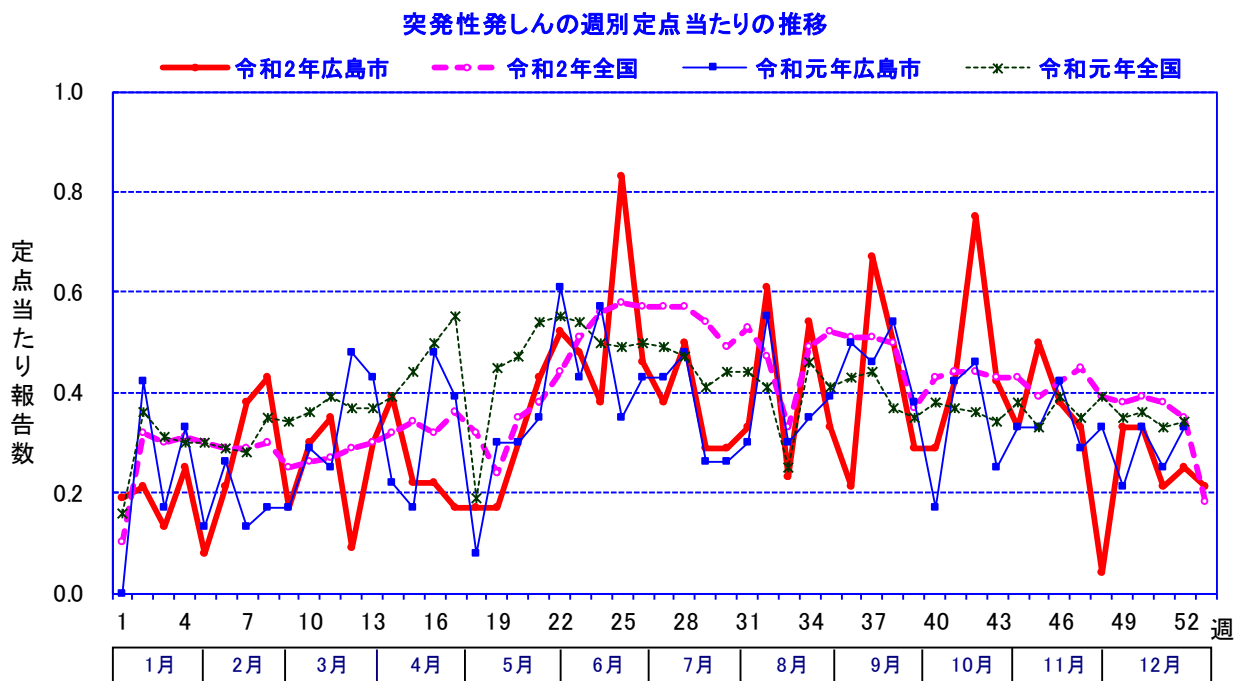
年齢階層別報告数は 4～5 歳が 35.9%と最も多く、次いで 6～7 歳が多かった。



7 突発性発しん

年間定点当たり累積報告数は17.8人で、前年とほぼ同程度であった(前年比1.03)。年間累積報告数は、小児科定点報告数の6.6%を占め、小児科定点報告対象疾患の中では3番目に多かった。

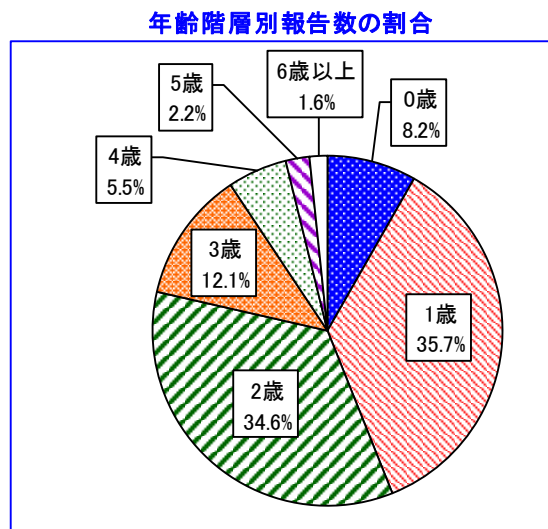
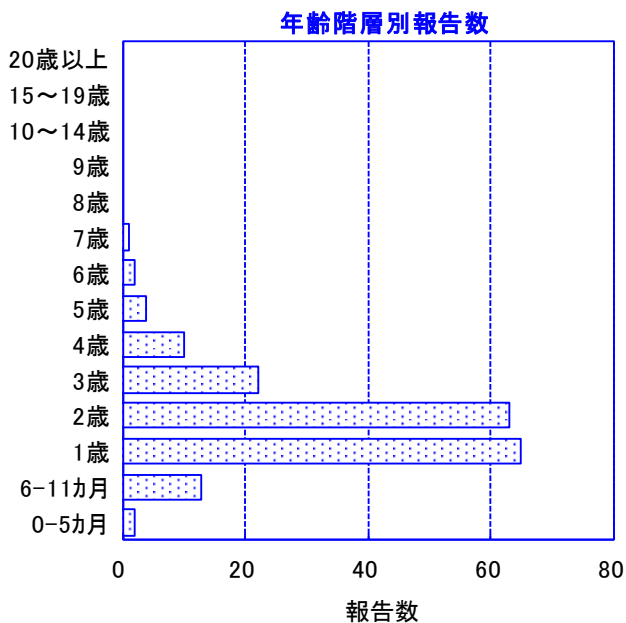
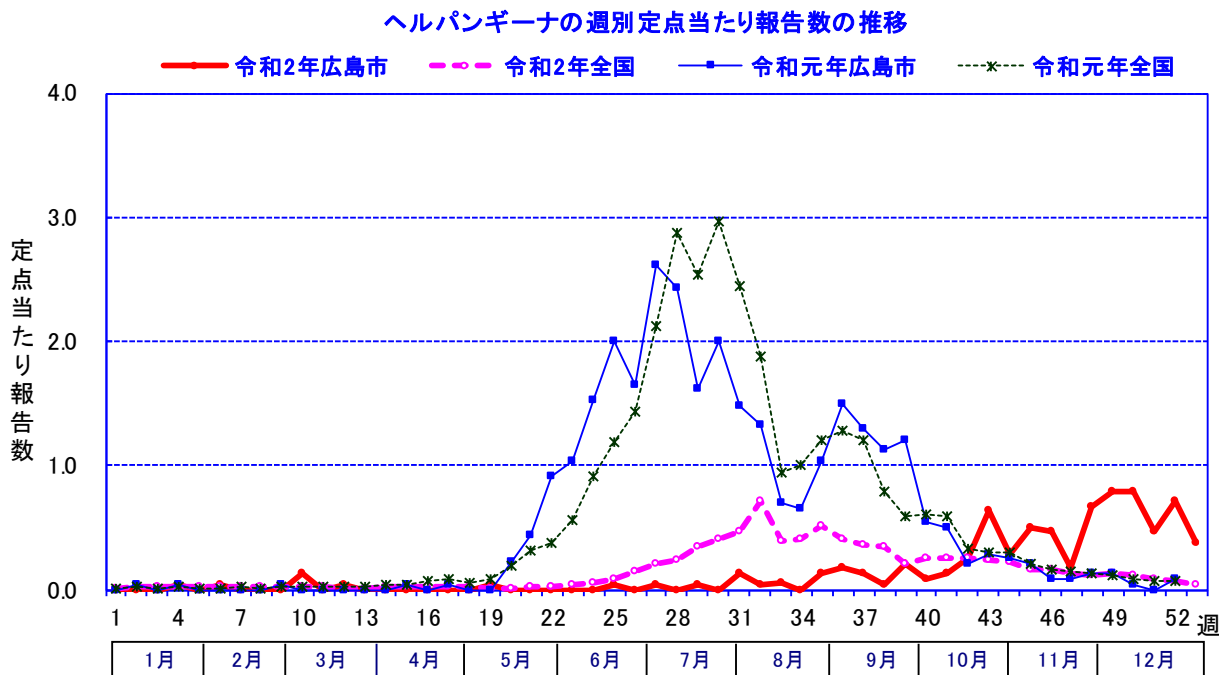
年齢階層別報告数は、1歳が最も多く、6ヵ月～1歳が83.3%を占めていた。



8 ヘルパンギーナ

年間定点当たり累積報告数は 7.62 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.25）。年間累積報告数は、小児科定点報告数の 2.8%であった。

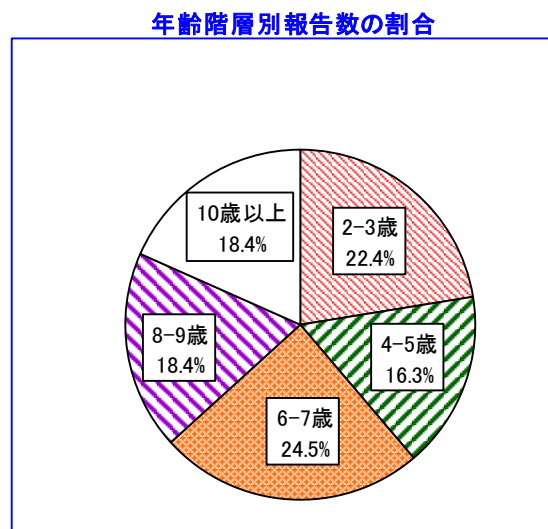
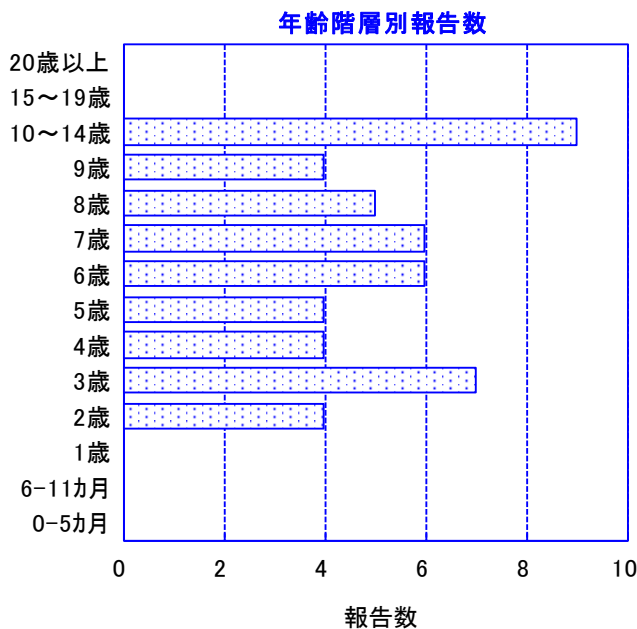
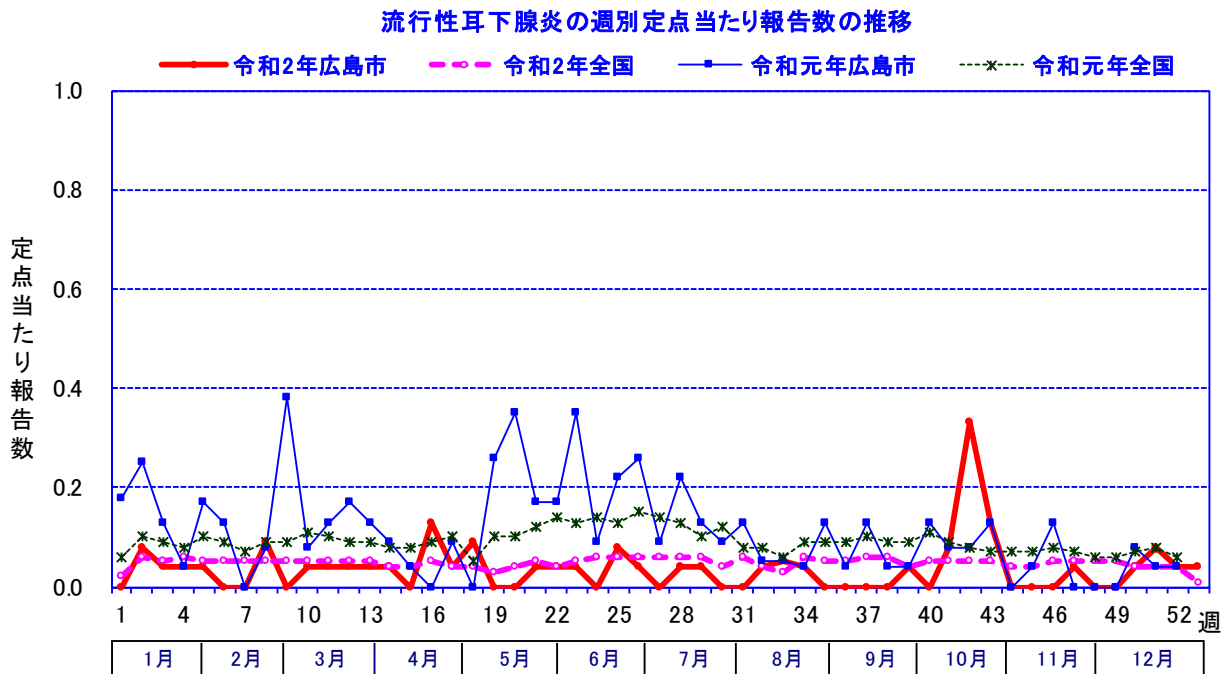
定点当たり報告数は、9月まで非常に低い水準で推移し、10月以降やや増加した。年齢階層別報告数は1～2歳が多く 70.3%を占めていた。



9 流行性耳下腺炎

年間定点当たり累積報告数は 2.02 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.34）。年間累積報告数は、小児科定点報告数の 0.8%であった。

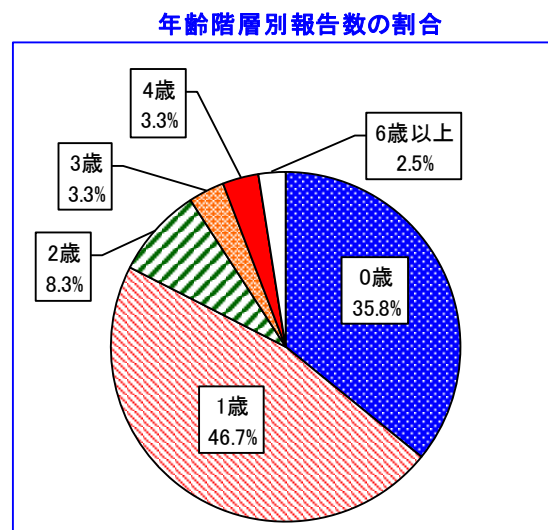
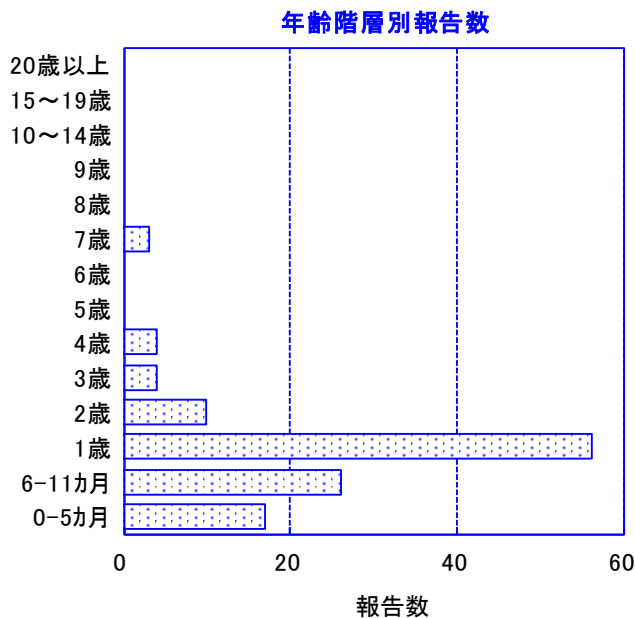
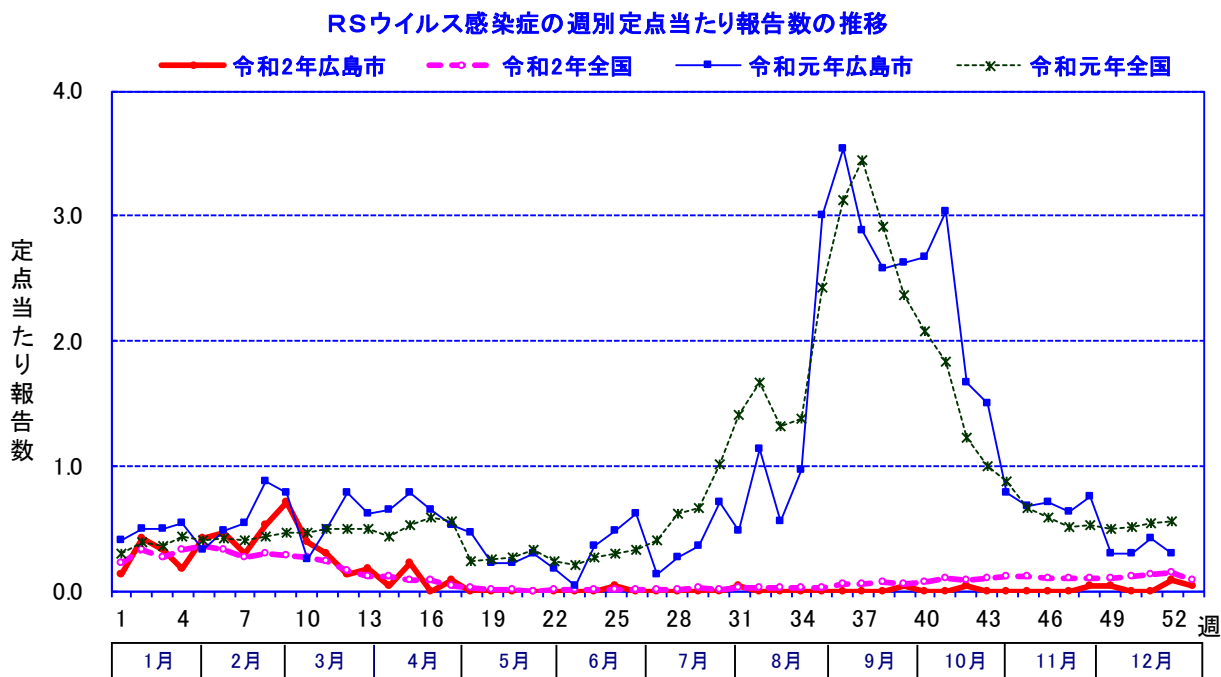
年齢階層別報告数は、2～14 歳まで幅広く分布していた。



10 RSウイルス感染症

年間定点当たり累積報告数は 5.14 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.11）。年間累積報告数は、小児科定点報告数の 1.9%であった。

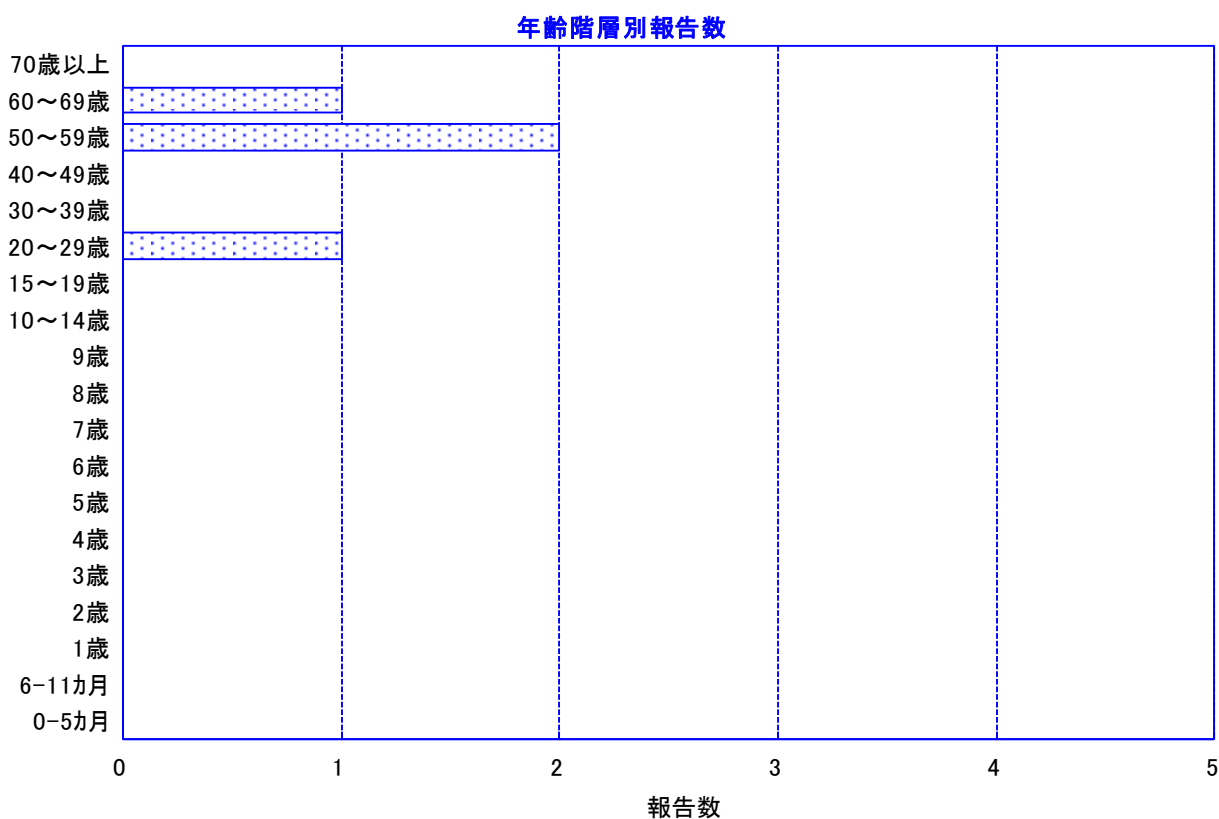
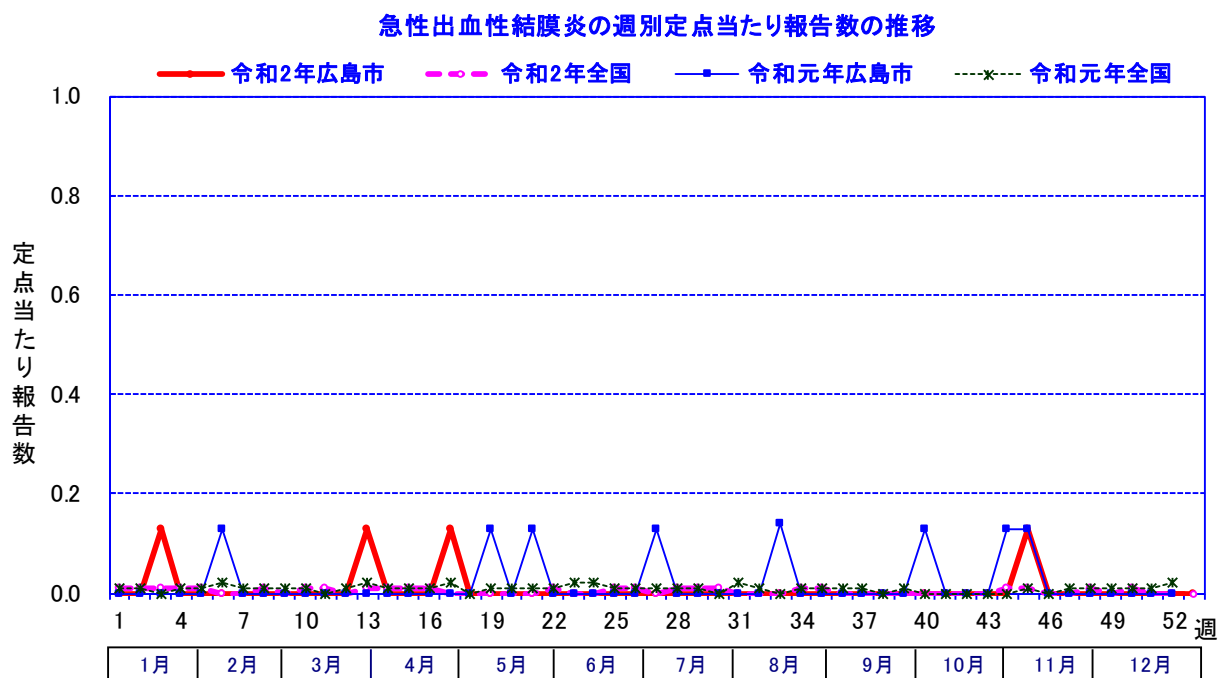
定点当たり報告数は 4 月以降減少し、その後非常に低い水準で推移した。年齢階層別報告数は 1 歳が最も多く、1 歳以下が 82.5%を占めていた。



第3節 眼科定点

1 急性出血性結膜炎

年間定点当たり累積報告数は 0.52 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.49）。



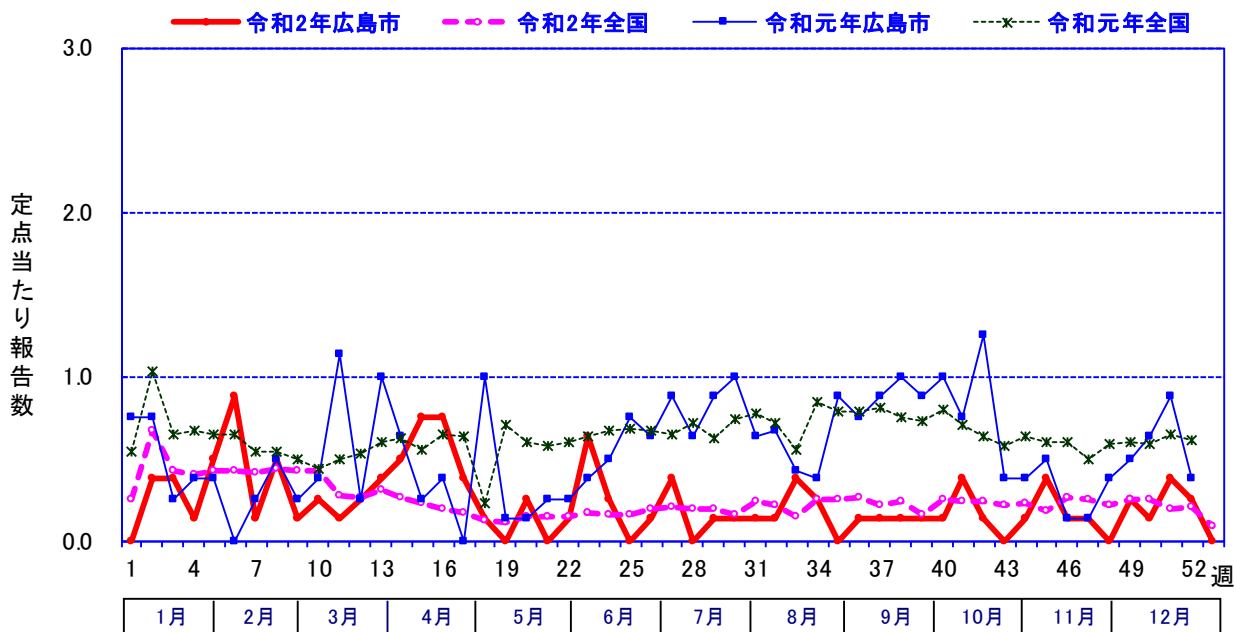
2 流行性角結膜炎

年間定点当たり累積報告数は 12.4 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.43）。

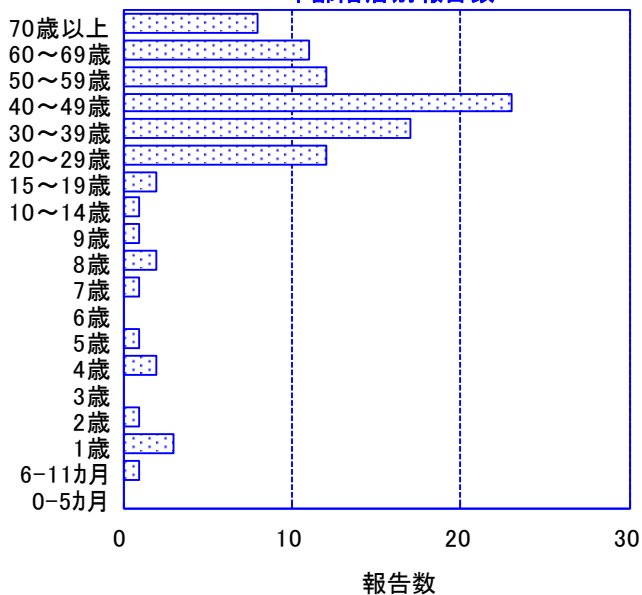
定点当たり報告数は 5 月以降減少し、その後例年より低い水準で推移した。

年齢階層別報告数は、30～40 代が 40.8% を占め、10 代は 3.1% と少なかった。

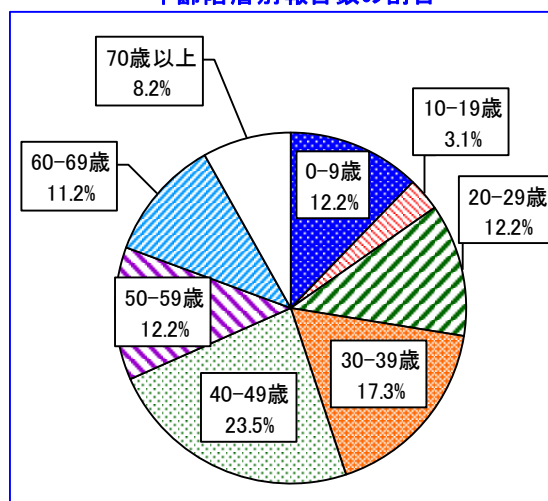
流行性角結膜炎の週別定点当たり報告数の推移



年齢階層別報告数



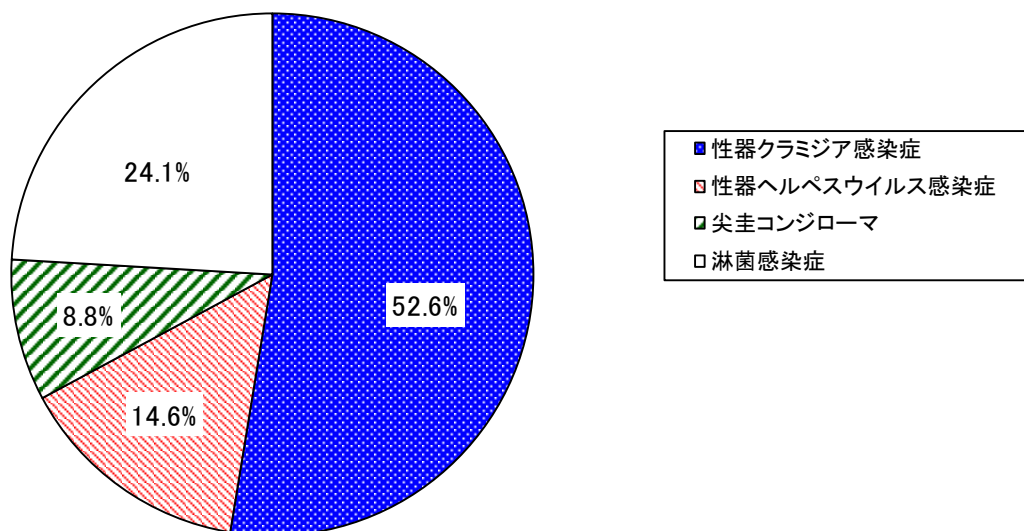
年齢階層別報告数の割合



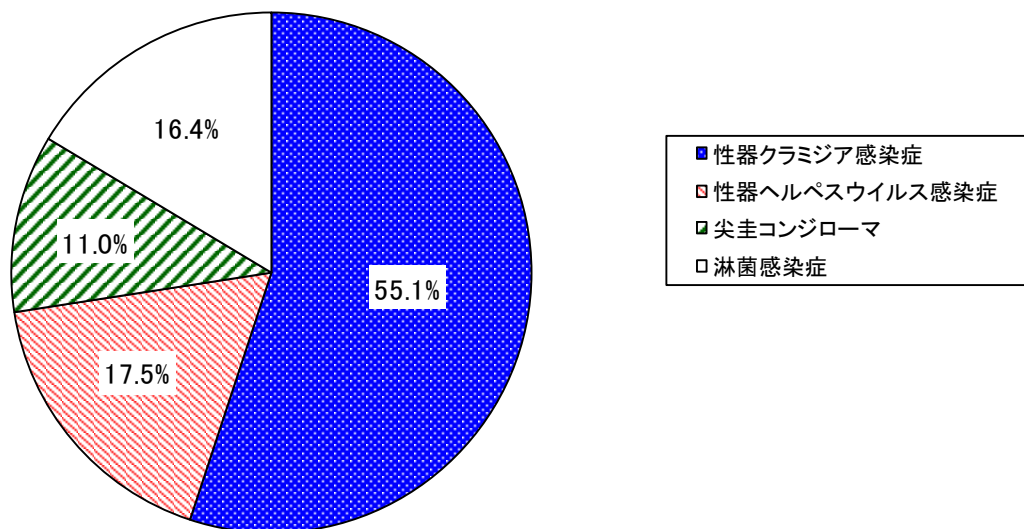
第4節 性感染症定点

性感染症対象4疾患の発生割合は次のグラフのとおりである。性感染症4疾患の年間定点当たり累積報告総数は120人で、前年と比べてやや増加した(前年比1.10)。年間定点当たり累積報告数は、性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマの順に多かった。

広島市性感染症報告割合



全国性感染症報告割合



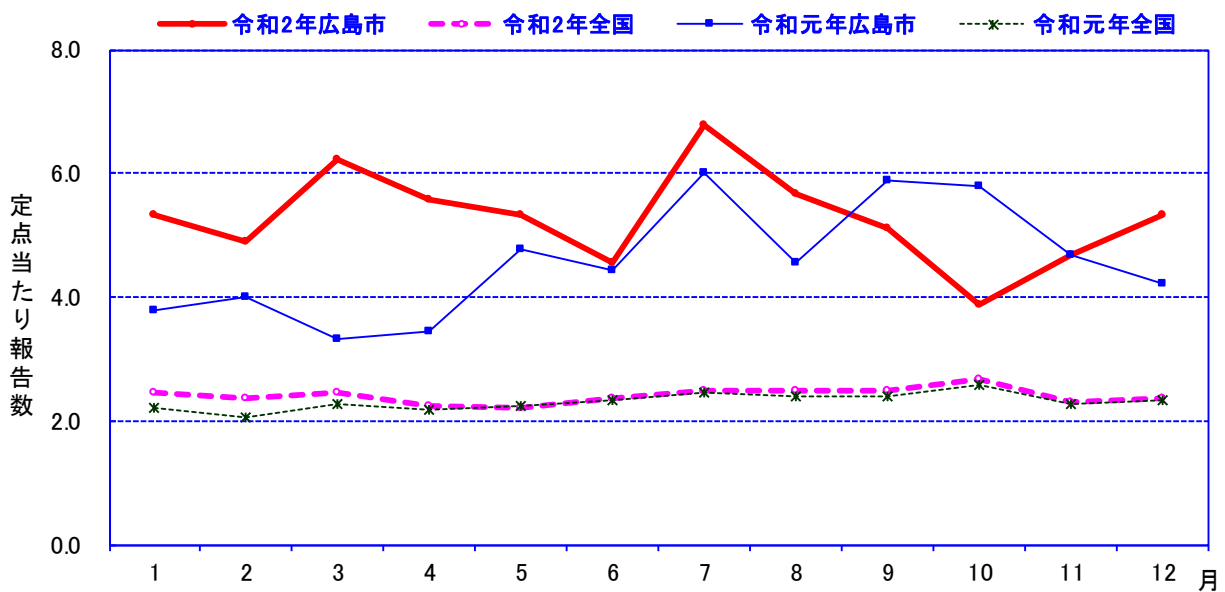
1 性器クラミジア感染症

年間定点当たり累積報告数は63.3人で、前年と比べてやや増加した(前年比1.15)。年間累積報告数は性感染症定点報告数の52.6%を占め、性感染症定点報告対象疾患の中で最も多かった。

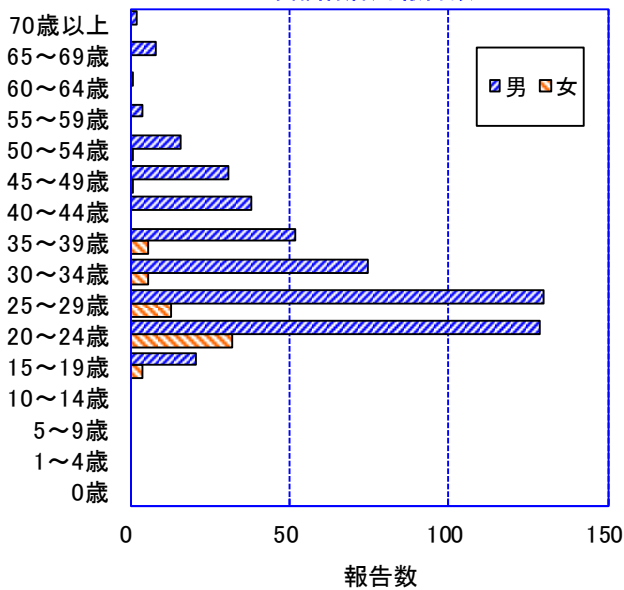
男性が多く、年間定点当たり累積報告数は男性56.3人(88.9%)、女性7.00人(11.1%)であった。

年齢階層別報告数は20代が最も多く、20~40代が90.0%を占めていた。

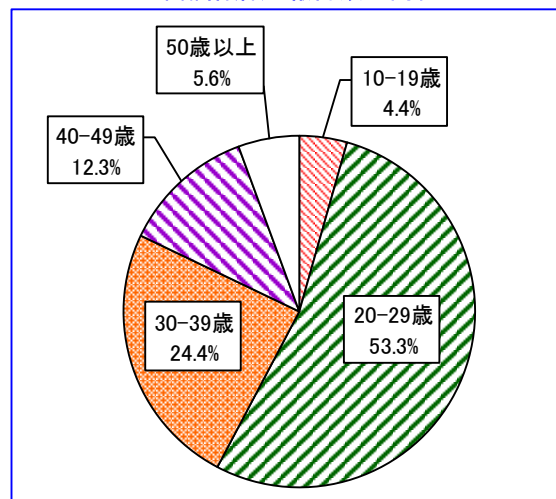
性器クラミジア感染症の月別定点当たり報告数の推移



年齢階層別報告数



年齢階層別報告数の割合

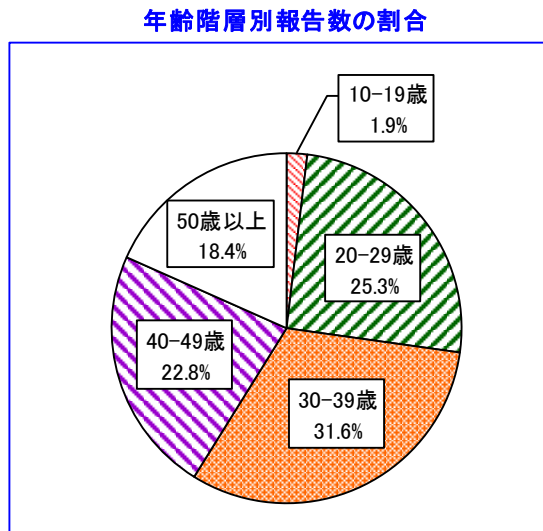
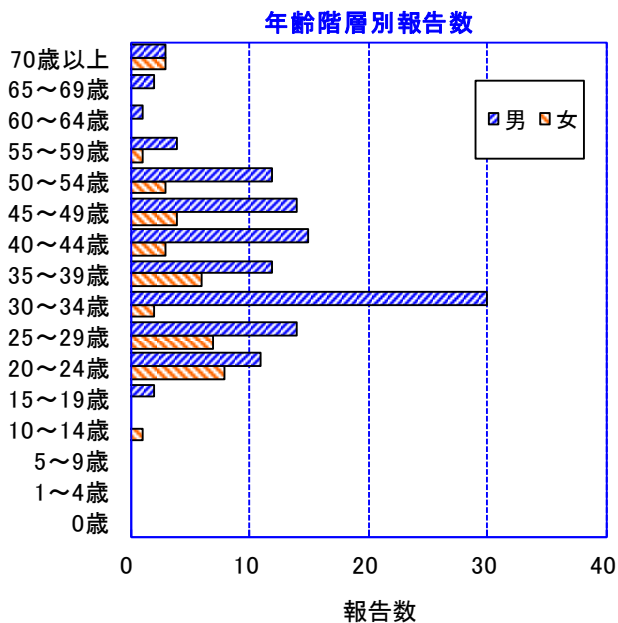
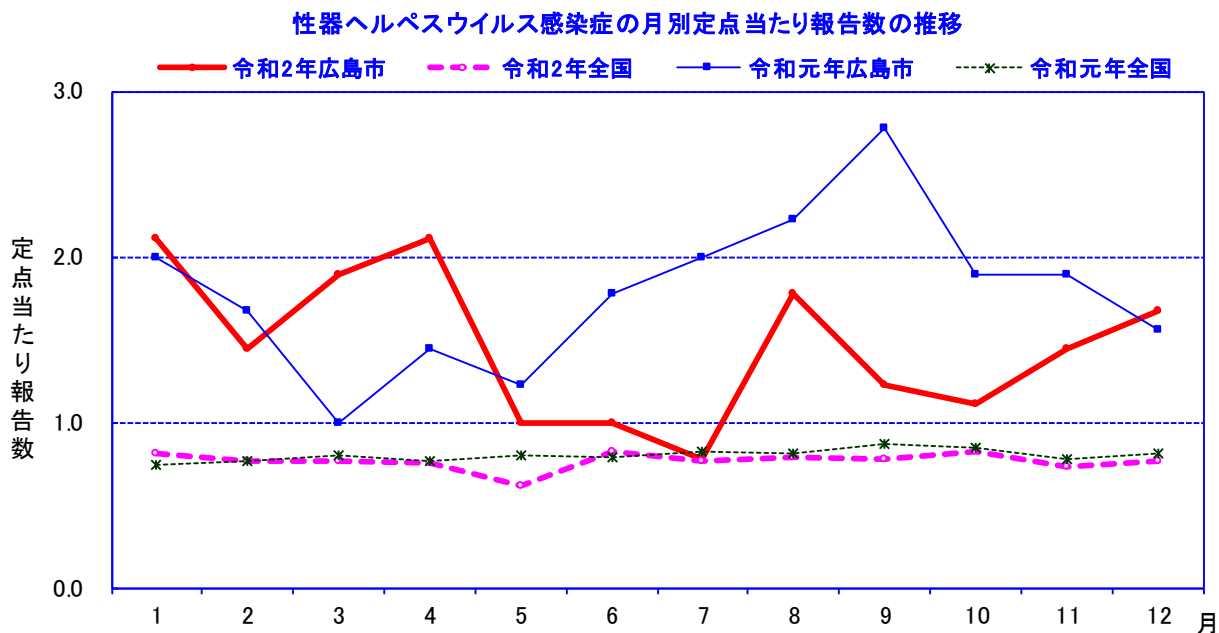


2 性器ヘルペスウイルス感染症

年間定点当たり累積報告数は17.6人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.81)。年間累積報告数は、性感染症定点報告数の14.6%を占めていた。

男性が多く、年間定点当たり累積報告数は男性13.3人(75.9%)、女性4.22人(24.1%)であった。

年齢階層別報告数は30代前半が多く、20~40代が79.7%を占めていた。

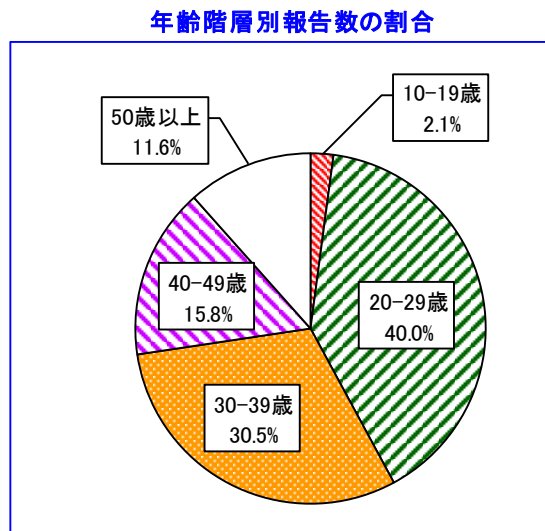
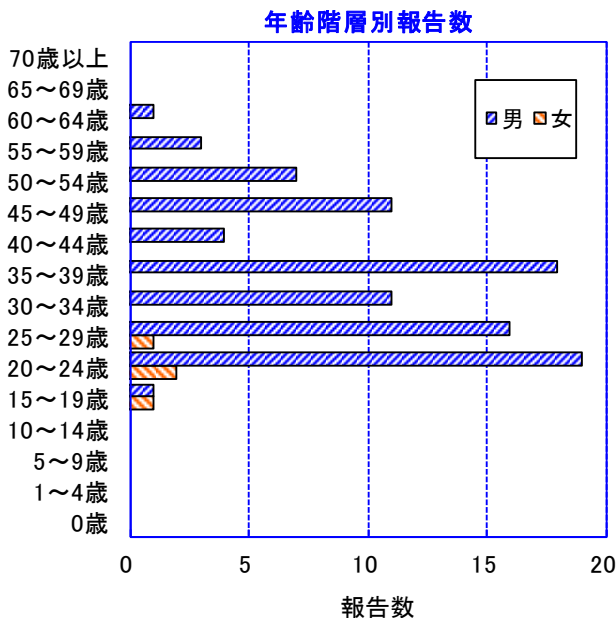
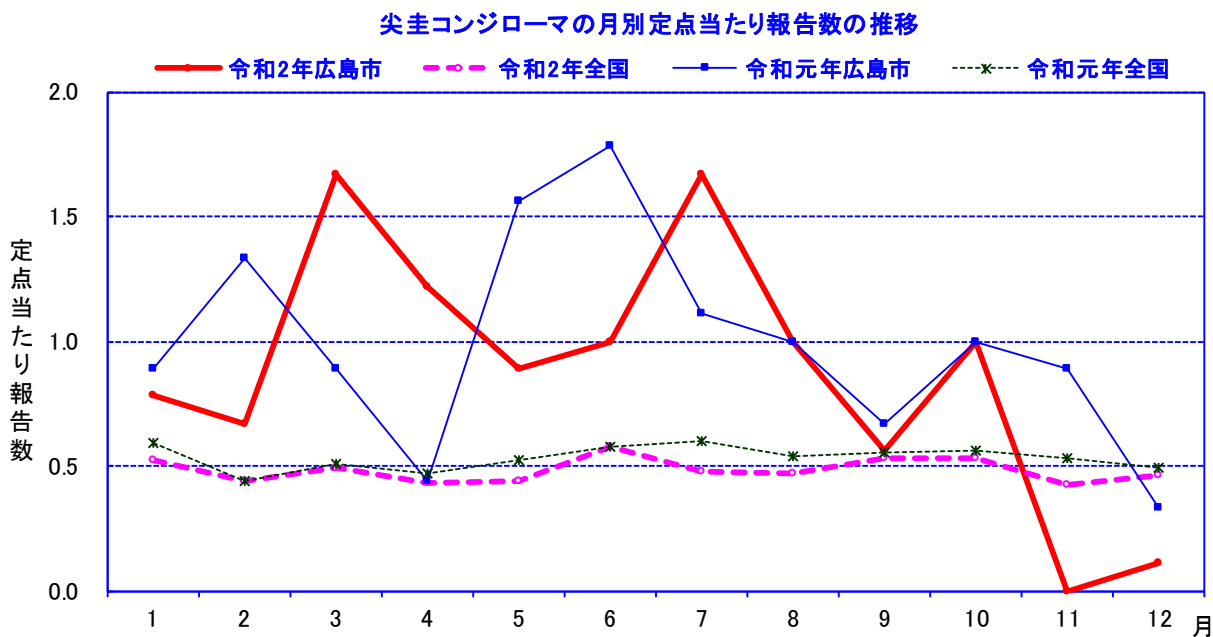


3 尖圭コンジローマ

年間定点当たり累積報告数は10.6人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.88)。年間累積報告数は、性感染症定点報告数の8.8%を占めていた。

男性が圧倒的に多く、年間定点当たり累積報告数は男性10.1人(95.8%)、女性0.44人(4.2%)であった。

年齢階層別報告数は20代が最も多く、20~40代が86.3%を占めていた。

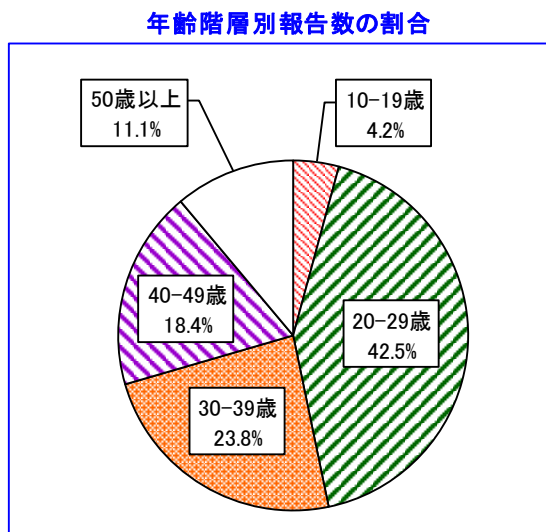
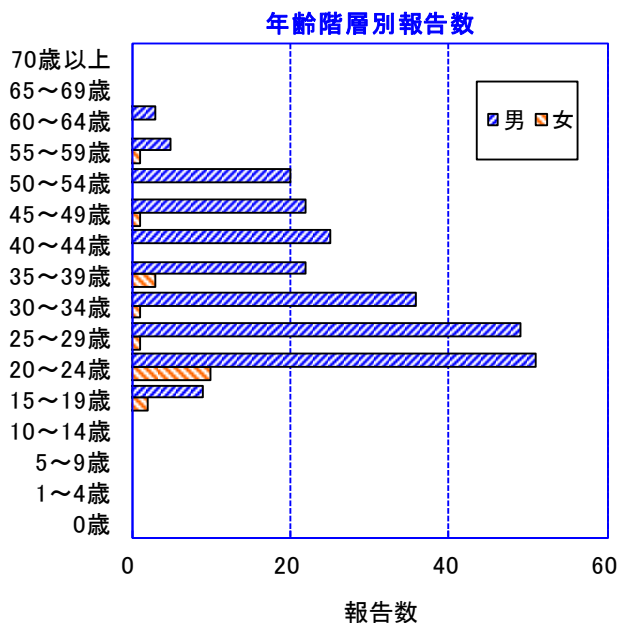
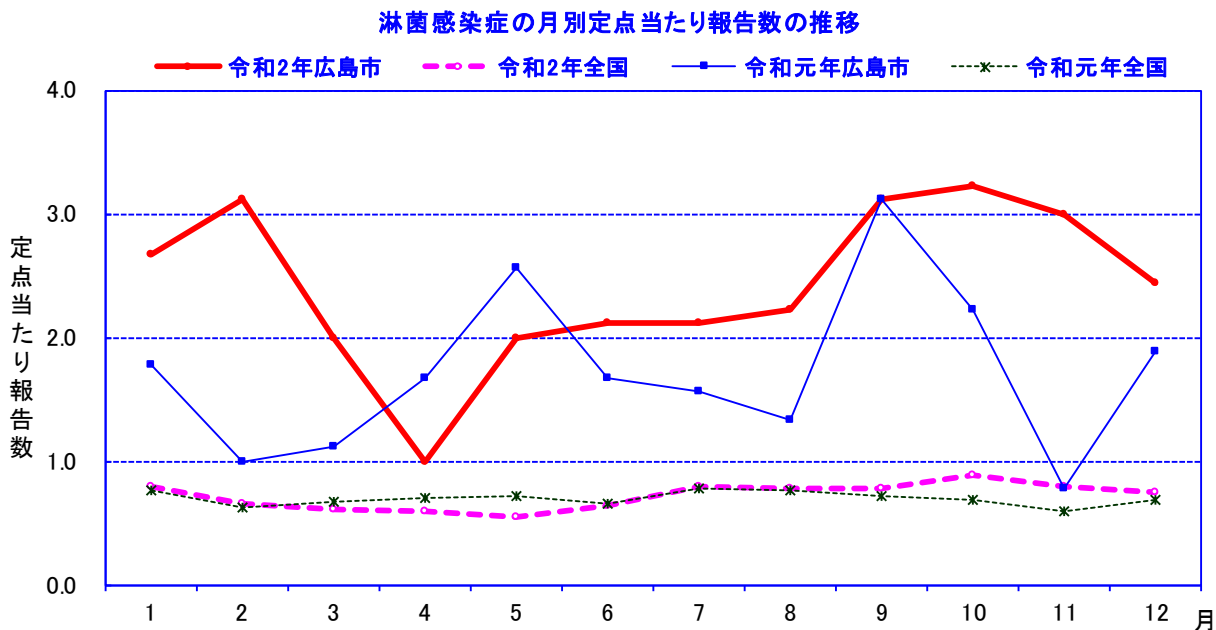


4 淋菌感染症

年間定点当たり累積報告数は29.0人で、前年と比べてやや増加した(前年比1.40)。年間累積報告数は性感染症定点報告数の24.1%と性感染症定点報告対象疾患の中では、性器クラミジア感染症に次いで多かった。

男性が圧倒的に多く、年間定点当たり累積報告数は男性26.9人(92.7%)、女性2.11人(7.3%)であった。

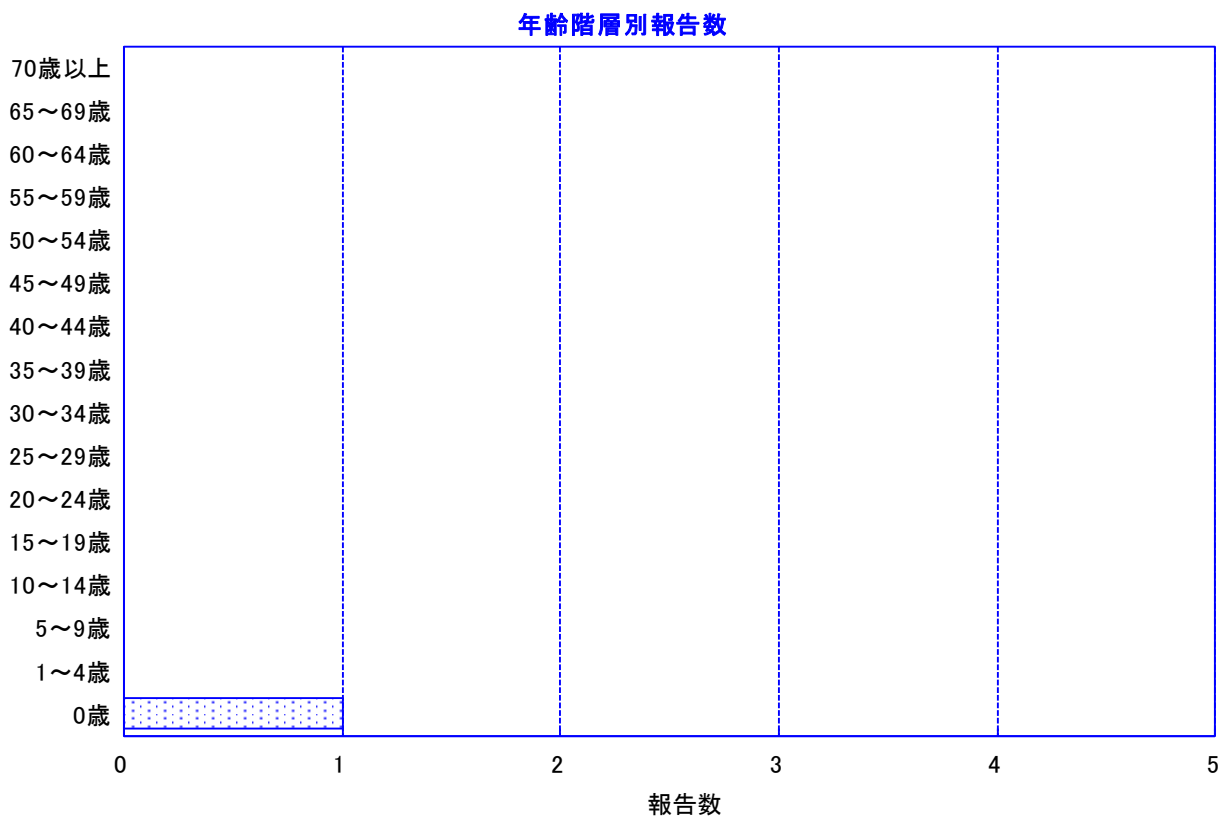
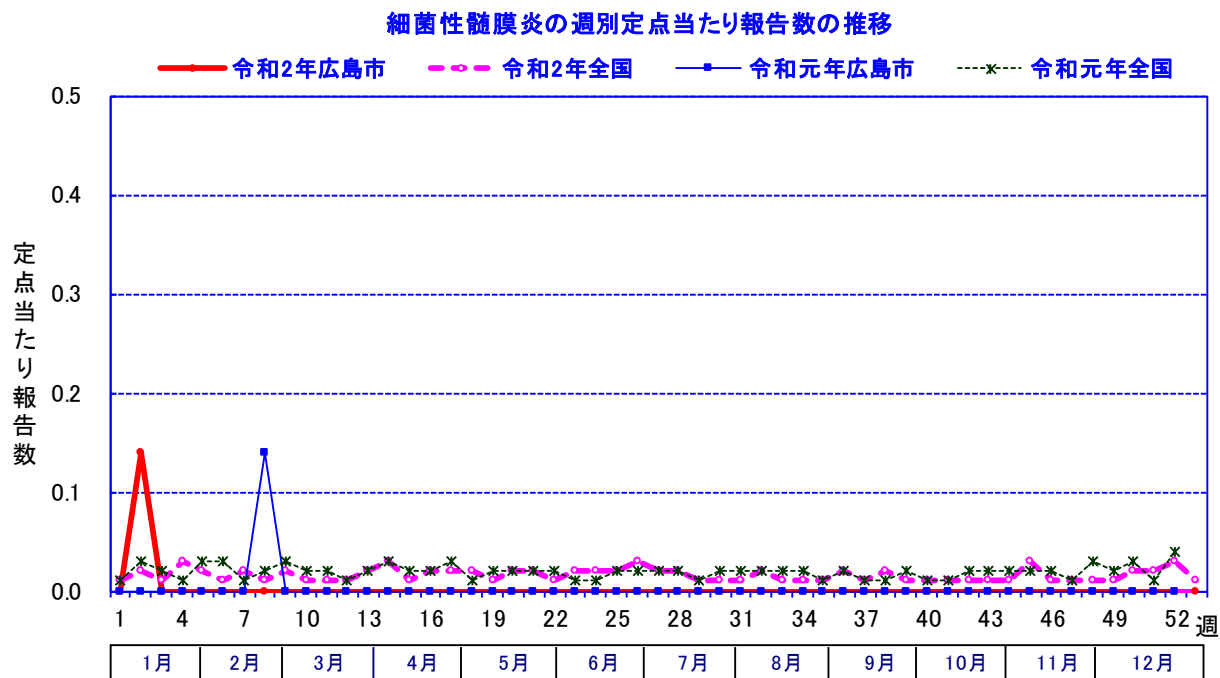
年齢階層別報告数は20代が最も多く、20~40代が84.7%を占めていた。



第5節 基幹定点

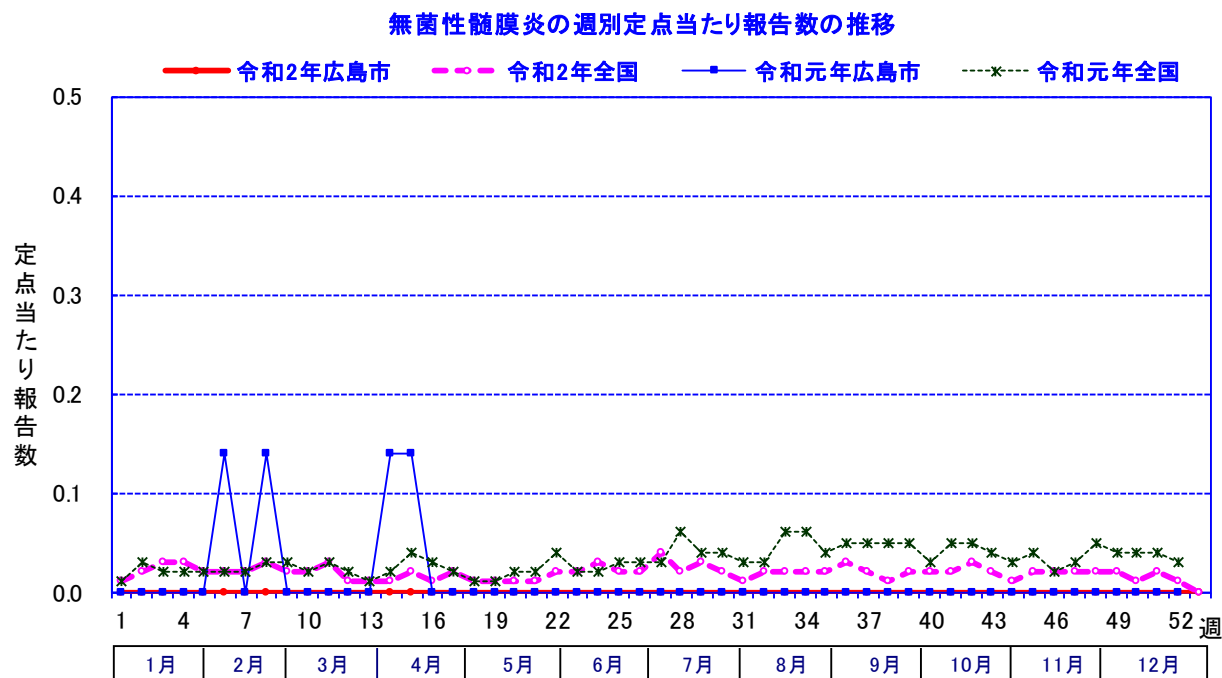
1 細菌性髄膜炎

年間報告数は1人であった。



2 無菌性髄膜炎

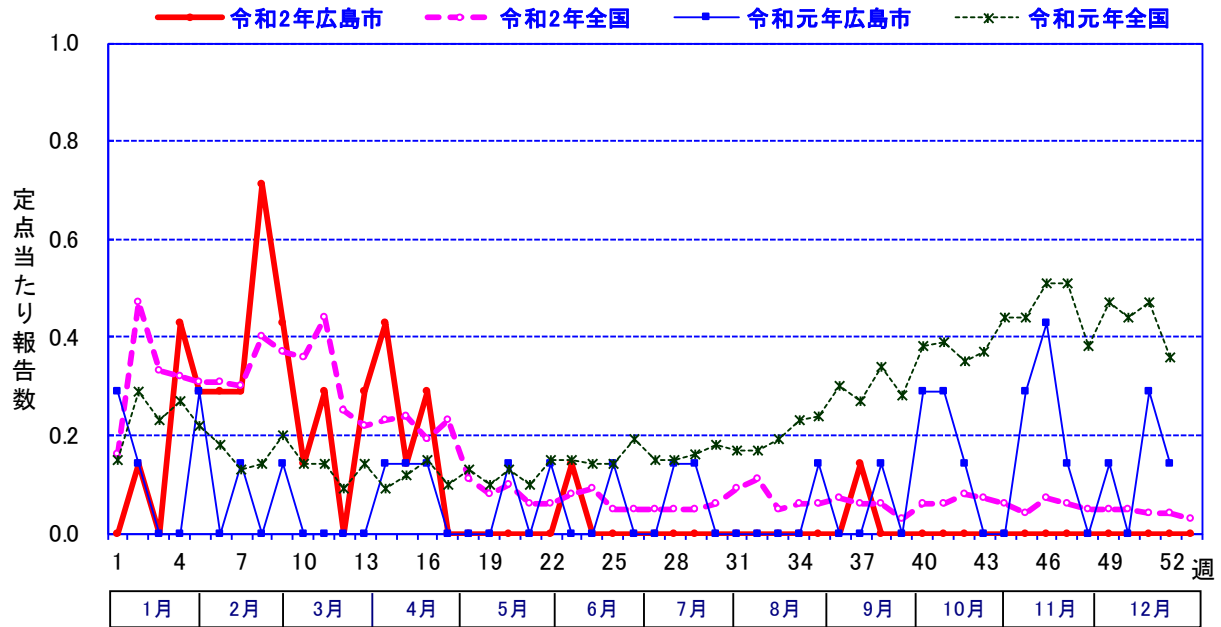
年間を通して報告はなかった。



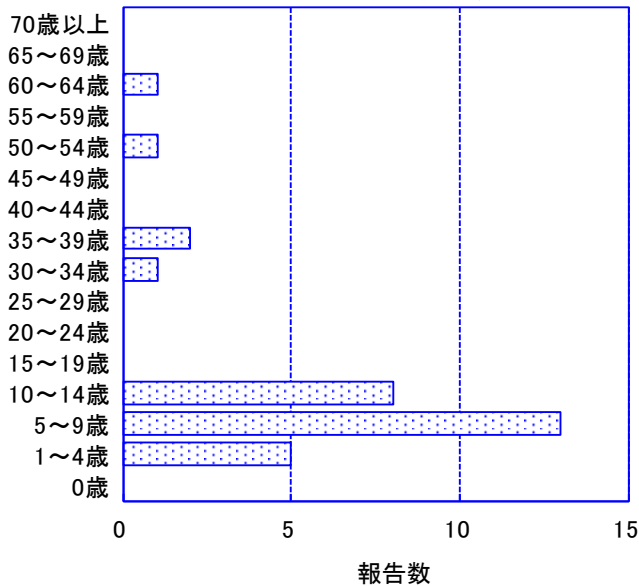
3 マイコプラズマ肺炎

年間定点当たり累積報告数は4.44人で、前年とほぼ同程度であった(前年比0.97)。年齢階層別報告数は、5～9歳が最も多く、1～14歳が83.8%を占めていた。

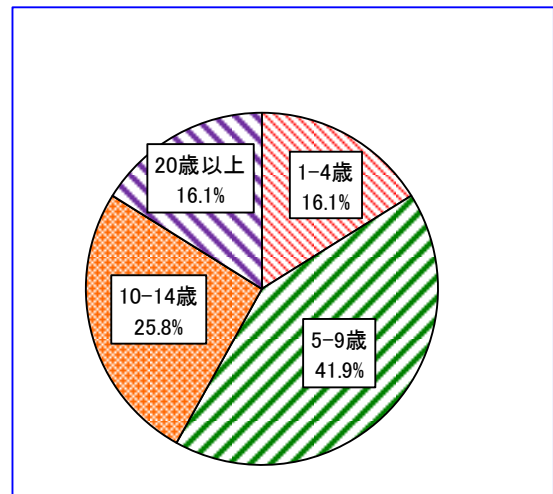
マイコプラズマ肺炎の週別定点当たり報告数の推移



年齢階層別報告数

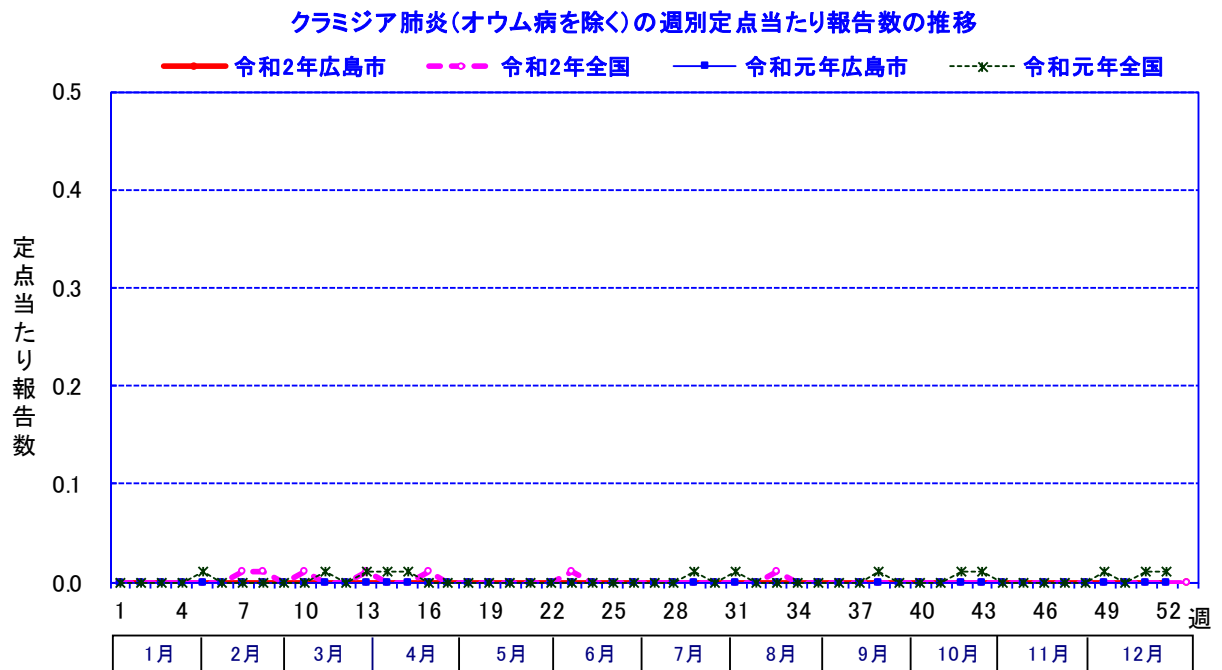


年齢階層別報告数の割合



4 クラミジア肺炎（オウム病を除く）

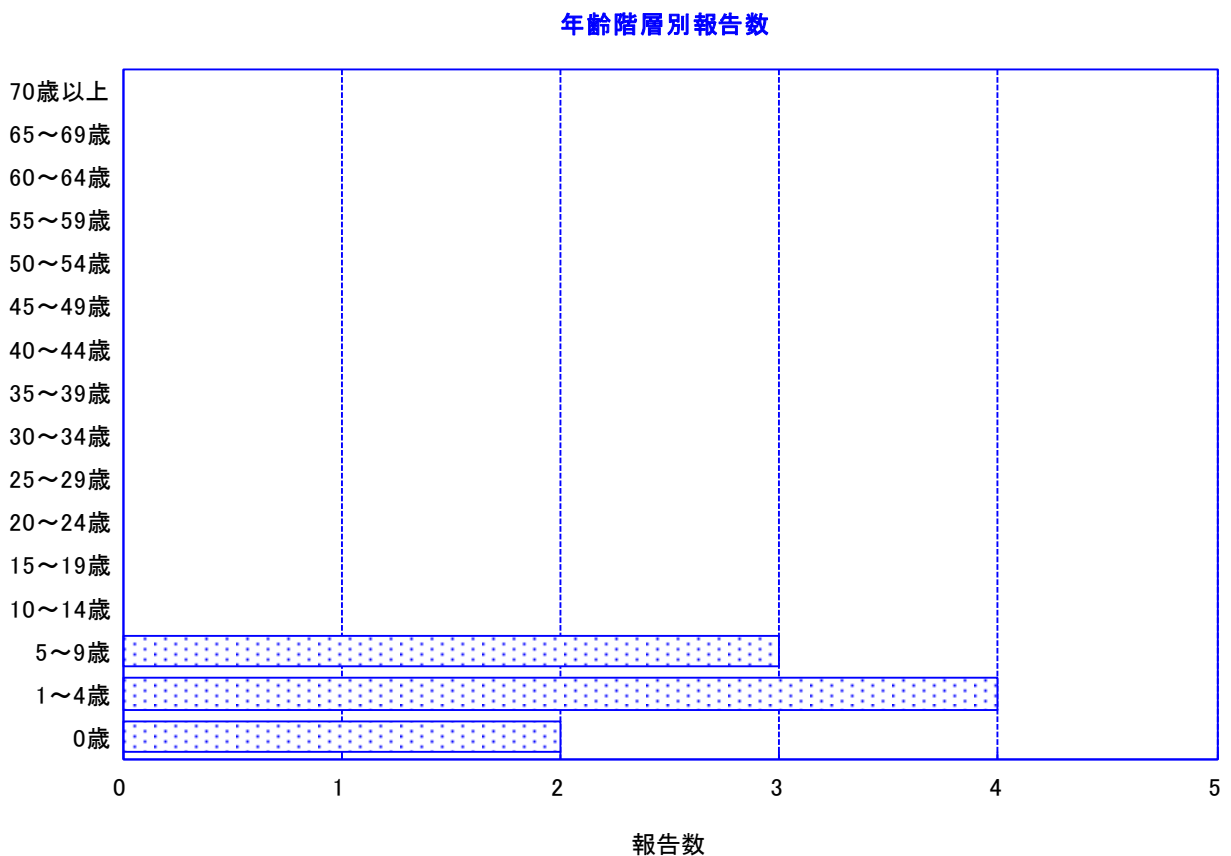
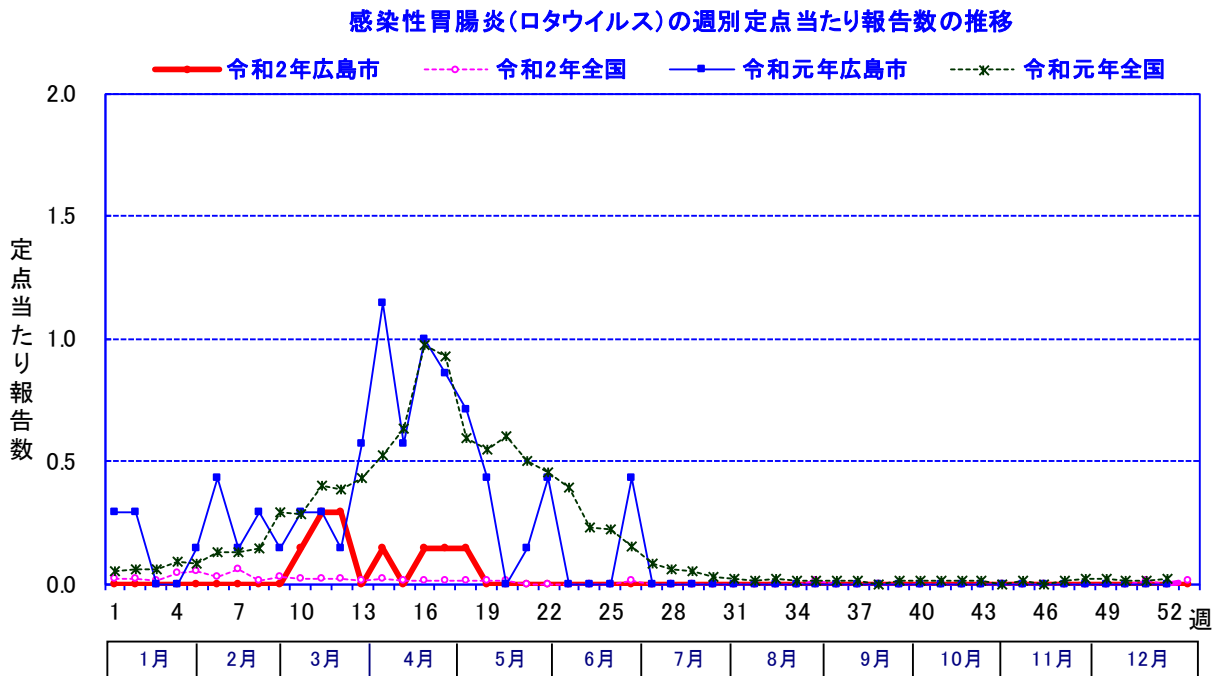
年間を通して報告はなかった。



5 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

年間定点当たりの累積報告数は 1.28 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.14）。

年齢階層別報告数は、報告された 9 人全員が 10 歳未満であった。

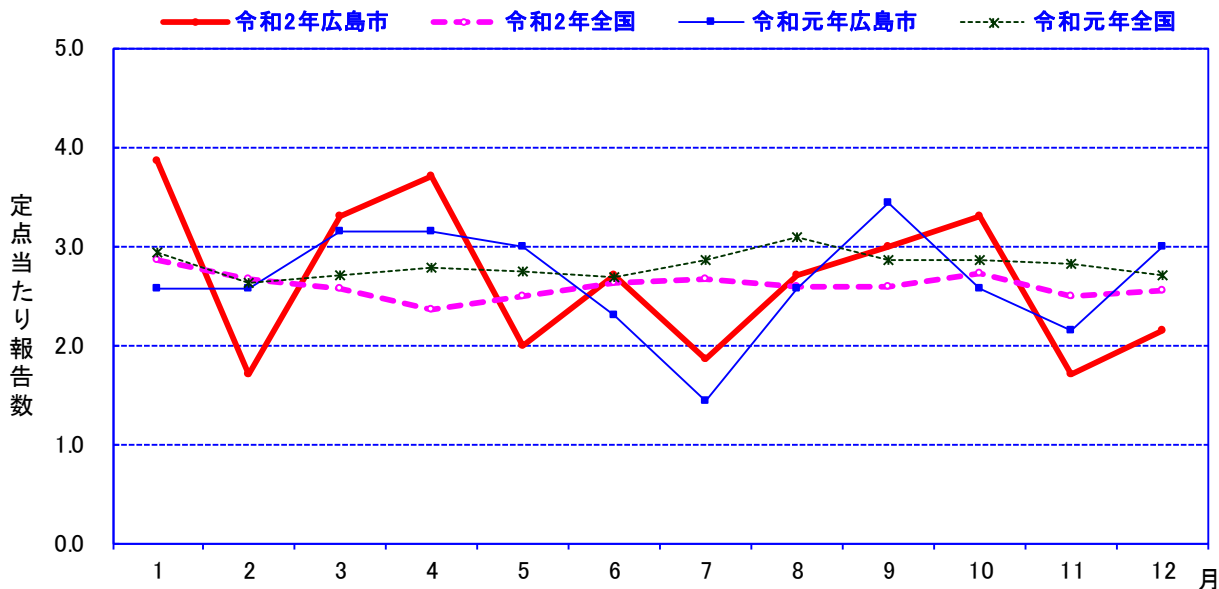


6 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

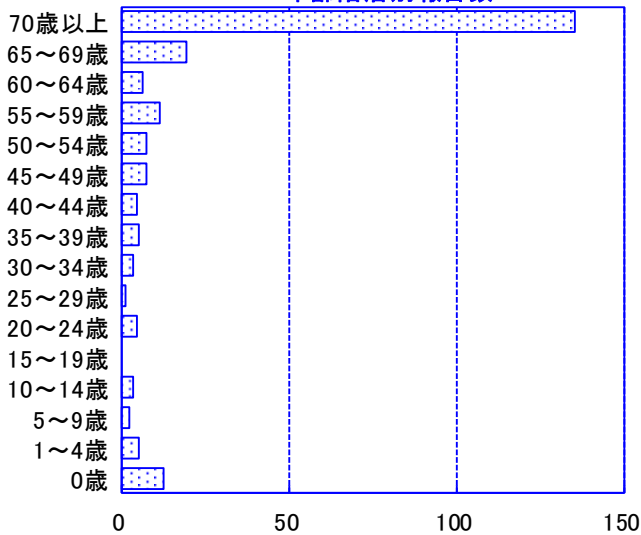
年間定点当たり累積報告数は32.0人で、前年とほぼ同程度であった(前年比1.00)。年間累積報告数は、薬剤耐性菌感染症3疾患の中で最も多かった。

年齢階層別報告数は70歳以上が60.3%を占め、高齢者に多い傾向であった。

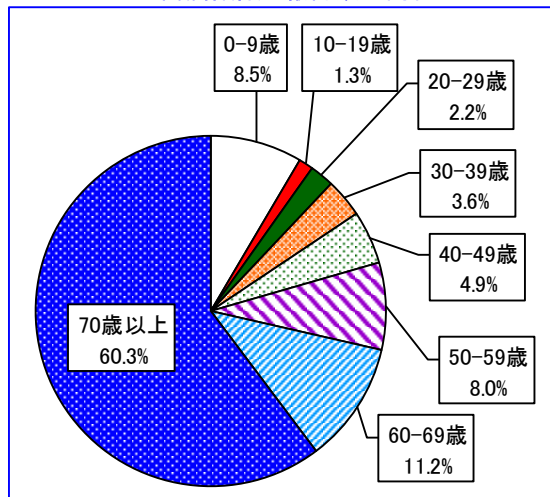
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別定点当たり報告数の推移



年齢階層別報告数

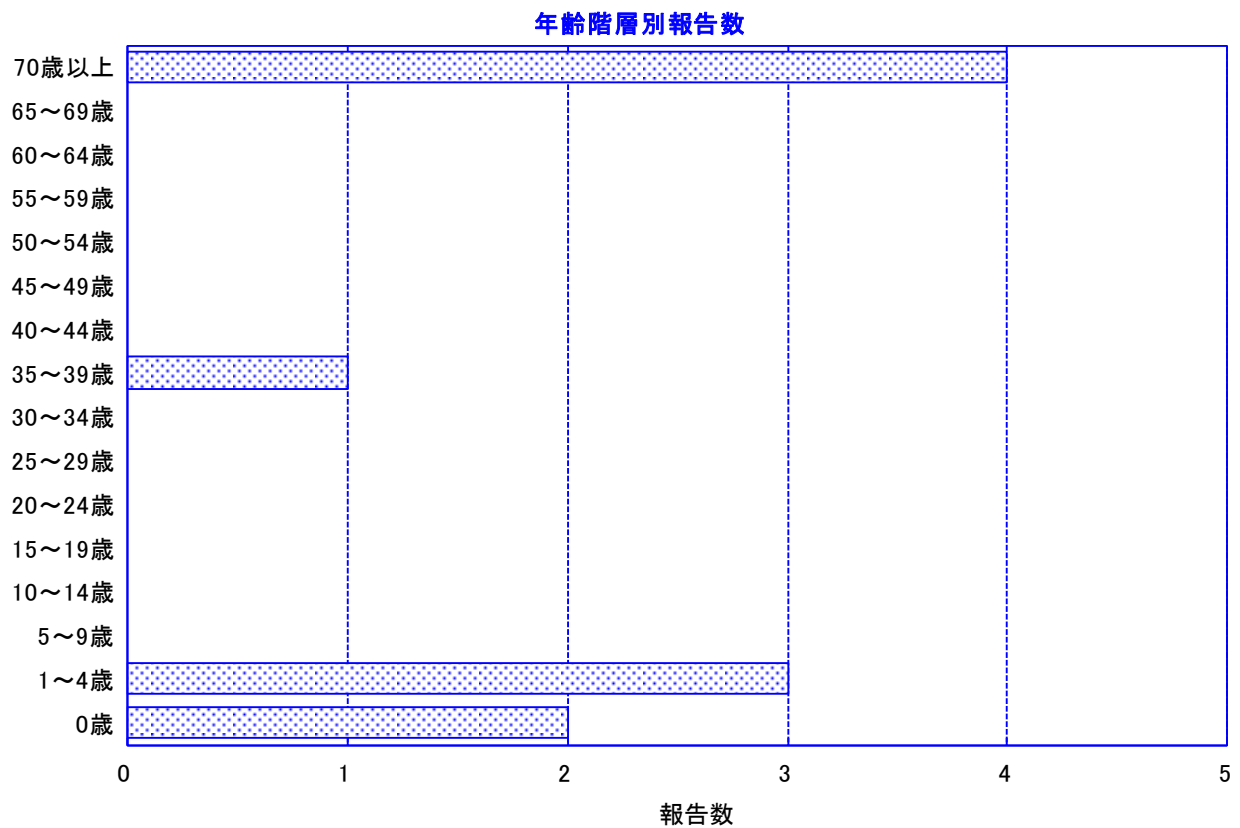
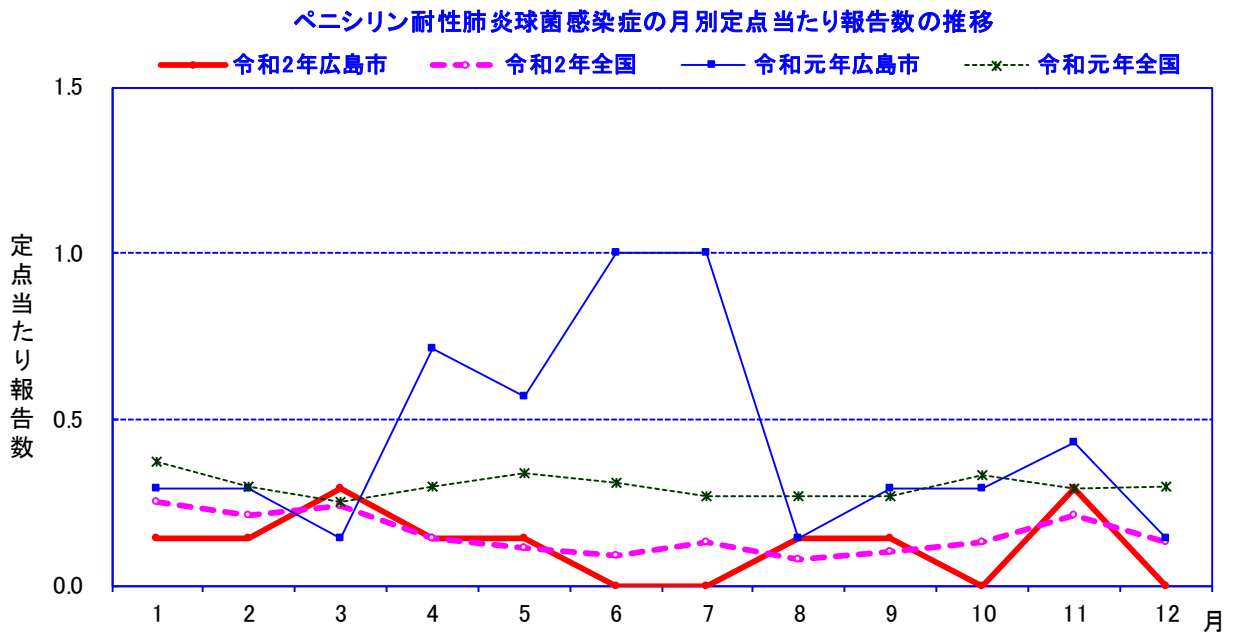


年齢階層別報告数の割合



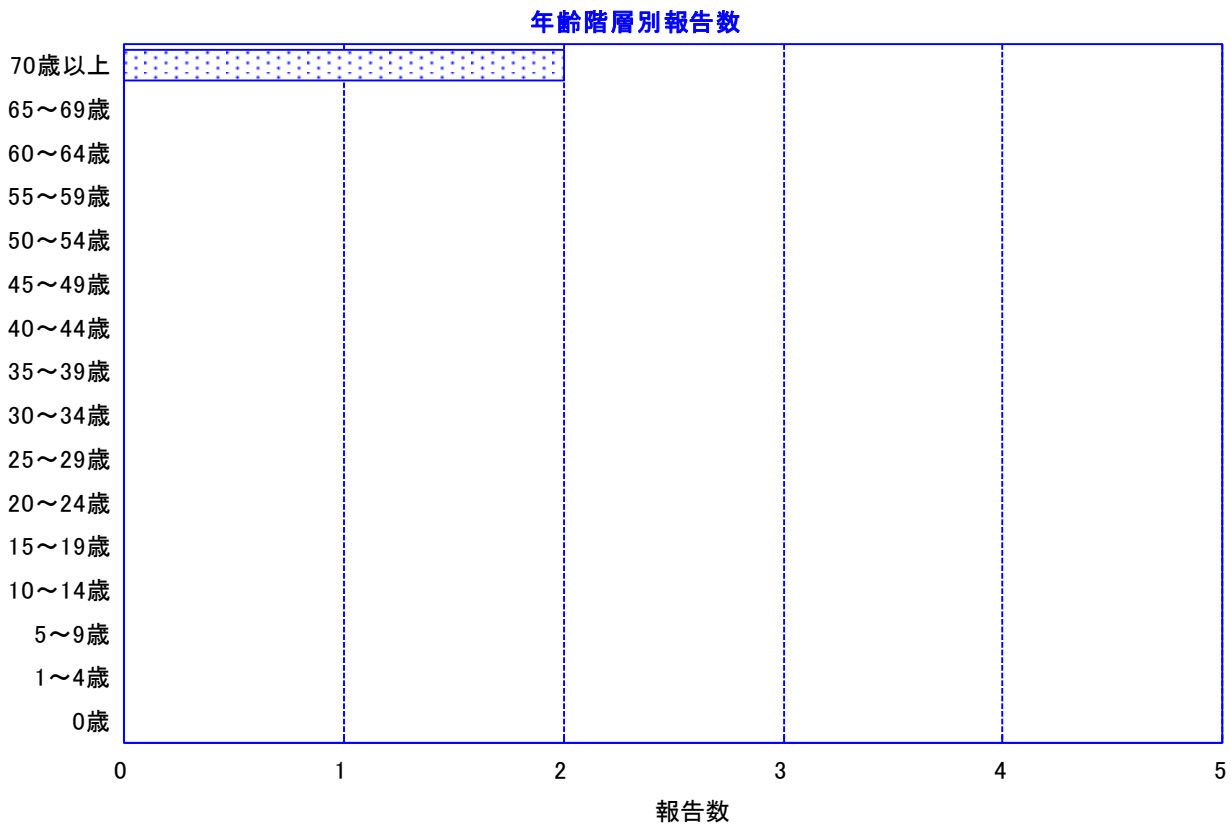
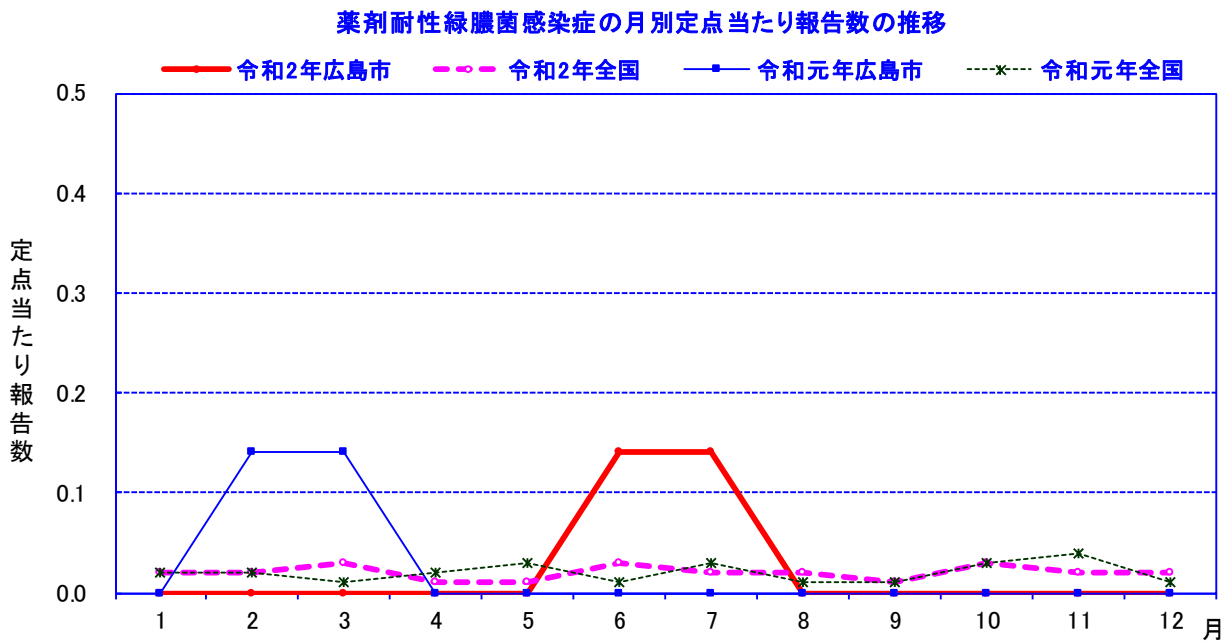
7 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

年間定点当たり累積報告数は 1.42 人で、前年と比べて大きく減少した（前年比 0.26）。



8 薬剤耐性緑膿菌感染症

年間報告数は2人であった。



第6節 各感染症の推移（平成21年～令和2年）

平成21年～令和2年における月別定点当たり報告数の推移をグラフに示す。

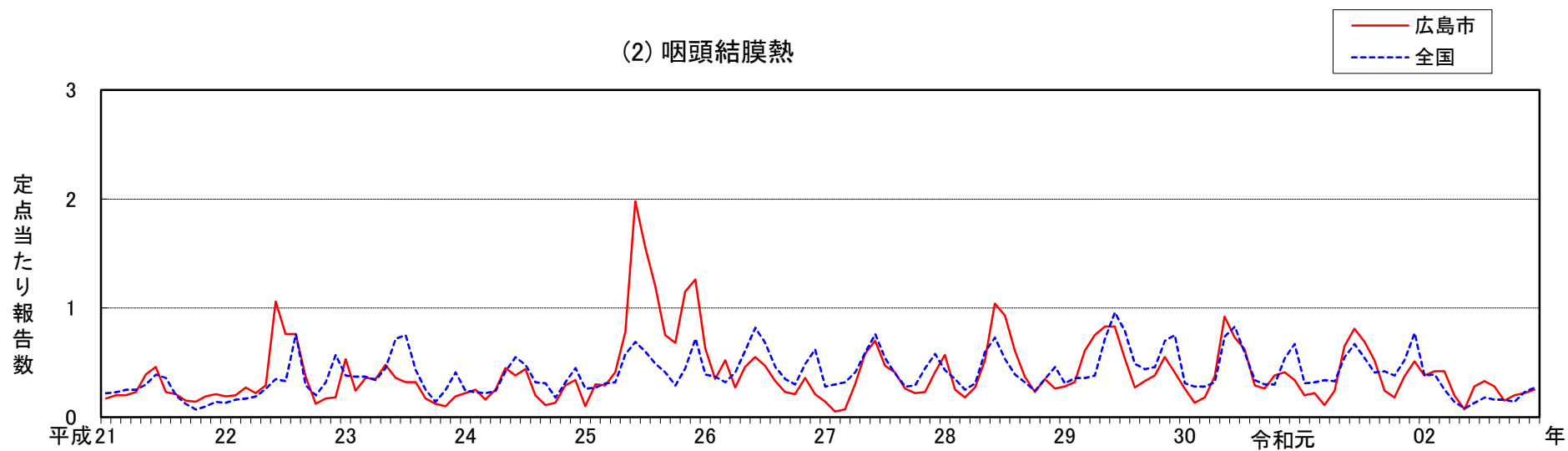
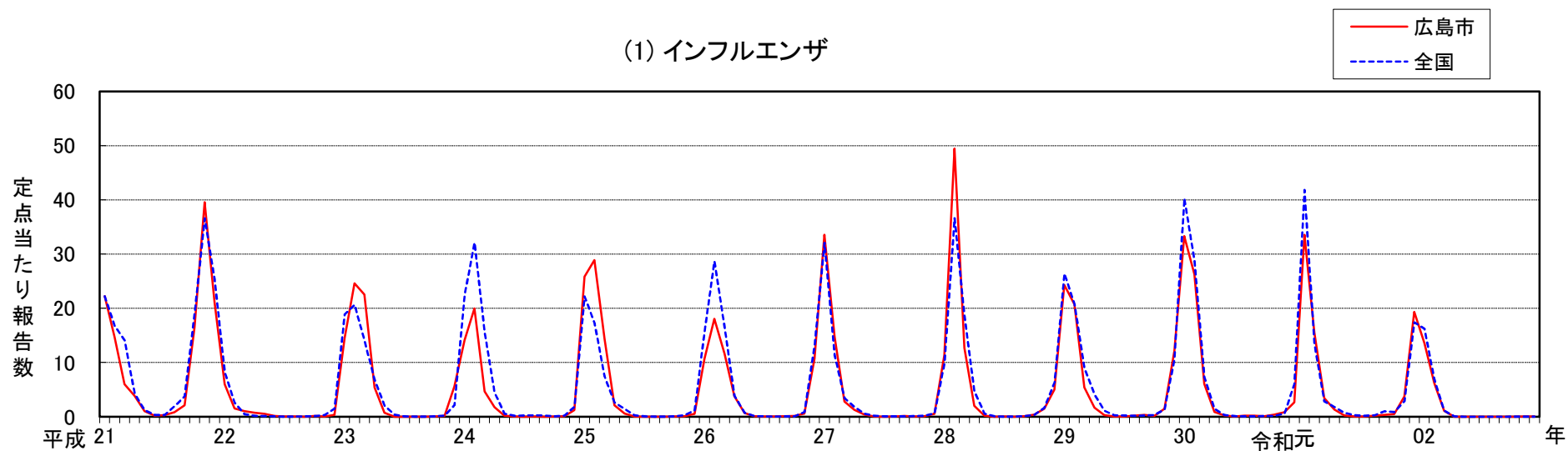
なお、週報対象感染症のグラフは、各週の定点当たり報告数の月平均値の推移を示している。

【週報対象感染症】

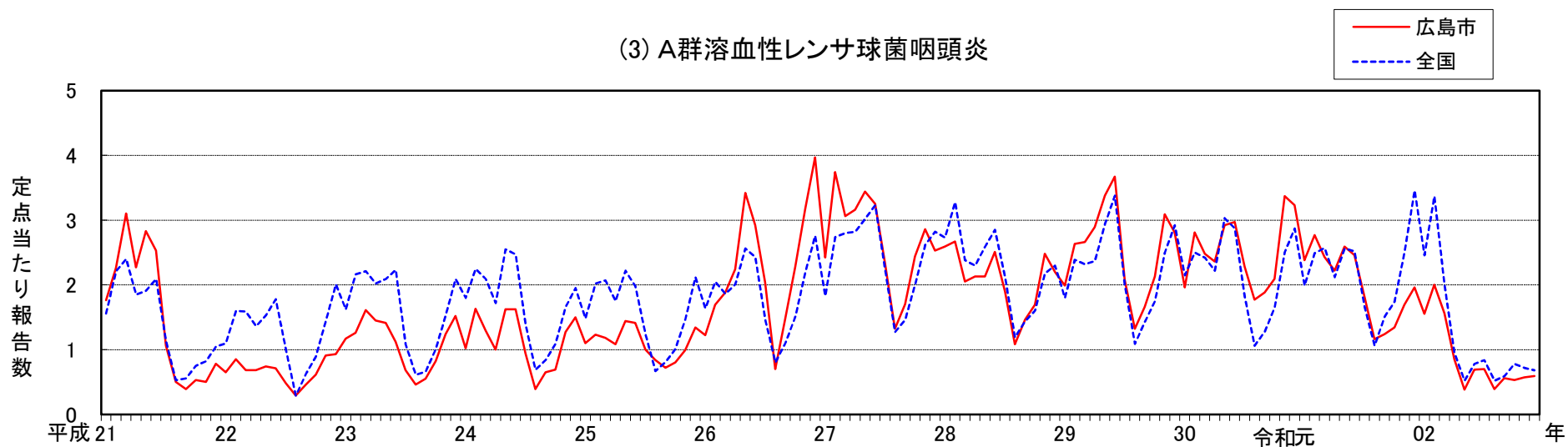
- (1) インフルエンザ（鳥インフルエンザを除く）
- (2) 咽頭結膜熱
- (3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- (4) 感染性胃腸炎
- (5) 水痘
- (6) 手足口病
- (7) 伝染性紅斑
- (8) 突発性発しん
- (9) ヘルパンギーナ
- (10) 流行性耳下腺炎
- (11) R S ウイルス感染症
- (12) 急性出血性結膜炎
- (13) 流行性角結膜炎
- (14) 細菌性髄膜炎
- (15) 無菌性髄膜炎
- (16) マイコプラズマ肺炎
- (17) クラミジア肺炎（オウム病を除く）
- (18) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

【月報対象感染症】

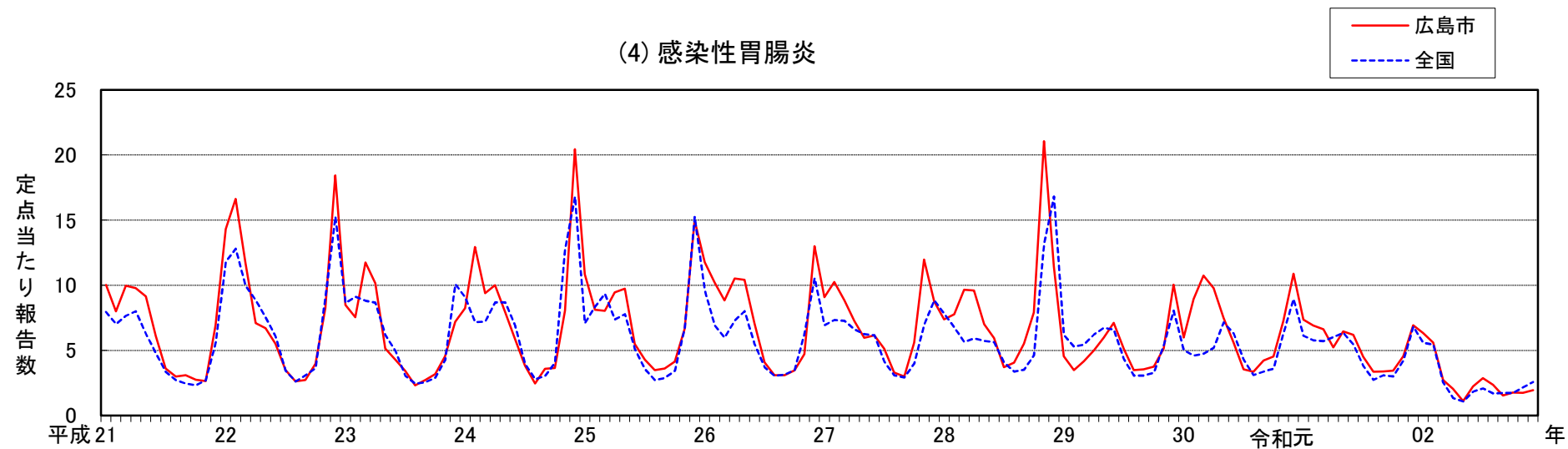
- (19) 性器クラミジア感染症
- (20) 性器ヘルペスウイルス感染症
- (21) 尖圭コンジローマ
- (22) 淋菌感染症
- (23) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
- (24) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
- (25) 薬剤耐性緑膿菌感染症



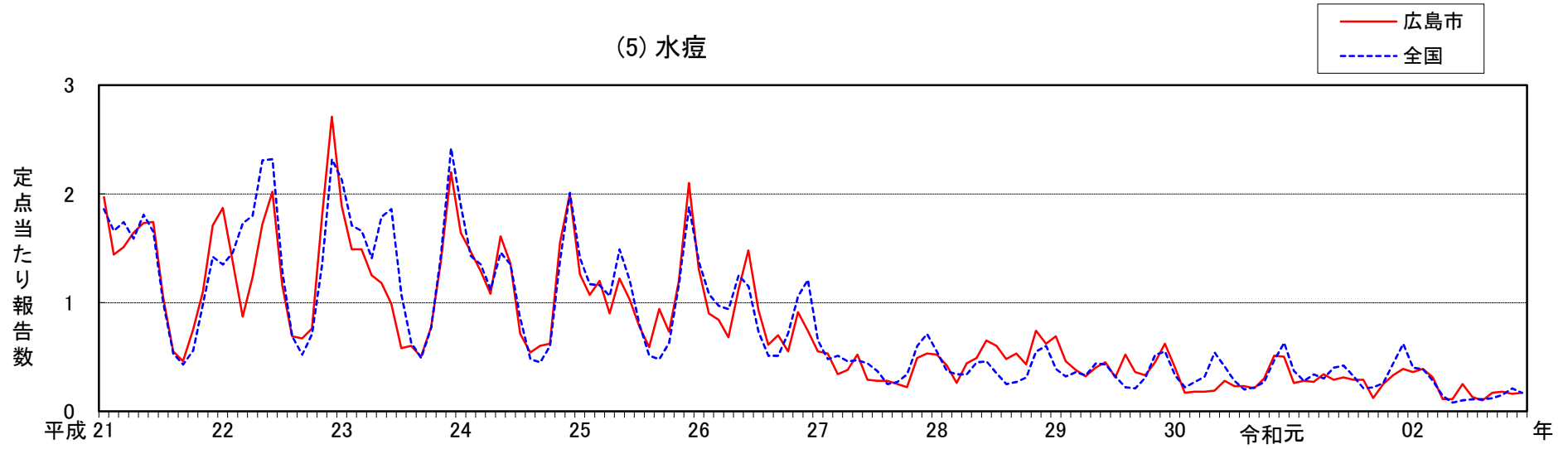
(3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



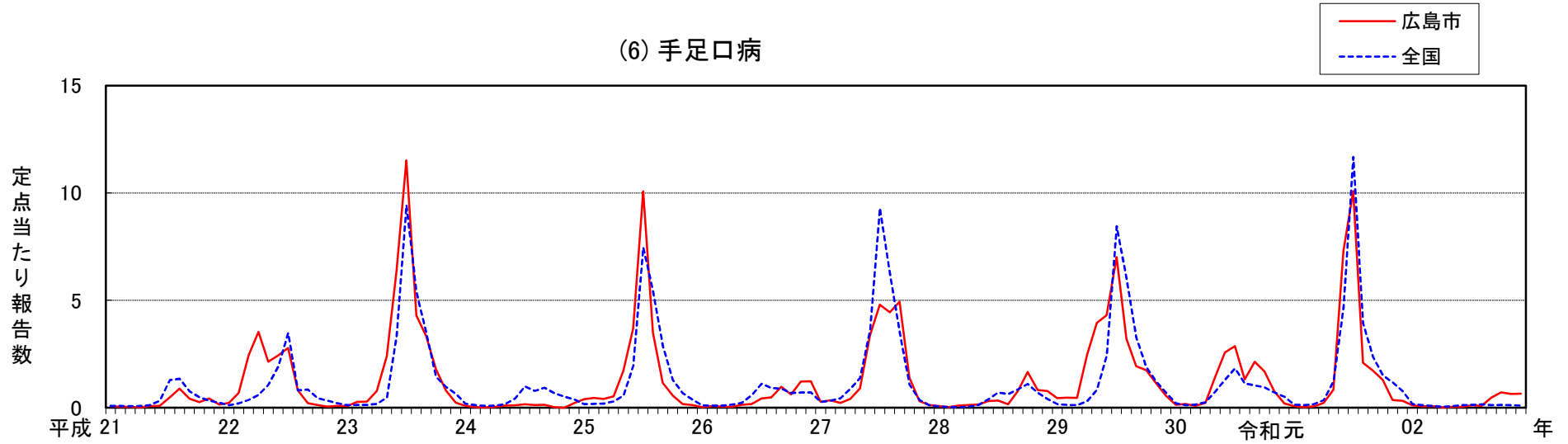
(4) 感染性胃腸炎



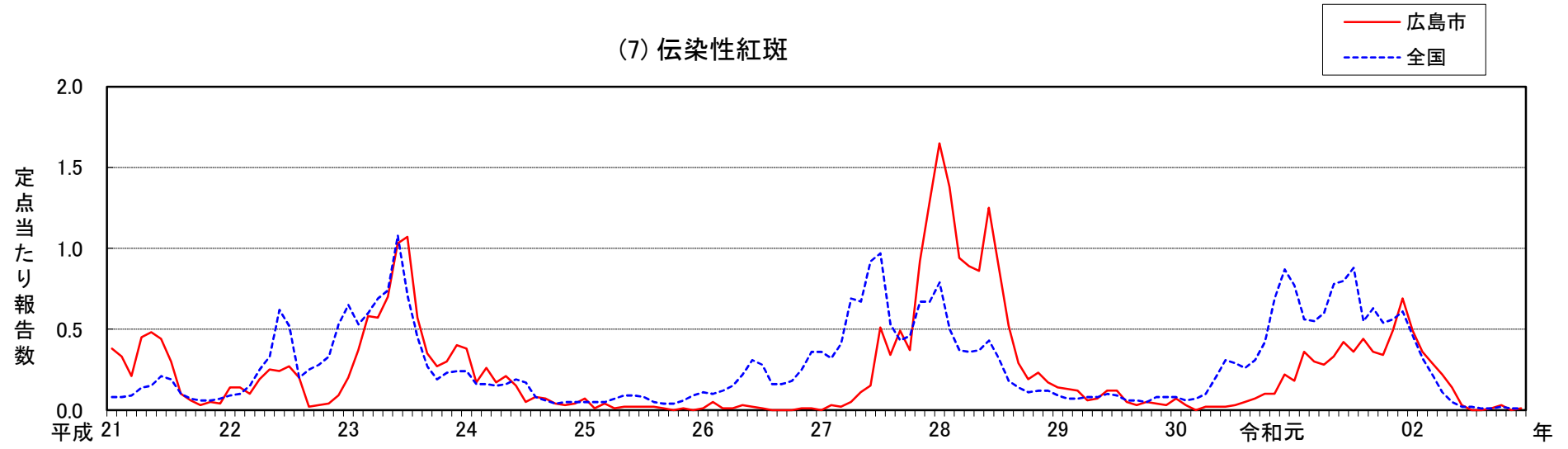
(5) 水痘



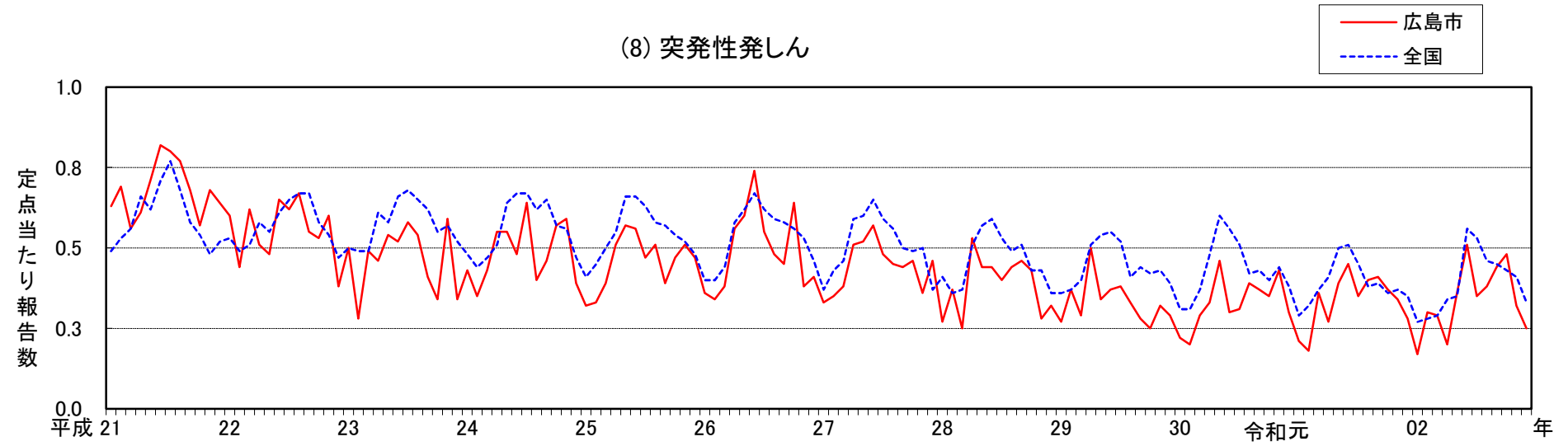
(6) 手足口病

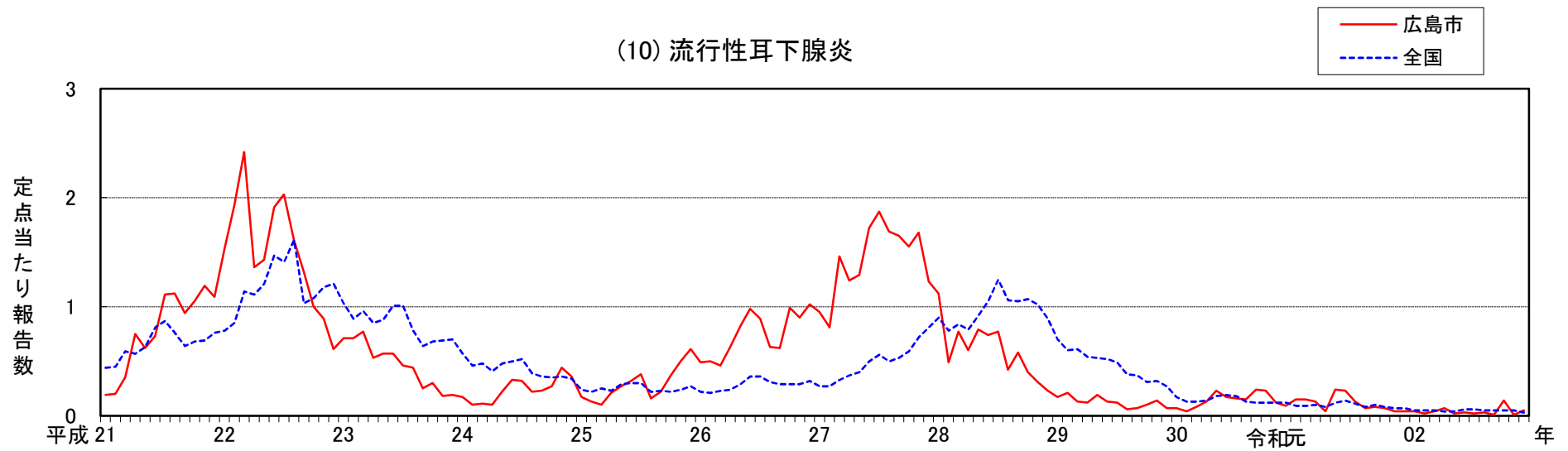
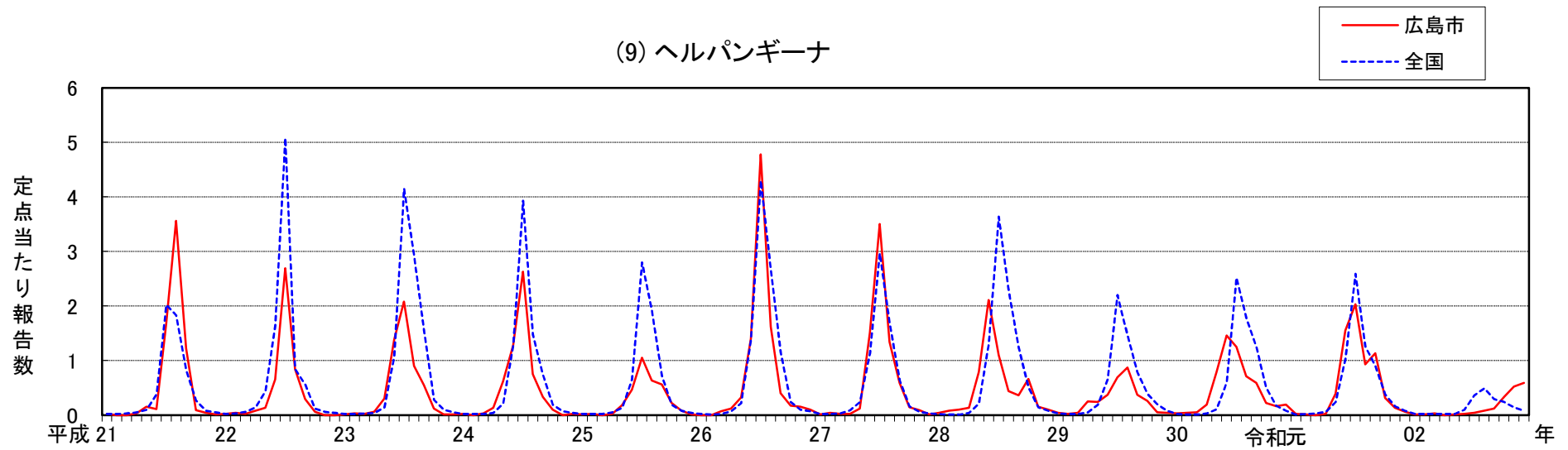


(7) 伝染性紅斑

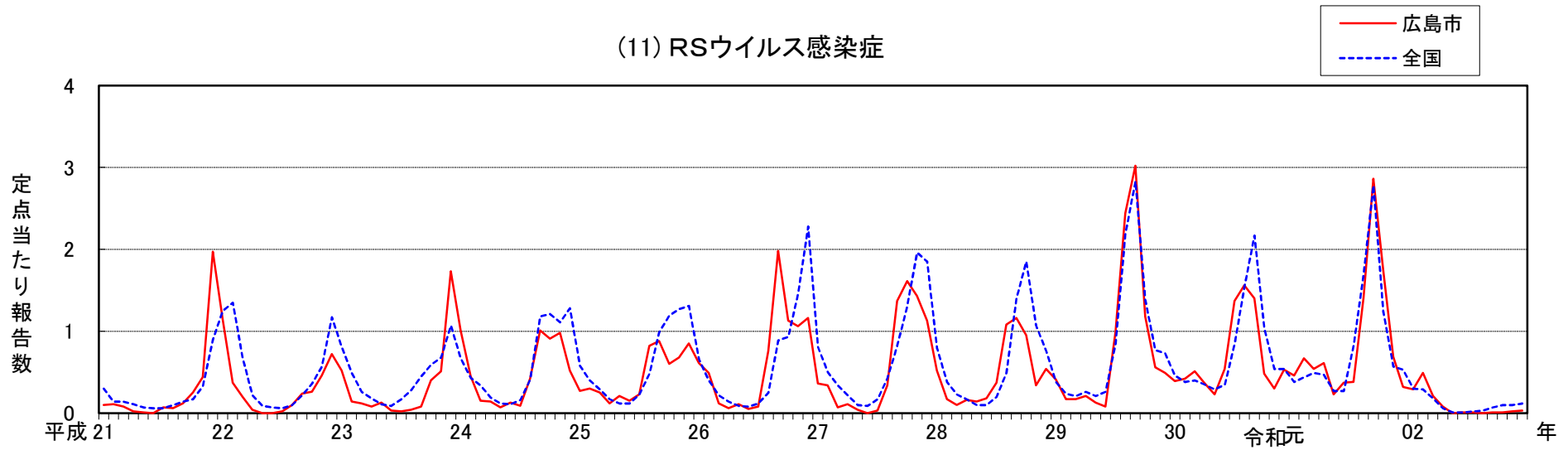


(8) 突発性発しん

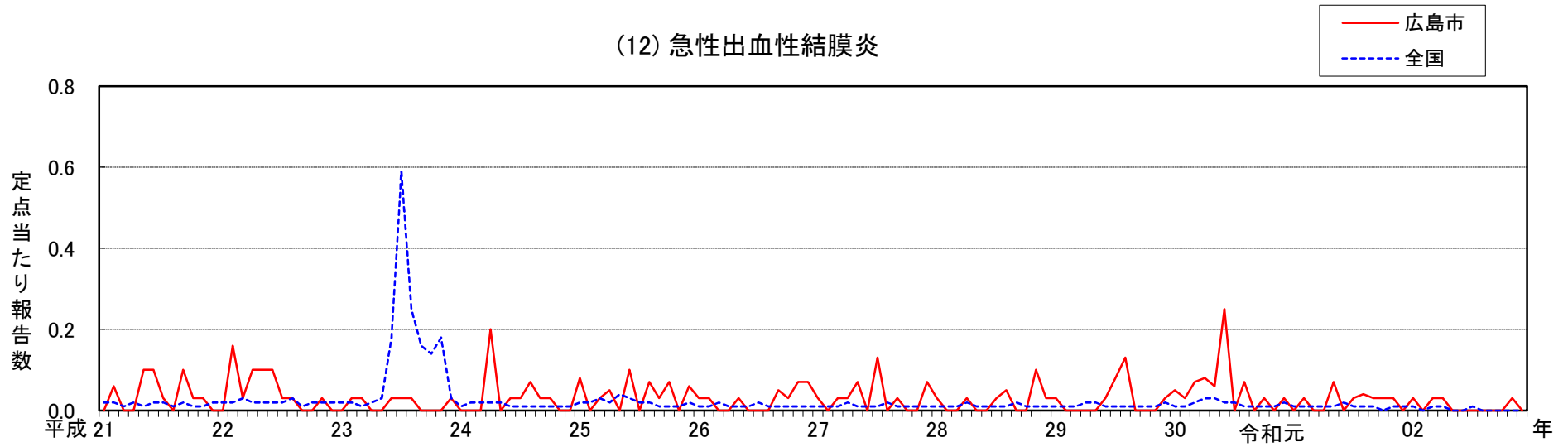




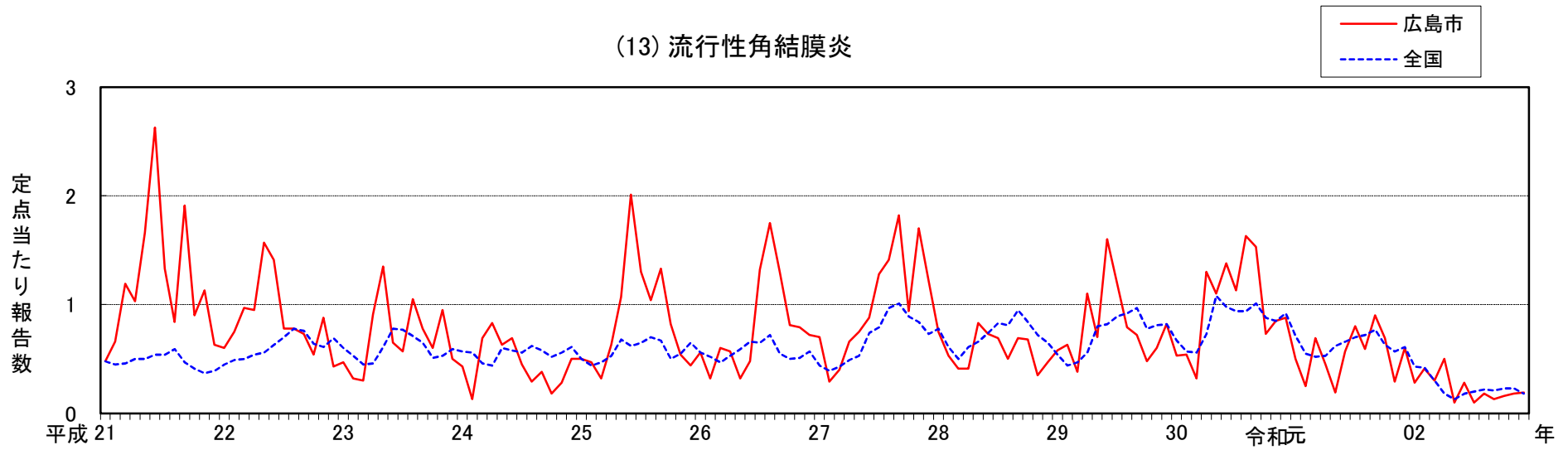
(11) RSウイルス感染症



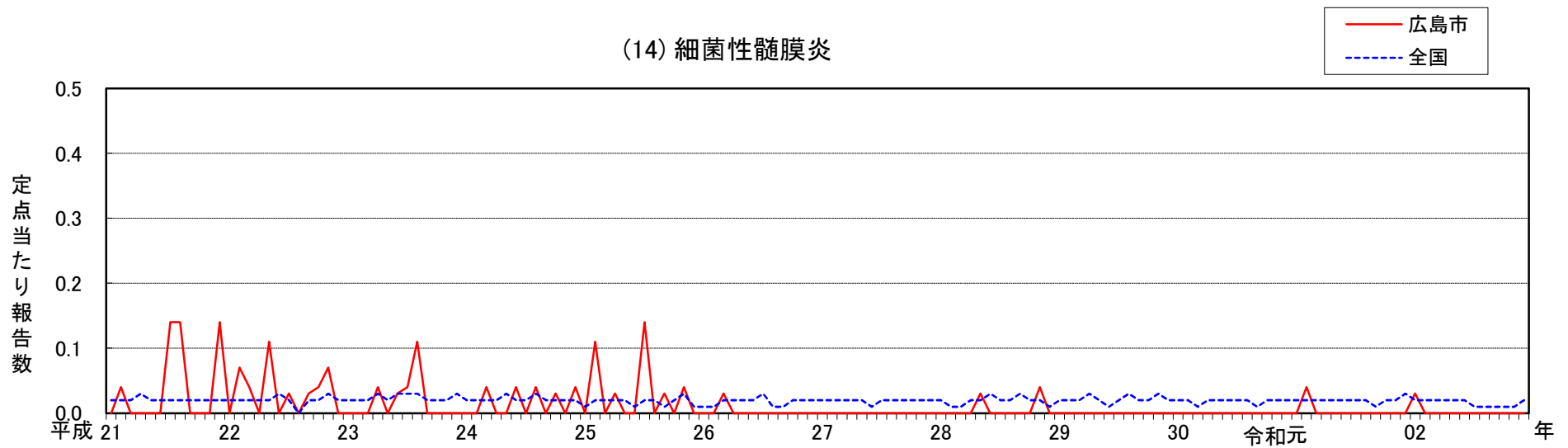
(12) 急性出血性結膜炎



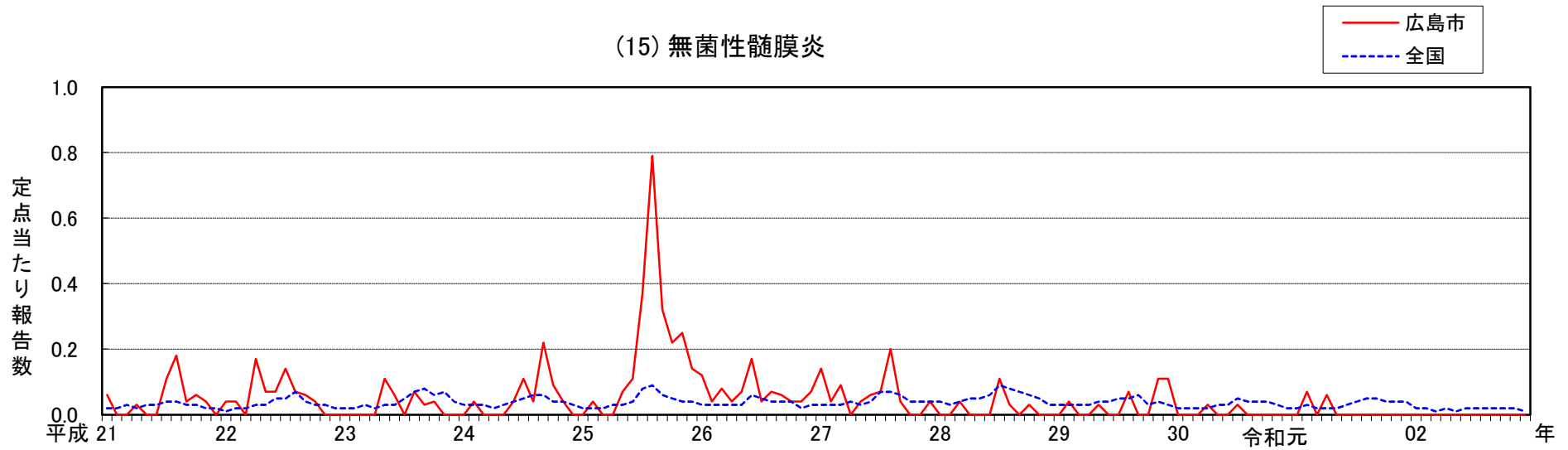
(13) 流行性角結膜炎



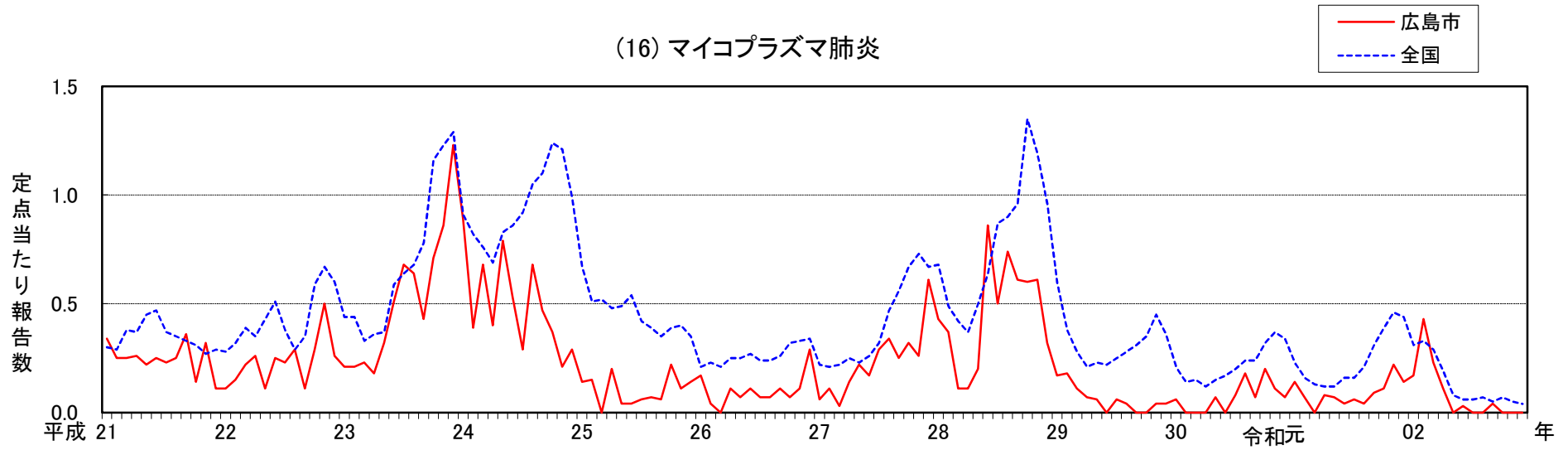
(14) 細菌性髄膜炎



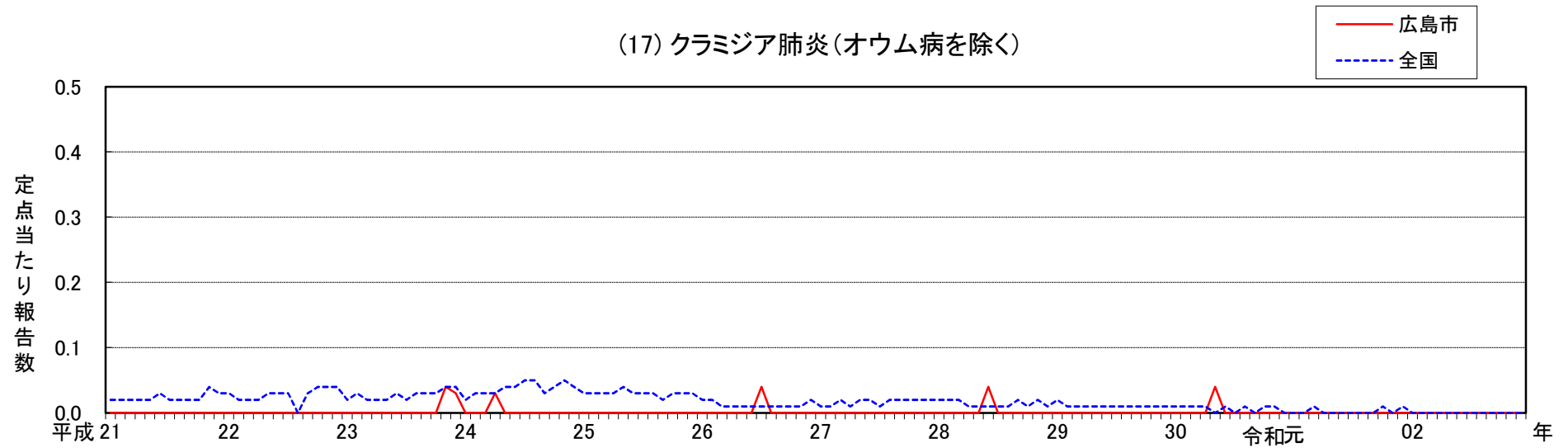
(15) 無菌性髄膜炎



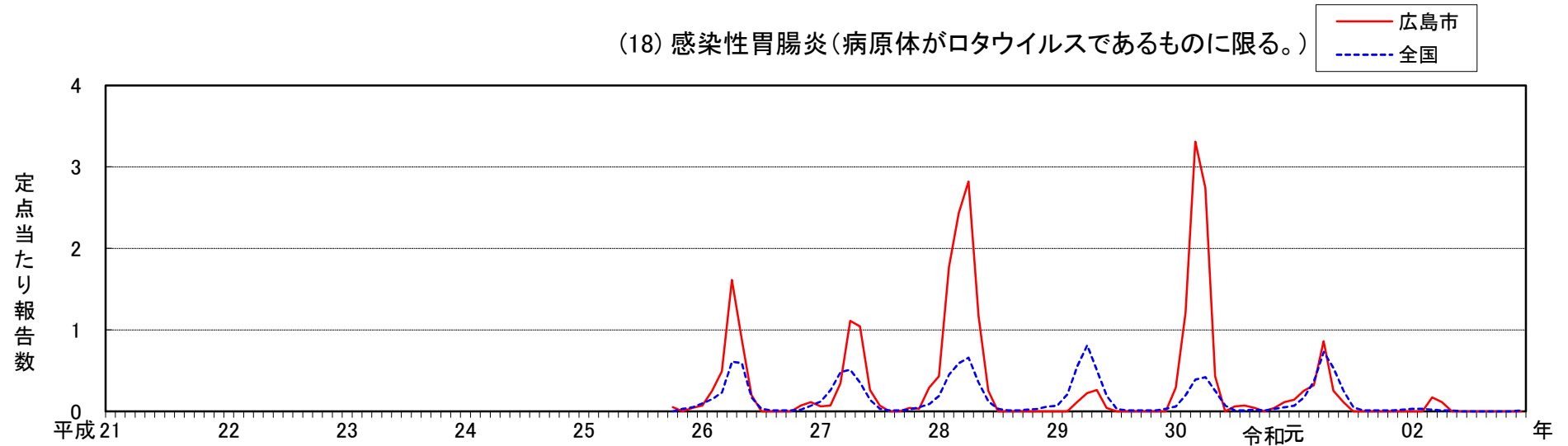
(16) マイコプラズマ肺炎

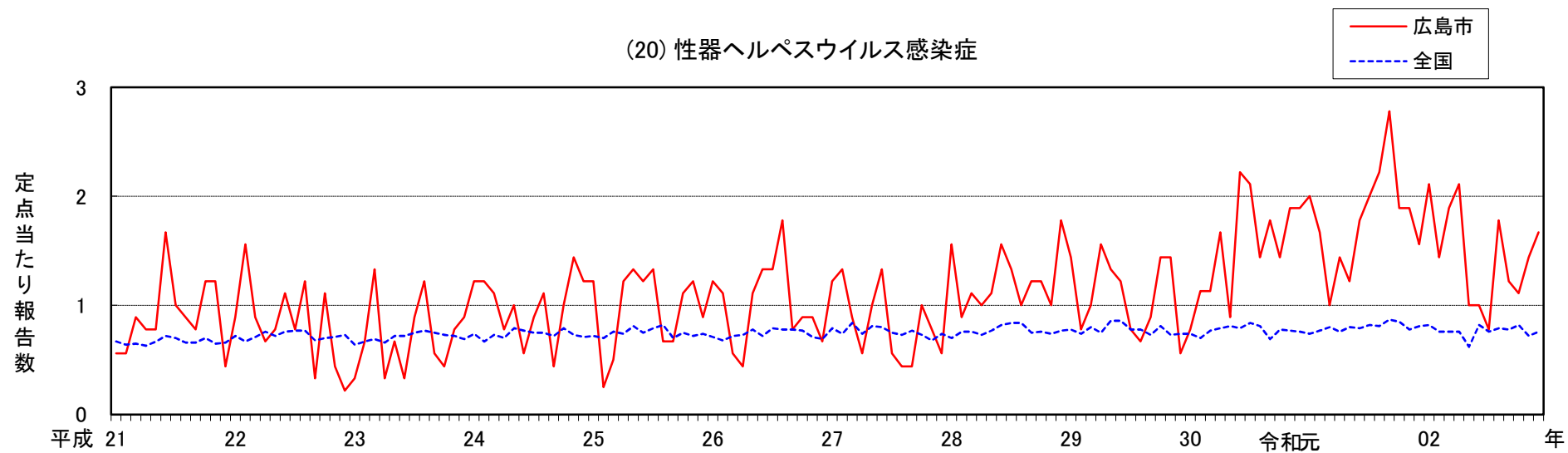
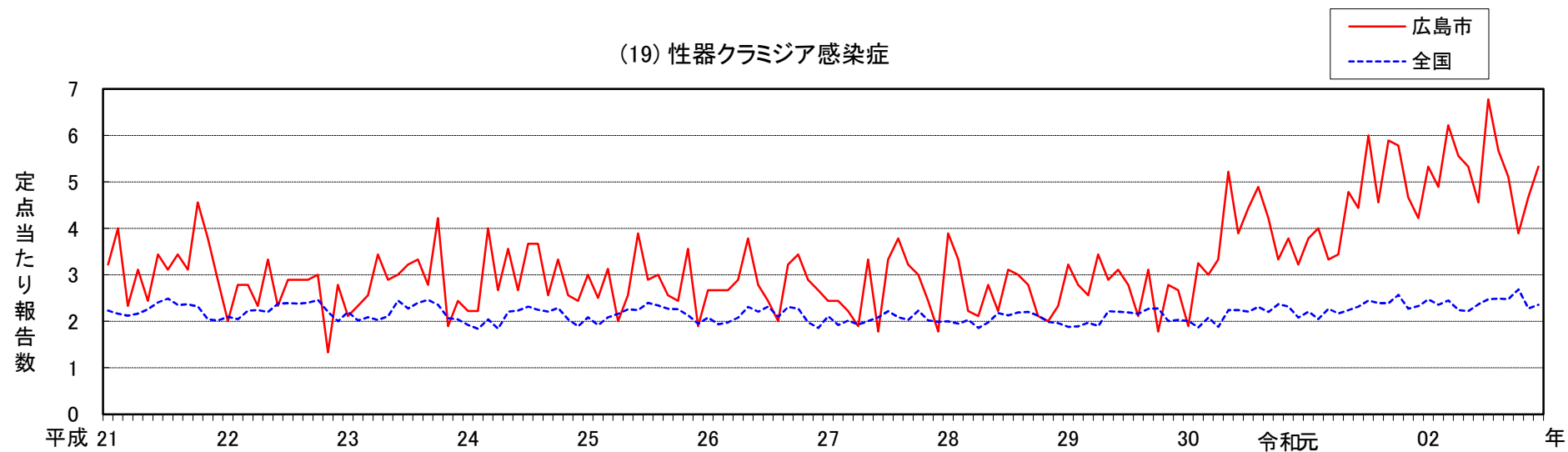


(17) クラミジア肺炎(オウム病を除く)

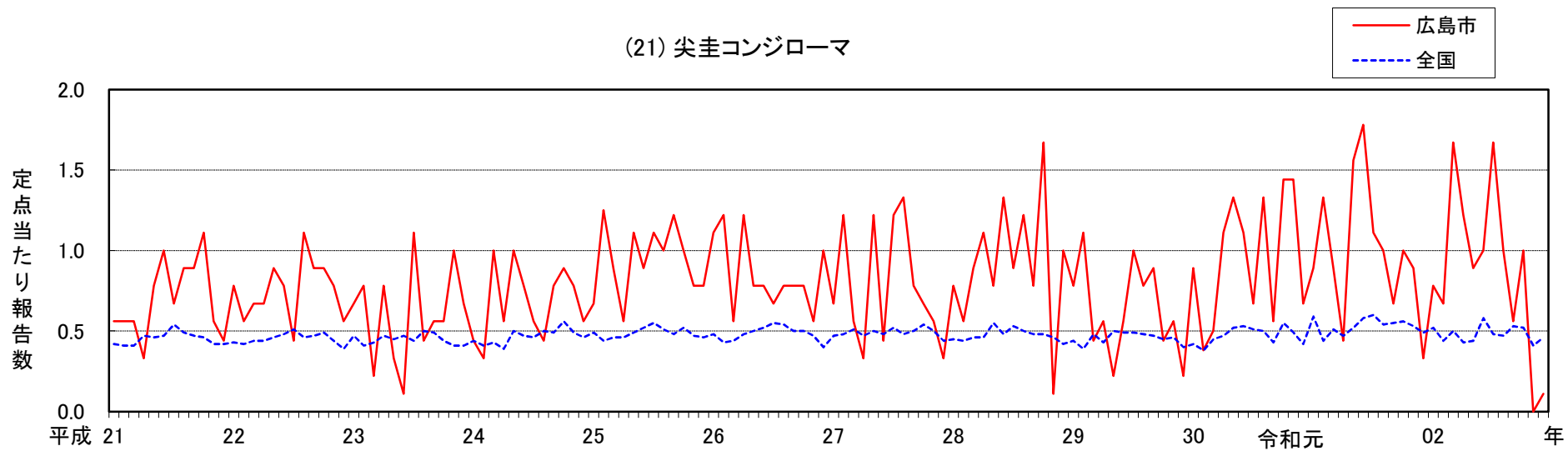


(18) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

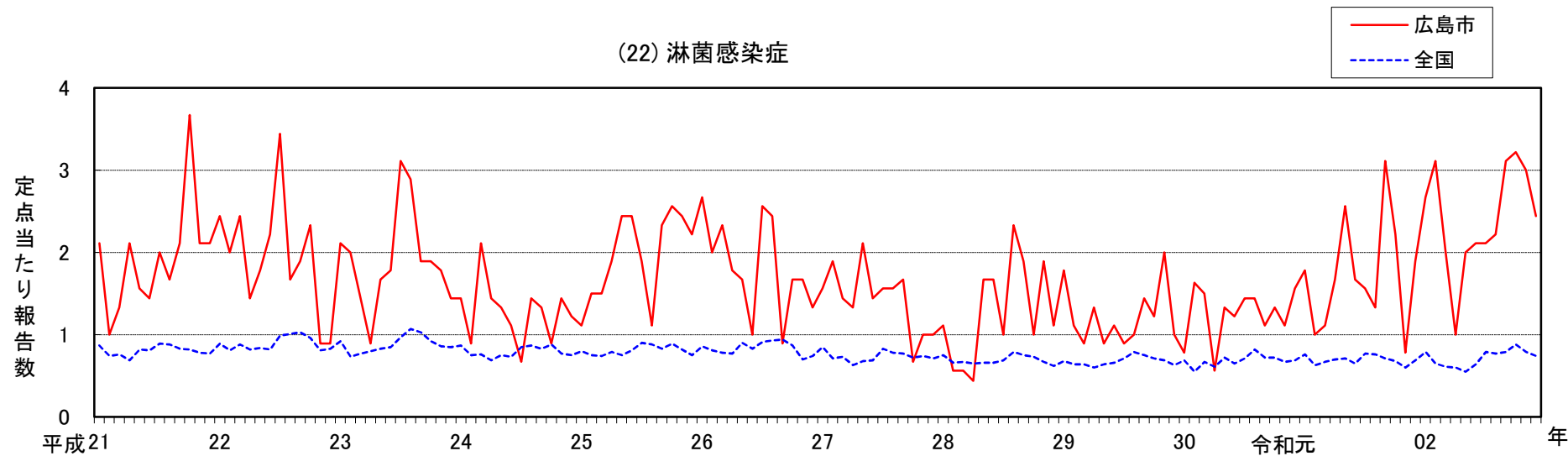




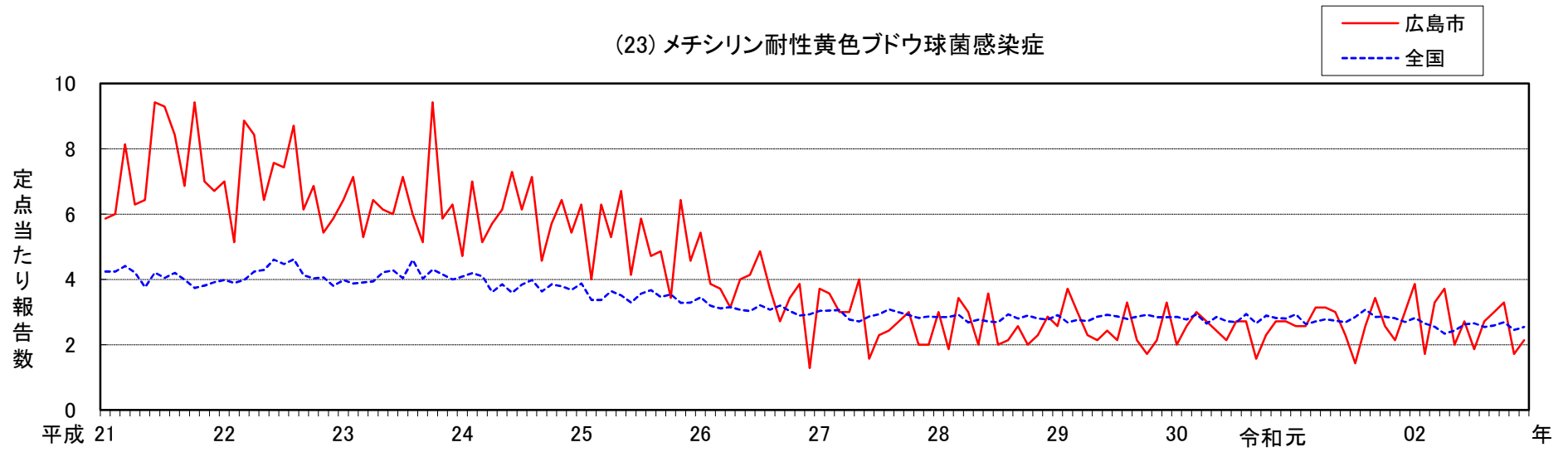
(21) 尖圭コンジローマ



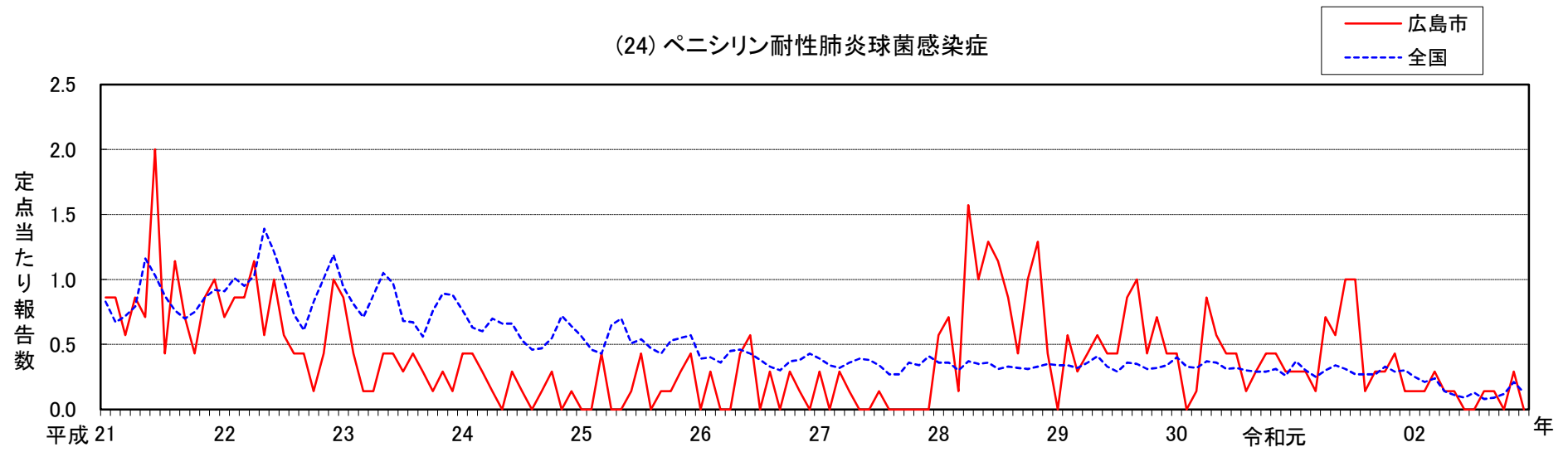
(22) 淋菌感染症



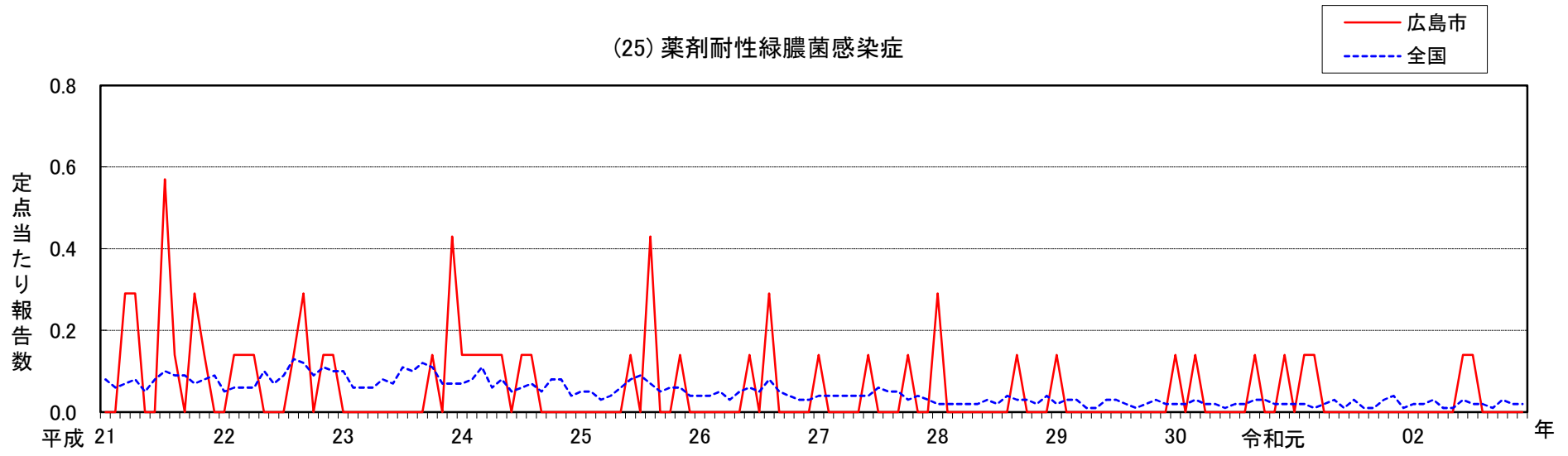
(23) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



(24) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



(25) 薬剤耐性緑膿菌感染症



第4章 検査情報

第1節 検査の概要

市内 15 か所の病原体定点医療機関で検査材料を採取し、衛生研究所において病原体検査を行った。

検査結果は病原体定点医療機関に随時通知するとともに、これらを病原体情報として取りまとめ、広島市感染症情報センターへ報告した。また、これらの病原体情報は国立感染症研究所感染症疫学センターへオンラインにより報告した。

第2節 検査方法及び検体採取状況

1 検査材料

病原体定点医療機関において、患者から咽頭拭い液（鼻汁を含む）、糞便、髄液、結膜拭い液、尿、血液などが採取され、衛生研究所に搬入されたものを検査材料とした。なお、一人の患者から複数の検体が採取され、または複数の病原体が検出されたものがあるため、本文中及び表では、患者数、検体数または検出ウイルス数で示した。

2 細菌・マイコプラズマ検査

感染性胃腸炎は、赤痢菌、病原性大腸菌、サルモネラ属菌、コレラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクターについて検査を実施した。

その他、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎の検査を実施した。

3 ウイルス検査

培養細胞を用いた細胞培養法によるウイルス分離を行うとともに、細胞培養が困難なウイルスを対象に遺伝子検査法、イムノクロマト法などを併用した。

培養細胞で分離されたウイルスの同定は主に中和試験で行い、同定が困難な株については、遺伝子検査法による同定を行った。

4 臨床診断名別検体採取状況

令和2年の月別臨床診断名別検査患者数を表1に、臨床診断名別検体別検査数を表2に示した。

臨床診断名別患者は病原体定点対象疾患では流行性角結膜炎 42 人（42 検体）、感染性胃腸炎 22 人（31 検体）、インフルエンザ 15 人（17 検体）の順に多く、病原体定点対象疾患以外ではその他の呼吸器疾患 22 人（28 検体）、その他の消化器疾患 18 人（28 検体）、その他の神経系疾患 17 人（37 検体）の順に多かった。

検体は 248 人から 370 検体が採取され、咽頭拭い液 167 検体、糞便 80 検体、結膜拭い液 44 検体の順に多かった。

表1 月別臨床診断名別検査患者数

臨床診断名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ	9	4	2										15
咽頭結膜熱		1				1							2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1			1							2
感染性胃腸炎	4	4	3	1			1	3	1		3	2	22
手足口病		1				1		2	2	2	1	1	10
突発性発しん			1			1					1		3
ヘルパンギーナ						1			1				2
流行性耳下腺炎			1										1
急性出血性結膜炎	1												1
流行性角結膜炎	6	5	1	2		5	7	4		3	5	4	42
細菌性髄膜炎							1						1
無菌性髄膜炎	1										1		2
その他の呼吸器疾患	2	10	7					1	1	1			22
その他の消化器疾患	6			2		1	2	1	1	1	3	1	18
その他の神経系疾患	4	1	3					2	1	2	2	2	17
その他の発疹性疾患	2	1						2					5
その他の循環器疾患						1		3			4		8
その他の疾患	14	7	4	5		5	5	5	4	8	9	9	75
計	49	34	23	10	0	17	16	23	11	17	29	19	248

表2 臨床診断名別検体別検査数

臨床診断名 \ 検体名	咽頭拭い液	髄液	糞便	尿	結膜拭い液	血液	その他	計
インフルエンザ	15						2	17
咽頭結膜熱	2							2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2							2
感染性胃腸炎	6	2	20	3				31
手足口病	10		1					11
突発性発しん	2		1					3
ヘルパンギーナ	2							2
流行性耳下腺炎	1							1
急性出血性結膜炎					1			1
流行性角結膜炎					42			42
細菌性髄膜炎	1		1	1				3
無菌性髄膜炎	1	1	1					3
その他の呼吸器疾患	21	1	3	3				28
その他の消化器疾患	9		17	1		1		28
その他の神経系疾患	12	11	5	7		2		37
その他の発疹性疾患	6	1	1					8
その他の循環器疾患	7		4	4		1	2	18
その他の疾患	70	16	26	18	1	2		133
検査検体数	167	32	80	37	44	6	4	370

第3節 病原体検出状況

1 月別病原体検出状況

月別病原体検出数を表3に示した。令和2年は、32種類100株のウイルス、2種類2株の細菌が検出された。

ウイルス別の検出状況は、ライノウイルス19株、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型14株、コクサッキーウイルスA16型7株の順に多かった。

インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型は1月に最も多く検出された。新型コロナウイルス感染症流行の影響からか、例年インフルエンザが流行し始める9月以降において流行は見られず、インフルエンザウイルスは検出されなかった。コクサッキーウイルスA16型は2月、9月及び11月に検出された。ライノウイルスは1年を通して検出された。

表3 月別病原体検出数

病原体名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
コクサッキーウイルスA4型											1		1
コクサッキーウイルスA10型										1			1
コクサッキーウイルスA16型		1							2		4		7
コクサッキーウイルスB3型		1											1
エコーウイルス18型		1						1	1			1	4
エコーウイルス25型		1											1
エコーウイルス30型		1											1
エンテロウイルス												2	2
ライノウイルス	2	4	1	1		3	2	1	2	2		1	19
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型	9	3	2										14
B型インフルエンザウイルス	2												2
RSウイルス		1											1
ムンプスウイルス			1										1
ヒトメタニューモウイルス	1	2	1										4
ヒトコロナウイルスOC43		1	2										3
ヒトコロナウイルスHKU1			1										1
サポウイルス	1												1
ノロウイルスG I				1									1
ノロウイルスG II	2	2	1										5
アストロウイルス	1												1
アデノウイルス1型	2	1				1		1					5
アデノウイルス2型	1						1	1					3
アデノウイルス3型	1	1											2
アデノウイルス5型								1				2	3
アデノウイルス6型											2		2
アデノウイルス31型	2					1		1					4
アデノウイルス37型	1			1							2	1	5
アデノウイルス54型						1							1
ヒトボカウイルス			1										1
EBウイルス		1											1
ヒトヘルペスウイルス6型											1		1
ヒトヘルペスウイルス7型											1		1
A群溶血性レンサ球菌T12型						1							1
<i>Campylobacter jejuni</i>											1		1
計	25	21	10	3	0	7	3	6	5	3	12	7	102
検査検体数	85	45	36	13	0	25	23	30	14	29	44	26	370

2 臨床診断名別病原体検出状況

臨床診断名別病原体検出数を表4に示した。臨床診断名別の病原体検出数は、病原体定点対象疾患ではインフルエンザ、感染性胃腸炎が多かった。

(1) インフルエンザ

15人の患者の検体を検査し、14株のウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型12株、B型インフルエンザウイルス2株であった。

(2) 咽頭結膜熱

2人の患者の検体を検査し、2株のウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス1型、同3型各1株であった。

(3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2人の患者の検体を検査し、A群溶血性レンサ球菌T12型1株が検出された。

(4) 感染性胃腸炎

22人の患者の検体を検査し、11株のウイルス及び1株の細菌が検出された。その内訳は、ノロウイルスGII4株、アデノウイルス5型2株、ライノウイルス、サポウイルス、ノロウイルスGI、アデノウイルス1型、同31型各1株、*Campylobacter jejuni* 1株であった。

(5) 手足口病

10人の患者の検体を検査し、6株のウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA16型4株、同A10型、エンテロウイルス各1株であった。

(6) 突発性発しん

3人の患者の検体を検査し、3株のウイルスが検出された。その内訳は、ヒトコロナウイルスOC43、ヒトヘルペスウイルス6型、同7型各1株であった。

(7) 流行性耳下腺炎

1人の患者の検体を検査し、ムンプスウイルス1株が検出された。

(8) 急性出血性結膜炎

1人の患者の検体を検査し、アデノウイルス37型1株が検出された。

(9) 流行性角結膜炎

42人の患者の検体を検査し、5株のウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス37型4株、同54型1株であった。

(10) その他の呼吸器疾患

22人の患者の検体を検査し、20株のウイルスが検出された。その内訳は、ライノウイルス9株、ヒトメタニューモウイルス3株、ヒトコロナウイルスOC43 2株、コクサッキーウイルスB3型、エコーウイルス30型、RSウイルス、ヒトコロナウイルスHKU1、アデノウイルス1型、ヒトボカウイルス各1株であった。

(11) その他の消化器疾患

18人の患者の検体を検査し、9株のウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型3株、同31型2株、ノロウイルスGII、アストロウイルス、アデノウイルス1型、同5型各1株であった。

(12) その他の神経系疾患

17人の患者の検体を検査し、EBウイルス1株が検出された。

(13) その他の発疹性疾患

5人の患者の検体を検査し、エコーウイルス18型1株が検出された。

(14) その他の循環器疾患

8人の患者の検体を検査し、2株のウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA4型、ライノウイルス各1株であった。

(15) その他の疾患

75 人の患者の検体を検査し、17 株のウイルスが検出された。その内訳は、ライノウイルス 7 株、エコーウイルス 18 型 3 株、コクサッキーウイルス A16 型、エコーウイルス 25 型、エンテロウイルス、インフルエンザウイルス A(H1N1)2009 型、ヒトメタニューモウイルス、アデノウイルス 3 型、同 6 型各 1 株であった。

表4 臨床診断名別病原体検出数

病原体名	臨床診断名																計		
	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	その他の呼吸器疾患	その他の消化器疾患	その他の神経系疾患	その他の発疹性疾患		その他の循環器疾患	その他の疾患
コクサッキーウイルスA4型																	1	1	
コクサッキーウイルスA10型					1													1	
コクサッキーウイルスA16型					4												1	5	
コクサッキーウイルスB3型													1					1	
エコーウイルス18型																1	3	4	
エコーウイルス25型																	1	1	
エコーウイルス30型													1					1	
エンテロウイルス					1												1	2	
ライノウイルス				1									9			1	7	18	
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型	12																1	13	
B型インフルエンザウイルス	2																	2	
RSウイルス													1					1	
ムンプスウイルス								1										1	
ヒトメタニューモウイルス													3				1	4	
ヒトコロナウイルスOC43						1							2					3	
ヒトコロナウイルスHKU1													1					1	
サポウイルス				1														1	
ノロウイルスG I				1														1	
ノロウイルスG II				4											1			5	
アストロウイルス															1			1	
アデノウイルス1型		1		1									1	1				4	
アデノウイルス2型															3			3	
アデノウイルス3型		1															1	2	
アデノウイルス5型				2											1			3	
アデノウイルス6型																	1	1	
アデノウイルス31型				1											2			3	
アデノウイルス37型									1	4								5	
アデノウイルス54型										1								1	
ヒトボカウイルス													1					1	
EBウイルス																1		1	
ヒトヘルペスウイルス6型						1												1	
ヒトヘルペスウイルス7型						1												1	
A群溶血性レンサ球菌T12型			1															1	
<i>Campylobacter jejuni</i>				1														1	
計	14	2	1	12	6	3	0	1	1	5	0	0	20	9	1	1	2	17	95
検査患者数	15	2	2	22	10	3	2	1	1	42	1	2	22	18	17	5	8	75	248

3 年齢別病原体別患者状況

年齢別病原体別患者数を表5に示した。年齢別検査数は0歳45人、1歳42人、2歳23人、3歳16人、4歳14人、5歳6人、6歳5人と低年齢層の患者が多く、6歳以下が約61%を占めた。

4 検体別病原体検出状況

検体別病原体検出数を表6に示した。

咽頭拭い液は167検体を検査し、67株のウイルス、1株の細菌が検出された。最も多く検出されたのはライノウイルス18株、次いでインフルエンザウイルスA(H1N1)2009型13株であった。

糞便は80検体を検査し、25株のウイルス、1株の細菌が検出された。最も多く検出されたのはノロウイルスGⅡ5株、次いでアデノウイルス31型4株であった。

結膜拭い液は44検体を検査し、6株のウイルスが検出された。最も多く検出されたのはアデノウイルス37型5株、次いで同54型1株であった。

表5 年齢別病原体別患者数

病原体名	年 齢																	計						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳 19歳		20歳 29歳	30歳 39歳	40歳 49歳	50歳 以上	不明	
コクサッキーウイルスA4型		1																						1
コクサッキーウイルスA10型	1																							1
コクサッキーウイルスA16型	1	2	1	1																				5
コクサッキーウイルスB3型			1																					1
エコーウイルス18型	3									1														4
エコーウイルス25型	1																							1
エコーウイルス30型	1																							1
エンテロウイルス	1		1																					2
ライノウイルス	5	5	1	1	3		1										1					1		18
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型			2	1	1	2	1			1							1		2	1	1			13
B型インフルエンザウイルス				1					1															2
RSウイルス		1																						1
ムンプスウイルス				1																				1
ヒトメタニューモウイルス	1	1																				2		4
ヒトコロナウイルスOC43	1	1																				1		3
ヒトコロナウイルスHKU1		1																						1
サボウイルス			1																					1
ノロウイルスG I				1																				1
ノロウイルスG II		1	1			1	1														1			5
アストロウイルス					1																			1
アデノウイルス1型		3	1																					4
アデノウイルス2型		2	1																					3
アデノウイルス3型				1						1														2
アデノウイルス5型	1	1	1																					3
アデノウイルス6型		1																						1
アデノウイルス31型	1	1	1																					3
アデノウイルス37型																		2		2	1			5
アデノウイルス54型																		1						1
ヒトボカウイルス		1																						1
EBウイルス														1										1
ヒトヘルペスウイルス6型		1																						1
ヒトヘルペスウイルス7型		1																						1
A群溶血性レンサ球菌T12型				1																				1
<i>Campylobacter jejuni</i>										1														1
計	17	24	12	8	5	3	3	0	1	4	0	0	0	1	0	0	2	3	2	4	5	1		95
陽性患者数	14	21	11	8	5	3	3	0	1	4	0	0	0	1	0	0	2	3	2	4	5	1		88
検査患者数	45	42	23	16	14	6	5	6	5	7	1	7	4	3	2	2	3	9	10	10	25	3		248

表6 検体別病原体検出数

病原体名	検体名	咽頭拭い液	髄液	糞便	尿	結膜拭い液	血液	その他	計
コクサッキーウイルスA4型		1							1
コクサッキーウイルスA10型		1							1
コクサッキーウイルスA16型		5		2					7
コクサッキーウイルスB3型		1							1
エコーウイルス18型		3		1					4
エコーウイルス25型		1							1
エコーウイルス30型				1					1
エンテロウイルス		2							2
ライノウイルス		18						1	19
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型		13						1	14
B型インフルエンザウイルス		2							2
RSウイルス		1							1
ムンプスウイルス		1							1
ヒトメタニューモウイルス		4							4
ヒトコロナウイルスOC43		3							3
ヒトコロナウイルスHKU1		1							1
サポウイルス				1					1
ノロウイルスG I				1					1
ノロウイルスG II				5					5
アストロウイルス				1					1
アデノウイルス1型		3		2					5
アデノウイルス2型				3					3
アデノウイルス3型		2							2
アデノウイルス5型				3					3
アデノウイルス6型		1		1					2
アデノウイルス31型				4					4
アデノウイルス37型						5			5
アデノウイルス54型						1			1
ヒトボカウイルス		1							1
EBウイルス		1							1
ヒトヘルペスウイルス6型		1							1
ヒトヘルペスウイルス7型		1							1
A群溶血性レンサ球菌T12型		1							1
<i>Campylobacter jejuni</i>				1					1
計		68	0	26	0	6	0	2	102
検査検体数		167	32	80	37	44	6	4	370

第4節 参考資料

表7 広島市の年別病原体検出数(平成13年～令和2年)

表7-1 広島市の年別病原体検出数

検出病原体	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	計
エンテロウイルス未型別						8	2		1		11
コクサッキーウイルスA2型	4			7				3		3	17
コクサッキーウイルスA3型											0
コクサッキーウイルスA4型		2		3				6		4	15
コクサッキーウイルスA5型										2	2
コクサッキーウイルスA6型	2	2		1			4			4	13
コクサッキーウイルスA8型	5		1								6
コクサッキーウイルスA9型	8				2	3	1	1	10		25
コクサッキーウイルスA10型			2				1	2	1		6
コクサッキーウイルスA14型											0
コクサッキーウイルスA16型	3	2			6	1	2	1			15
コクサッキーウイルスB1型		2	18					1		5	26
コクサッキーウイルスB2型		5	5			2	3	1	8	1	25
コクサッキーウイルスB3型	1	10	2		2			12			27
コクサッキーウイルスB4型	5		1	1	7	1	1	1		3	20
コクサッキーウイルスB5型	3	4	1	1	5		29	2			45
コクサッキーウイルスB6型											0
エコーウイルス1型											0
エコーウイルス3型				1	1				5		7
エコーウイルス4型				1							1
エコーウイルス5型							1	4	2		7
エコーウイルス6型				34	1						35
エコーウイルス7型			5								5
エコーウイルス9型		4	7			2			14		27
エコーウイルス11型	33								3		36
エコーウイルス12型	1										1
エコーウイルス13型		183									183
エコーウイルス14型	1				1			3			5
エコーウイルス16型								2			2
エコーウイルス17型											0
エコーウイルス18型				9	4	90	1	1			105
エコーウイルス19型											0
エコーウイルス24型			1								1
エコーウイルス25型		1	1			1	2		1	12	18
エコーウイルス30型		1	22				7	8			38
エンテロウイルス68型							1			3	4
エンテロウイルス71型	1		39				2		2	25	69
ポリオウイルス1型	1	3	1	1		5	4	4	3	2	24
ポリオウイルス2型	1	1	2	1		2	3	3	2	2	17
ポリオウイルス3型		3				2	2	3		1	11
パレコウイルス未型別					1	1					2
パレコウイルス1型	2		5	4	4	5	6	5	3	7	41
パレコウイルス2型											0
パレコウイルス3型				1	2	26		41		1	71
パレコウイルス4型									5	2	7
パレコウイルス6型						1	1			2	4
ライノウイルス							15	17	3	20	55
A型インフルエンザウイルス											0
インフルエンザウイルスA(H1)型	24	25				3	45	60	65		222
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型									340	43	383
インフルエンザウイルスA(H3)型	11	23	16	24	9	2	67	31	104	5	292
B型インフルエンザウイルス	20	23	2	6	5	2	29	3	68	22	180
パラインフルエンザウイルス1型											0
パラインフルエンザウイルス2型	4	5		2		1	1	2		2	17
パラインフルエンザウイルス3型							1	4	1		6
RSウイルス	1				3	2	4	28	47	55	140
ヒトメタニューモウイルス						41	25	19	32	36	153
ムンプスウイルス	8	9	2	2	21	2	1	2	3	5	55
麻疹ウイルス	4					1	3				8
ヒトコロナウイルスNL63											0
ヒトコロナウイルスOC43											0
ヒトコロナウイルスHKU1											0

次項へ続く

表7-2 広島市の年別病原体検出数－続き－

検出病原体	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	計
レオウイルス							1	3	2		6
レオウイルス1型											0
レオウイルス2型											0
ロタウイルス			1	1							2
A群ロタウイルス	8	9	11	8	7	2	2	17	4	10	78
C群ロタウイルス	1										1
サポウイルス								6		3	9
ノロウイルス未型別	2										2
ノロウイルスGⅠ				1	1	2			1	1	6
ノロウイルスGⅡ	4	2	9	2	13	68	26	38	22	35	219
アストロウイルス							2	1	2	3	8
ピコルナ/パルボ様ウイルス											0
小型球形ウイルス(SRSV)	5	2	2	1	2		1	1	1	4	19
アデノウイルス未型別	1							1			2
アデノウイルス1型	14	9	12	8	9	9	9	9	9	8	96
アデノウイルス2型	18	14	24	14	17	9	11	15	18	16	156
アデノウイルス3型	21	38	24	34	23	15	10	14	2	8	189
アデノウイルス4型	1										1
アデノウイルス5型		2	7	3	2	3	14	9	7	4	51
アデノウイルス6型	1	1	4	2	2						10
アデノウイルス7型							1				1
アデノウイルス8型	2										2
アデノウイルス11型		3	1		2			1			7
アデノウイルス19型	2										2
アデノウイルス21型											0
アデノウイルス22型	1	1									2
アデノウイルス31型						1	2	1		2	6
アデノウイルス34/35型											0
アデノウイルス37型	3		1							1	5
アデノウイルス40/41型	1		2		1			2			6
アデノウイルス41型						1	1	1	2	2	7
アデノウイルス53型										1	1
アデノウイルス54型											0
アデノウイルス56型											0
アデノウイルス64型											0
アデノウイルス85型											0
パルボウイルスB19											0
ヒトボカウイルス											0
単純ヘルペスウイルス1型	9	6	4	1	3	2	3	5	5	5	43
単純ヘルペスウイルス2型										1	1
水痘帯状疱疹ウイルス										2	2
サイトメガロウイルス								1	1	4	6
EBウイルス											0
ヒトヘルペスウイルス6型									1	26	27
ヒトヘルペスウイルス7型										8	8
リケッチアジャポニカ											0
デングウイルス3型											0
未同定ウイルス					1		1				2
クラミジア・トラコマチス	8	3	5								16
肺炎マイコプラズマ											0
百日咳菌											0
A群溶血性レンサ球菌											0
A群溶血性レンサ球菌T1型											0
A群溶血性レンサ球菌T3型											0
A群溶血性レンサ球菌T12型											0
A群溶血性レンサ球菌T14/49型											0
A群溶血性レンサ球菌TB3264型											0
肺炎球菌10A型											0
<i>Campylobacter jejuni</i>											0
<i>Salmonella</i> Stanley											0
<i>Bordetella holmesii</i>											0
<i>Streptococcus pneumoniae</i>											0
計	245	398	240	174	157	316	348	395	800	391	3,073
検査患者数	1,278	810	841	849	646	594	829	880	877	1,280	7,604

表7-3 広島市の年別病原体検出数－続き－

検出病原体	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	計
エンテロウイルス未型別		6	3	1	4	1				2	17
コクサッキーウイルスA2型	1	12				3		8			24
コクサッキーウイルスA3型											0
コクサッキーウイルスA4型		3		1		12				1	17
コクサッキーウイルスA5型							1		4		5
コクサッキーウイルスA6型	24		8		10	2	22	4	14		84
コクサッキーウイルスA8型			1								1
コクサッキーウイルスA9型		6	1	1	13	3	1				25
コクサッキーウイルスA10型	3				5	3	2		3	1	17
コクサッキーウイルスA14型						1					1
コクサッキーウイルスA16型	3			2	4	2	1		3	7	22
コクサッキーウイルスB1型	4										4
コクサッキーウイルスB2型			1	2		6	5				14
コクサッキーウイルスB3型		1	2		1	11				1	16
コクサッキーウイルスB4型	1		1		11		1	1			15
コクサッキーウイルスB5型		11			4	32			8		55
コクサッキーウイルスB6型											0
エコーウイルス1型		2									2
エコーウイルス3型	7			3			1				11
エコーウイルス4型											0
エコーウイルス5型											0
エコーウイルス6型	1	12	32			2	3				50
エコーウイルス7型	6						10				16
エコーウイルス9型		6				13	2				21
エコーウイルス11型				10			1	15			26
エコーウイルス12型											0
エコーウイルス13型											0
エコーウイルス14型											0
エコーウイルス16型					1	1					2
エコーウイルス17型											0
エコーウイルス18型		3		1	20	3		2	2	4	35
エコーウイルス19型		18									18
エコーウイルス24型											0
エコーウイルス25型	1					6	13		1	1	22
エコーウイルス30型			4	7	1				15	1	28
エンテロウイルス68型			3		30		1	22			56
エンテロウイルス71型			3				3	7			13
ポリオウイルス1型	4										4
ポリオウイルス2型	4										4
ポリオウイルス3型	2										2
パレコウイルス未型別			1	5		1					7
パレコウイルス1型	7	3	4	4	5	4	4	1	4		36
パレコウイルス2型								2	1		3
パレコウイルス3型	16		1	8		48		2	27		102
パレコウイルス4型		1	3	1	1	2	2	2			12
パレコウイルス6型				1		1					2
ライノウイルス	46	56	20	21	107	79	92	38	44	19	522
A型インフルエンザウイルス					1						1
インフルエンザウイルスA(H1)型											0
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型	91		1	30	1	22	7	20	40	14	226
インフルエンザウイルスA(H3)型	29	34	28	38	43	18	15	12	36		253
B型インフルエンザウイルス	36	17	16	8	2	33	7	8	6	2	135
パラインフルエンザウイルス1型	7	5	5	2	6		8	1	3		37
パラインフルエンザウイルス2型	1	5	1	5			2		4		18
パラインフルエンザウイルス3型	17	17	3	5	8	5	17	3	7		82
RSウイルス	24	26	9	6	66	11	15	5	11	1	174
ヒトメタニューモウイルス	12	13	6	6	9	4	8	1	6	4	69
ムンプスウイルス	7	1	1	4	8	2	1	2	3	1	30
麻疹ウイルス	5			1							6
ヒトコロナウイルスNL63								1	3		4
ヒトコロナウイルスOC43									4	3	7
ヒトコロナウイルスHKU1								1	1	2	5

次項へ続く

表7-4 広島市の年別病原体検出数－続き－

検出病原体	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	計
レオウイルス					1		5		5		11
レオウイルス1型											0
レオウイルス2型											0
ロタウイルス											0
A群ロタウイルス	6	4	2	1	1	6	1	5	7		33
C群ロタウイルス											0
サポウイルス	7	4	6	5	4	4	1	2	1	1	35
ノロウイルス未型別											0
ノロウイルスG I		1		1	1					1	4
ノロウイルスG II	8	31	4	4	18	10	12	8	10	5	110
アストロウイルス		2	1			1		1		1	6
ピコルナ/パルボ様ウイルス											0
小型球形ウイルス(SRSV)											0
アデノウイルス未型別				1							1
アデノウイルス1型	7	7	6	7	7	4	8	6	8	5	65
アデノウイルス2型	13	18	6	5	11	18	9	12	9	3	104
アデノウイルス3型	1		6	2	2	13	9	7	6	2	48
アデノウイルス4型		1	1		1	2	1	1			7
アデノウイルス5型	4	5	7	1	1	3	6	8	3	3	41
アデノウイルス6型	2		1			1	2		1	2	9
アデノウイルス7型											0
アデノウイルス8型											0
アデノウイルス11型	1										1
アデノウイルス19型											0
アデノウイルス21型							1				1
アデノウイルス22型											0
アデノウイルス31型	6	4	2	3		6	2	1	2	4	30
アデノウイルス34/35型											0
アデノウイルス37型							1	4	4	5	14
アデノウイルス40/41型											0
アデノウイルス41型	2	8	1			1	4	1	1		18
アデノウイルス53型						1	1	1			3
アデノウイルス54型							7	9	1	1	18
アデノウイルス56型			1				4	2	6		13
アデノウイルス64型						4		1			5
アデノウイルス85型								9			9
パルボウイルスB19	5	3				2					10
ヒトボカウイルス	14	13	7	1	6		3	3	6	1	54
単純ヘルペスウイルス1型	6	1	3	1	2	3	4	1			21
単純ヘルペスウイルス2型											0
水痘帯状疱疹ウイルス	4	2	1		1			1	1		10
サイトメガロウイルス	1	3	2		2		1	3			12
EBウイルス			4	1	2					1	8
ヒトヘルペスウイルス6型	24	24	10	11	5	7	4		2	1	88
ヒトヘルペスウイルス7型	12	11	9	6	4	4	3			1	50
リケッチアジャポニカ						1					1
デングウイルス3型	1										1
未同定ウイルス											0
クラミジア・トラコマチス											0
肺炎マイコプラズマ			1	1	5	7	4				18
百日咳菌				4	2	3	7	1			17
A群溶血性レンサ球菌							1	1	1		3
A群溶血性レンサ球菌T1型					1				3		4
A群溶血性レンサ球菌T3型							1		1		2
A群溶血性レンサ球菌T12型						1				1	2
A群溶血性レンサ球菌T14/49型							1				1
A群溶血性レンサ球菌TB3264型								1			1
肺炎球菌10A型					1						1
<i>Campylobacter jejuni</i>							1		1	1	3
<i>Salmonella</i> Stanley							1				1
<i>Bordetella holmesii</i>								1			1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>								1			1
計	483	400	239	228	439	433	352	248	330	102	3,254
検査患者数	660	573	407	428	619	544	560	442	499	248	4,980

第5章 結核

第1節 結核の概要

この結核報告は、各保健センターから報告された令和2年の「結核発生動向調査」を集計したものである。

本市の新登録患者数は94人、罹患率^{*}は7.8で前年に比べて減少、令和2年末現在の結核登録者数は222人で前年に比べて減少した。

※ 罹患率とは、1年間に発生した患者数を人口10万人あたりの数で示したもので、新たな結核患者を示す指標となる。(罹患率=年間新登録患者数 / 人口×10万人)

第2節 結核による死亡者（表1、図1）

本市の結核死亡者数は16人、死亡率は1.4（人口10万人対）で、前年より増加した。

全国では結核死亡者数は1,909人で前年に比べて179人減少した。

表1 結核による死亡率及び死亡者数の年次推移

	区分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年
死亡率	広島市	1.1	1.2	2.1	1.4	1.5	1.8	0.9	1.3	1.5	0.9	1.4
	全国	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5	1.8	1.8	1.7	1.5
死亡者数	広島市	13	14	25	17	18	21	11	15	18	11	16
	全国	2,126	2,162	2,105	2,084	2,099	1,956	1,889	2,303	2,204	2,088	1,909

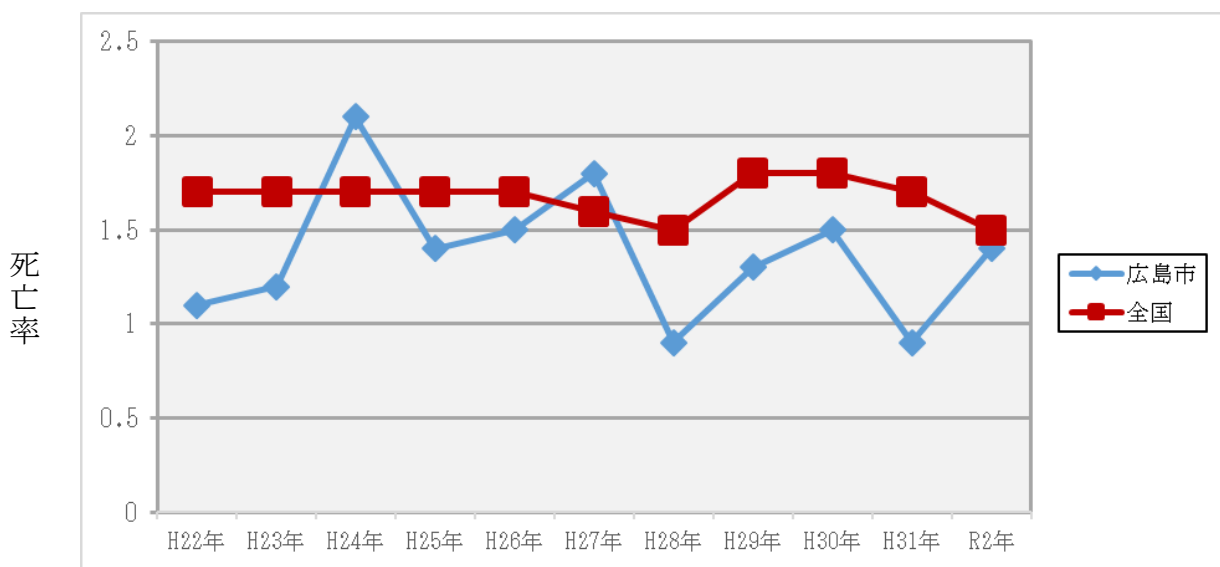


図1 結核死亡率の年次推移（人口10万人対）

第3節 新登録患者の状況

(1) 新登録患者数（図2、表2）

本市で新たに結核患者として登録された者は94人で、前年に比べて減少した。

また、新登録患者の中に占める「喀痰塗抹陽性肺結核患者」は38人、新登録患者数全体の40.4%で、前年の36.4%に比べて増加した。

潜在性結核感染症患者※として新たに登録された者の数は44人で、前年に比べて減少した。

全国では、新登録患者数12,739人で、前年の14,460人に比べて減少した。

※ 潜在性結核感染症患者とは、発病はしていないが結核菌が体内に定着した状態で、発病予防のための服薬を指示された者。

(人)

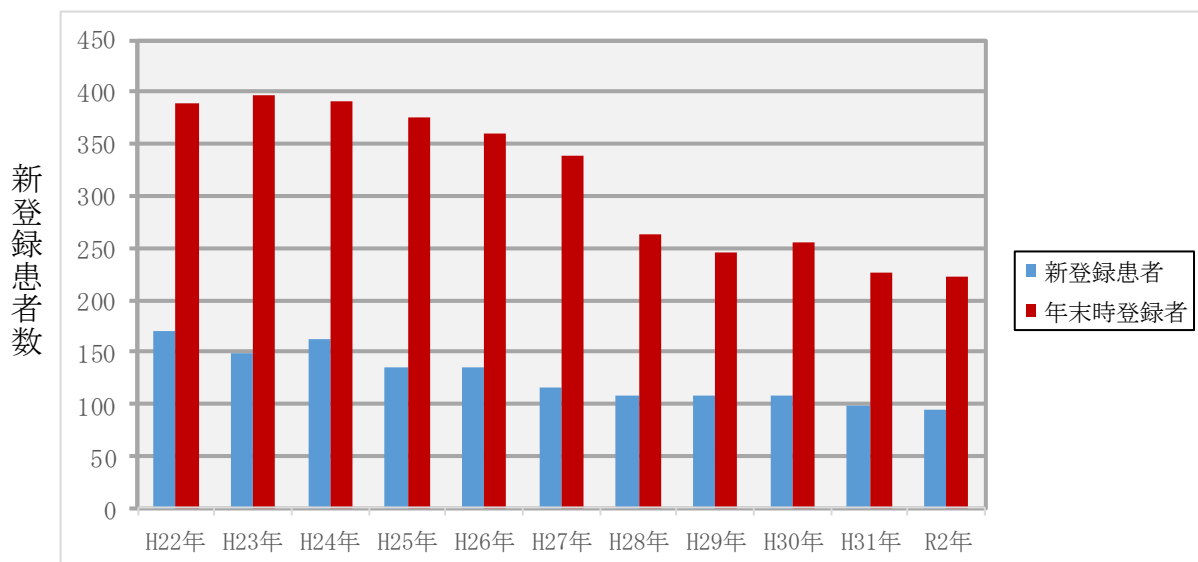


図2 結核患者登録者数の年次推移

表2 新登録患者数と活動性分類

区分	活動性結核※								潜在性結核感染症患者
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性	菌陰性その他		
			総数	初回治療	再治療				
全国	12,739	9,446	4,615	4,413	202	3,581	1,250	3,293	5,575
広島市	94	69	38	34	4	23	8	25	44

(令和2年 単位：人)

※ 活動性結核とは、結核を発病し、結核の治療を要する状態のことをいう。

(2) 罹患率について (図3、表3)

本市の罹患率は、7.8で前年(8.3)より減少、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率が3.2で前年(3.0)に比べて増加した。

全国の罹患率は10.1(前年11.5)で、前年に比べ減少した。

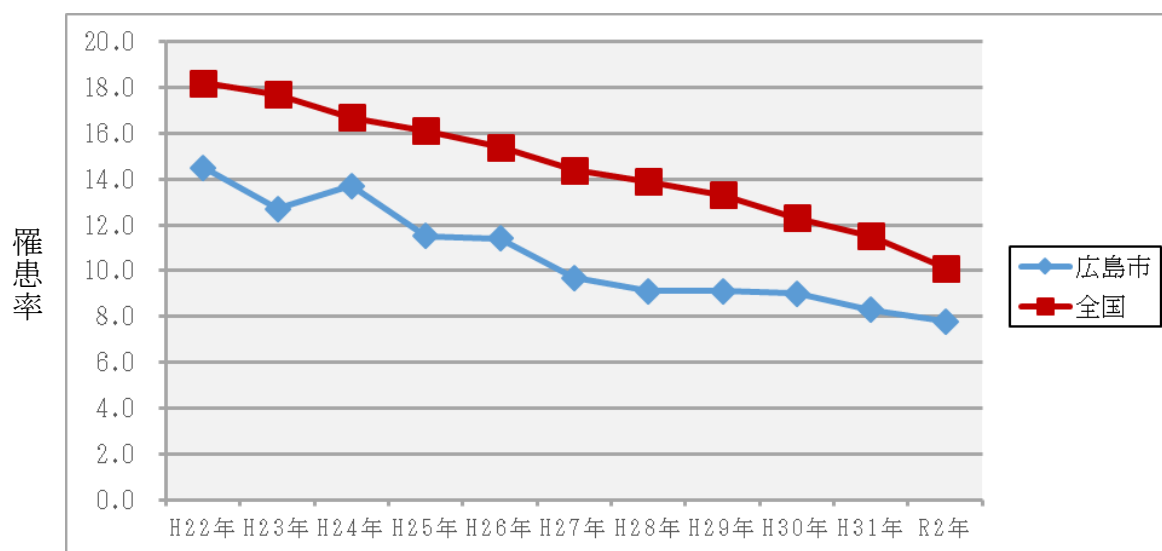


図3 罹患率の年次推移

表3 新登録患者数と罹患率及び塗抹陽性率の年次推移

区分	広島市				全国			
	全結核		塗抹陽性肺結核		全結核		塗抹陽性肺結核	
	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率
H22年	171	14.5	66	5.6	23,261	18.2	9,019	7.0
H23年	149	12.7	57	4.8	22,681	17.7	8,654	6.8
H24年	162	13.7	69	5.8	21,283	16.7	8,237	6.5
H25年	136	11.5	67	5.7	20,495	16.1	8,119	6.4
H26年	135	11.4	59	5.0	19,615	15.4	7,651	6.0
H27年	116	9.7	55	4.6	18,280	14.4	7,131	5.6
H28年	109	9.1	38	3.2	17,625	13.9	6,642	5.2
H29年	109	9.1	40	3.2	16,789	13.3	6,359	5.0
H30年	108	9.0	42	3.5	15,590	12.3	5,781	4.6
H31年	99	8.3	36	3.0	14,460	11.5	5,231	4.1
R2年	94	7.8	38	3.2	12,739	10.1	4,615	3.7

(単位：人 人口10万人対)

(3) 男女別及び年齢別患者状況について(表4)

本市の男女別の罹患率は、男性8.5、女性7.3と、男性の値が高かった。

また、年齢別では、70歳以上から全体の罹患率を上回るようになり、70歳代では15.2、80歳以上では44.3と格段に高くなっている。これらは全国においても同様の傾向である。

表4 性及び年齢別の新登録患者数及び罹患率

区分	広島市		全国	
	総数(人)	罹患率	総数(人)	罹患率
総数	94	7.8	12,739	10.1
男	49	8.5	7,507	12.2
女	45	7.3	5,232	8.1
0～4歳	0	0.0	27	0.6
5～9歳	1	1.8	9	0.2
10～14歳	0	0.0	16	0.3
15～19歳	0	0.0	75	1.3
20～29歳	5	4.0	1,027	8.1
30～39歳	4	2.8	686	4.8
40～49歳	8	4.3	741	4.0
50～59歳	7	4.5	924	5.5
60～69歳	7	5.2	1,262	8.0
70～79歳	22	15.2	2,547	15.7
80歳以上	40	44.3	5,425	47.0

(令和2年 人口10万人対)

第4節 結核登録者の状況(令和2年末現在)

(1) 結核登録者数(表5)

本市の令和2年末現在の結核登録者数は222人で、前年の227人に比べて5人減少した。このうち、「喀痰塗抹陽性肺結核患者数」は23人で、前年の27人に比べて減少した。

表5 年末現在登録者数と活動性分類

区分	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性		
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 他の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他			
				総数	初回治療	再治療					
全国	31,551	8,640	6,315	3,130	2,968	162	2,294	891	2,325	16,380	6,531
広島市	222	61	43	23	21	2	14	6	18	113	48

(令和2年 単位:人)

(2) 有病率について (図4、表6)

本市の活動性結核の患者数は61人、有病率*は5.1で、いずれも減少した。

※ 有病率とは、活動性結核の患者数を人口10万人あたりの数で示したもの。
(有病率=活動性結核患者数 / 人口×10万人)

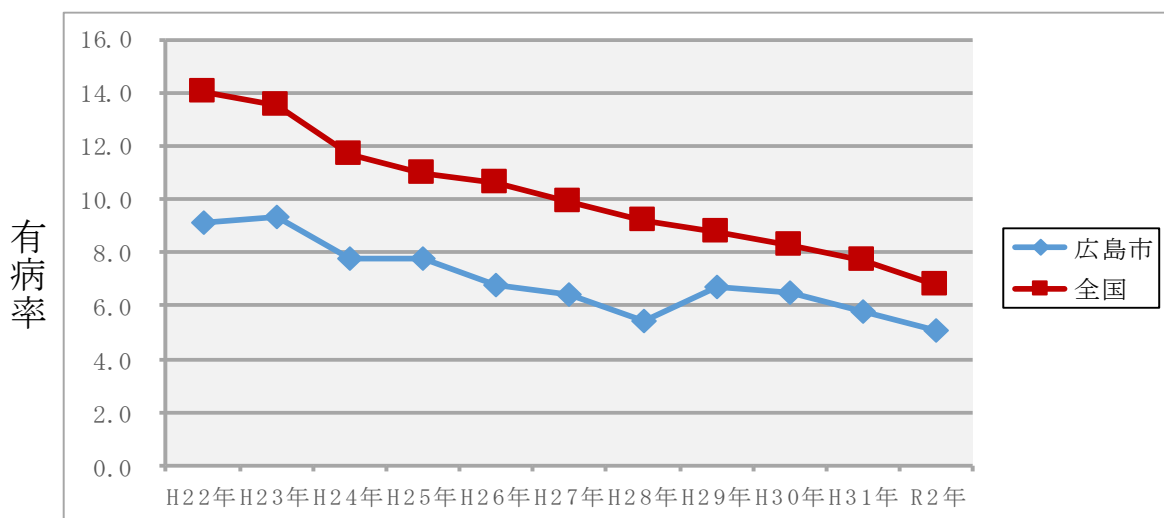


図4 有病率の年次推移

表6 活動性結核患者数と有病率の年次推移

区分	広島市		全国	
	活動性結核患者数	有病率	活動性結核患者数	有病率
H22年	107	9.1	17,927	14.0
H23年	110	9.3	17,264	13.5
H24年	92	7.8	14,858	11.7
H25年	92	7.8	13,957	11.0
H26年	81	6.8	13,513	10.6
H27年	77	6.4	12,534	9.9
H28年	65	5.4	11,717	9.2
H29年	80	6.7	11,097	8.8
H30年	78	6.5	10,448	8.3
H31年	69	5.8	9,695	7.7
H31年	69	5.8	9,695	7.7
R2年	61	5.1	8,640	6.8

(3) 男女別及び年齢別患者状況について (表7)

本市の男女別の有病率は、男性が5.0、女性が5.2で、男女差はほぼなかった。

年齢別の有病率は、70歳以上から全体の有病率を上回るようになり、特に80歳以上では25.5と格段に高くなっている。

表7 性及び年齢別の活動性結核有病率

区分	広島市		全国	
	活動性結核（人）	活動性結核有病率	活動性結核（人）	活動性結核有病率
総数	61	5.1	8,640	6.8
男	29	5.0	5,034	8.2
女	32	5.2	3,606	5.6
0～4歳	0	0.0	14	0.3
5～9歳	1	1.8	3	0.1
10～14歳	0	0.0	10	0.2
15～19歳	0	0.0	33	0.6
20～29歳	2	1.6	690	5.4
30～39歳	3	2.1	469	3.3
40～49歳	6	3.2	533	2.9
50～59歳	3	1.9	698	4.2
60～69歳	6	4.5	925	5.9
70～79歳	17	11.7	1,829	11.3
80歳以上	23	25.5	3,436	29.8

(4) 登録者の受療状況（表8）

本市の全登録者のうち、治療を受けている者は61人（「入院」25人、「外来治療」36人）で、登録者の27.5%にあたり、「治療なし」は156人で70.3%であった。「不明」は5人で、登録者の2.3%であった。

表8 結核登録者の受療状況の年次推移

区分	総数					活動性結核				
	計	入院中	外来治療中	治療なし	不明	計	入院中	外来治療中	治療なし	不明
H22年	390	20	85	282	3	107	20	85	1	1
H23年	397	29	80	287	1	110	29	80	0	1
H24年	392	39	61	222	70	92	39	50	1	2
H25年	375	30	75	244	26	92	30	62	0	0
H26年	360	25	62	244	29	81	25	56	0	0
H27年	339	32	47	226	34	77	32	44	1	0
H28年	264	25	49	171	19	65	25	38	1	1
H29年	246	25	58	148	15	80	25	49	5	1
H30年	255	23	51	179	2	78	23	51	3	1
H31年	227	30	28	159	10	69	30	27	9	3
R2年	222	25	36	156	5	61	25	33	2	1

（単位：人）

参考資料

厚生労働省「令和2年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）」
厚生労働省「結核登録者情報システム（2020年年報）」